

「江別市の環境についてのアンケート」

調査結果

1 調査の趣旨

次期環境管理計画の策定作業を進めるあたり、「市民」や「事業者」の皆様の環境に対する考え方や取り組みなどを把握するために、本調査を実施しました。

2 調査の概要

	江別市の環境についての市民アンケート	江別市の環境についての事業者アンケート
調査対象	●江別市に居住する18歳以上の市民から無作為に1,300名を抽出	●江別市に所在する事業所から無作為に300事業所を抽出
回収率	●30.2%（392人）	●36.3%（109事業者）
調査方法	●配布：郵送 ●回収：郵送もしくはWEB	
調査項目	●回答者属性 ●江別市の環境全般について ●環境に関連する取組の満足度について ●環境配慮行動の実施状況について ●地球温暖化・エネルギーについて ●環境学習について ●環境に関する情報について ●自由意見	●回答事業者属性 ●環境に関する体制や考え方について ●環境配慮行動の実施状況について ●地球温暖化・エネルギーについて ●環境教育・環境経営について ●環境に関する情報について ●自由意見
調査期間	●令和4年7月6日～7月22日	

【調査結果の見方】

○比率は百分率で、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

○回答者数を「n=●●」で示しています。

○無回答は集計から除外しているため、全体の回収数と設問ごとの回答数は異なる場合があります。

○エラー回答については、無効回答として扱っています。（例：「前の設問で②を選んだ人」への設問に「①を選んだ人が回答している」など）

ただし、上限のある複数選択の設問で、指定した数以上の回答を選択していた場合は、全ての内容を反映しています。

3 市民アンケート調査結果

3.1 総括

- 「住み始めてからの江別市の環境」は、前回結果よりも「良くなった」と思う人が多く、「悪くなった」と思う人が少ない状況でした。そのため、住みよい環境になってきていると考えられます。【問 2(1)より】
- 多くの市民が「廃棄物」と「地球温暖化」に強い関心を持っており、それらの情報を知りたいと思っている状況でした。「廃棄物」については、「脱炭素社会に向けた取組」としても必要と考えている市民が多い状況で、市民の注目度が特に高い分野と考えられます。【問 2(2)・問 5(4)・問 7(1)より】
- 「環境に関連する取組の満足度」について CS 分析を行った結果、改善度の高い項目には「環境教育・活動」と「生活環境」の分野が多く、市民の注目度が高い状況と考えられます。【問 3(1)・(2)より】
- また、「環境に関連する取組」のうち、「公園緑地の整備」や「街並みの緑化の推進」といった「まちの緑」に関する項目は、前回結果よりも不満度が高いため、改善が求められていると考えられます。【問 3(1)より】
- 「環境配慮行動」では「環境学習・活動などへの参加」があまり取り組まれていない上、「今後取り組む予定がない」が多く、「今後重視したい割合」が少ない状況でした。
しかし、「環境学習・環境イベント」を現在より充実させるべきという意見や、市民の環境意識を高めるには「子供や市民を対象とした環境学習・体験学習」が重要という意見も多く、意欲が低いわけではないため、情報発信や意識啓発などで市民参加を促していくことが重要になると考えられます。【問 4(1)・問 6(2)・(3)より】
- 「環境配慮行動を今後も実践していくための支援」としては「設備導入への助成」が最も求められていましたが、同じくらい「市の環境に関する情報提供」も求められていました。市民が「環境情報を入手する媒体」は、「年代が低い」ほど「インターネット」を、「年代が高い」ほど「新聞」を活用している状況のため、年齢層に合わせた情報発信が重要になると考えられます。【問 4(2)・問 7(2)より】
- ほとんどの市民が「地球温暖化が進行している」と考えており、最も関心があることとして「気候変動（海面上昇や異常気象など）」を挙げていました。【問 5(1)・(2)より】
- 多額の費用がかかる「クリーンエネルギー自動車」や「新エネ機器（太陽光発電など）」は、ほとんど活用が進んでいない状況でした。しかし、「脱炭素社会に向けた取組」として「省エネ・新エネ導入への支援制度の充実」が多く求められていることから、市民への助成や情報発信を適切に行うことで導入が進む可能性があります。【問 5(3)・(4)より】
- 「市の環境について日ごろ感じていること」としては、「生活環境」に関する内容が多く、中でも「除雪」・「交通」・「公園」・「樹木」などへの不満が多かったため、改善が求められていると考えられます。一方で「豊かな自然環境」や「レンガの街並み景観」が良好で満足していると思う方も一定数いるため、これらについては良好な環境を維持していくことが重要になると考えられます【問 8 より】

3.2 アンケート結果

問 1 あなたのことについてお尋ねします。

(1) 性別 (1 つに○)

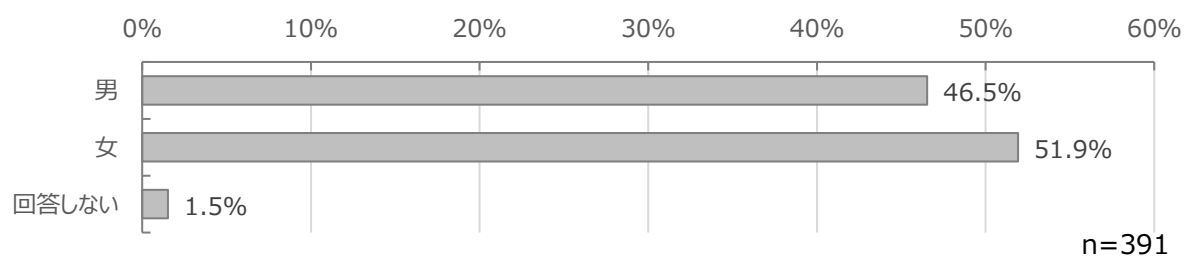


図 1 性別

(2) 年齢 (1 つに○)

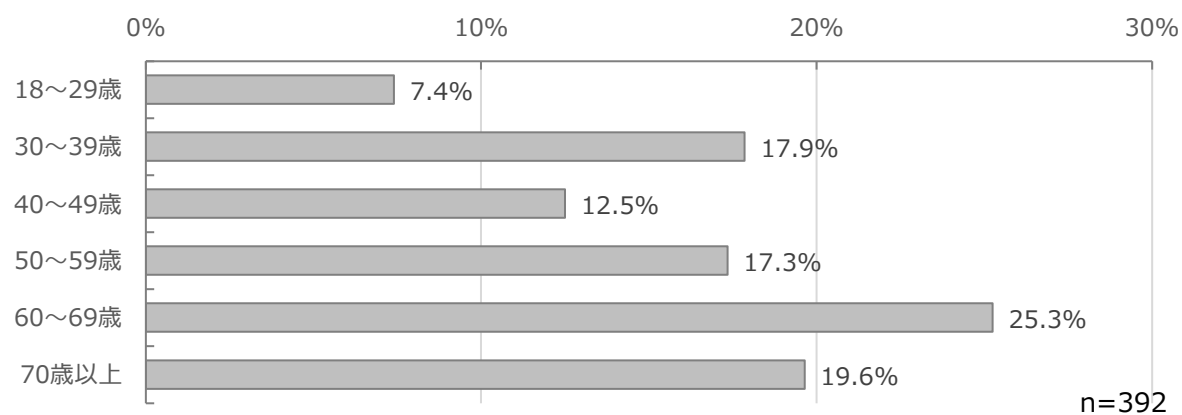


図 2 年齢

(3) 職業（１つに○）

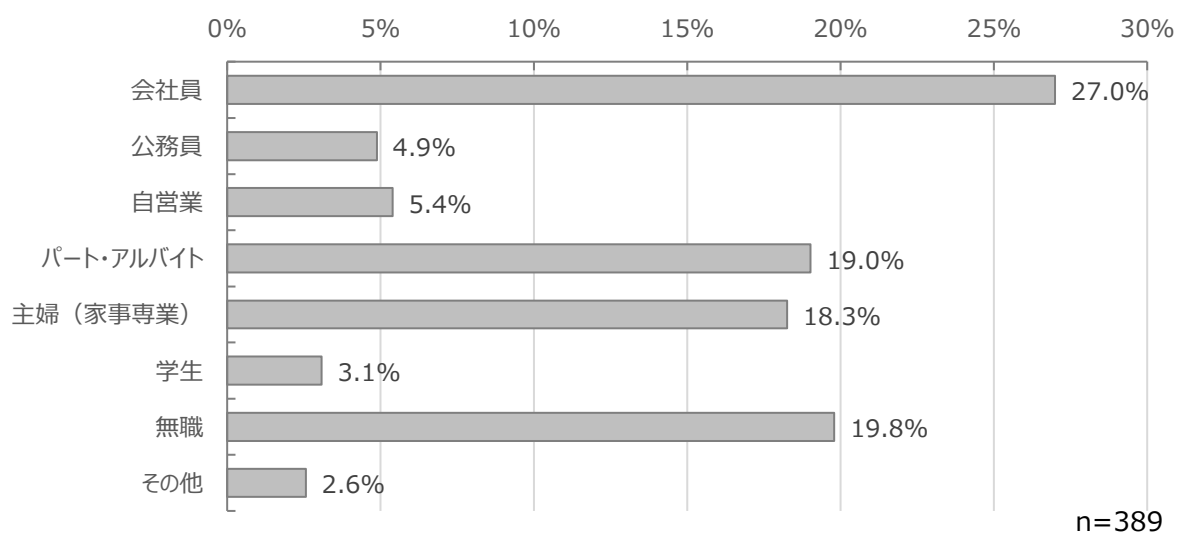


図 3 職業

(4) 江別市に居住している年数（１つに○）

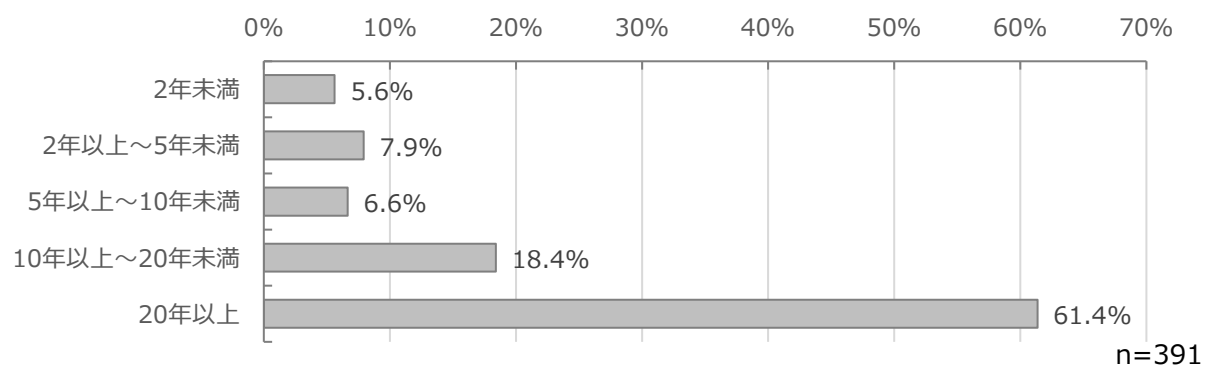


図 4 居住年数

（５）家族構成（１つに○）

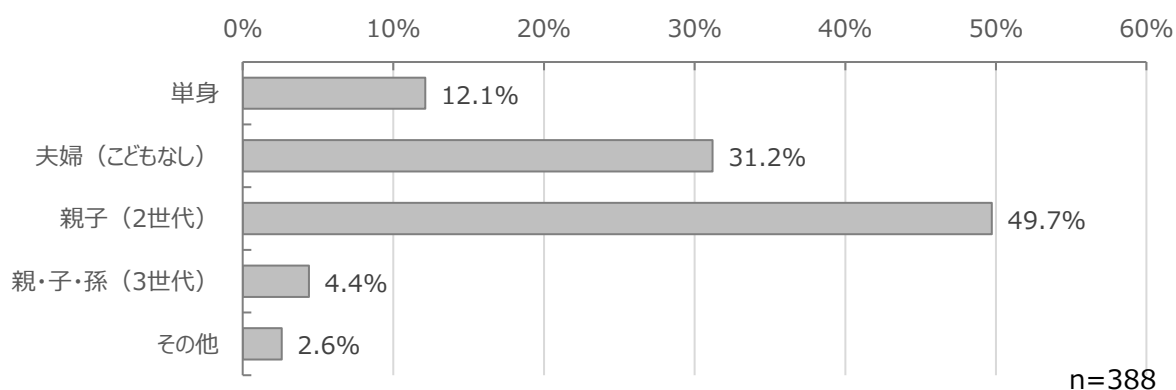


図 5 家族構成

（６）ご家庭の所有自動車台数（１つに○）

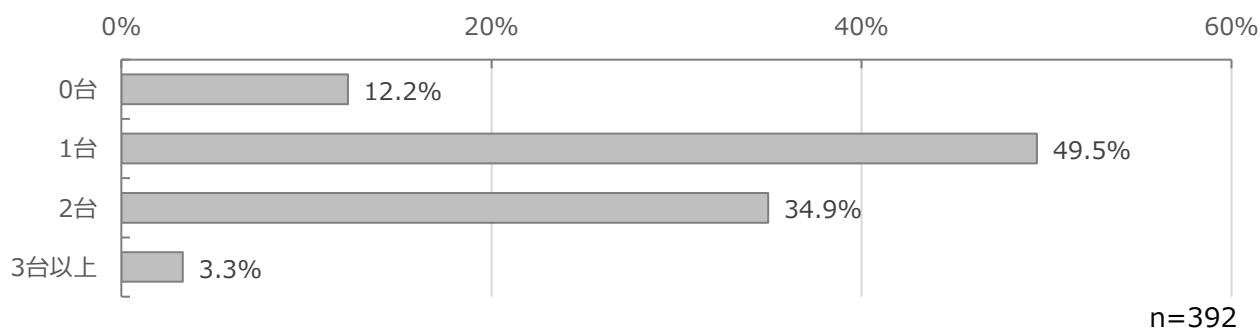


図 6 自動車所有台数

（７）お住いの地区（１つに○）

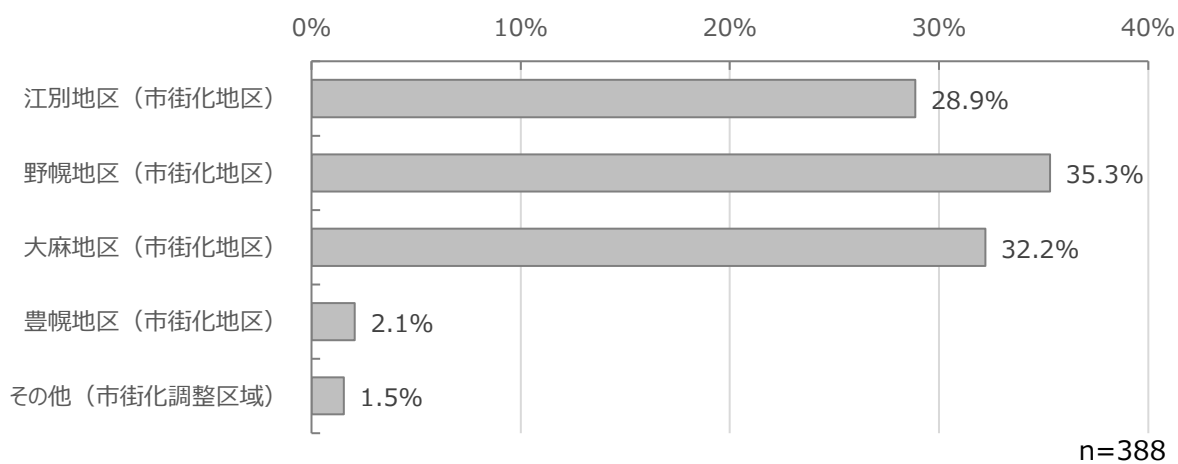


図 7 居住地区

問 2 江別市の環境全般についてお尋ねします。

(1) あなたが住み始めてから、江別市の環境はどのようなになったと思いますか。(1つに○)

「住み始めてからの江別市の環境の変化」は、「良くなっている(「とても良くなった」+「良くなった」)」と感じる方が多く、40.7%でした。

一方で、「悪くなった(「少し悪くなった」+「悪くなった」)」と感じる方は 11.5%でした。

過去の結果と比較すると、「良くなった」と思う人が増えており、「悪くなった」と思う人が減っていました。

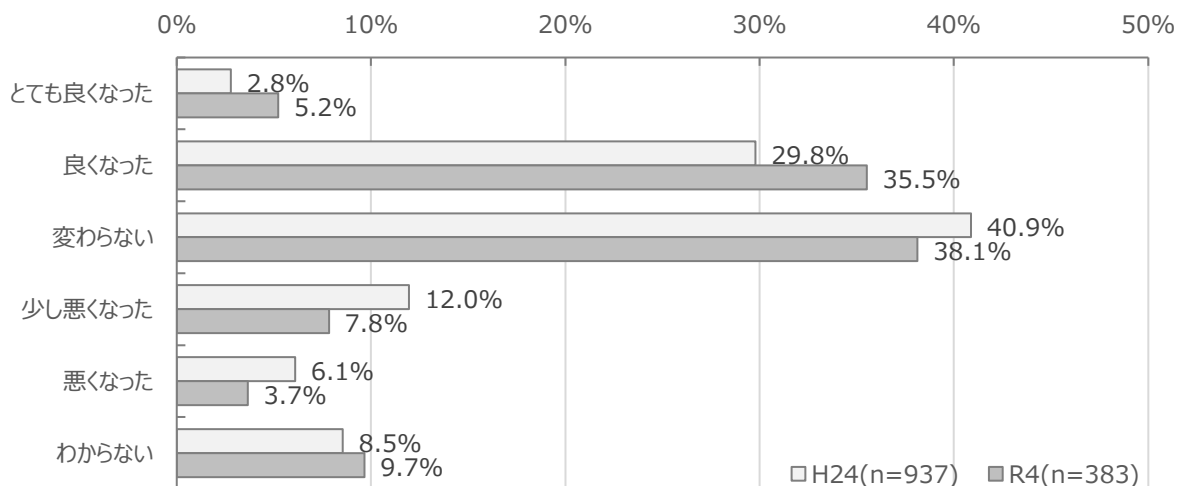


図 8 住み始めてからの江別市の環境の変化

また、「住み始めてからの江別市の環境の変化」を年代別にみると「年代が高い」ほど「良くなっている(「とても良くなった」+「良くなった」)」と感じている傾向でした。

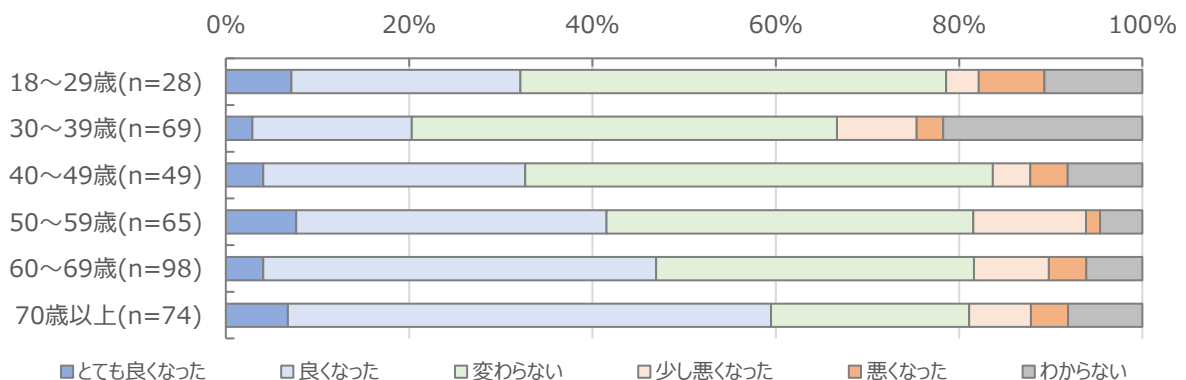


図 9 住み始めてからの江別市の環境の変化(居住年数クロス)

- 「住み始めてからの江別市の環境の変化」は、前回結果と比較すると「良くなった」と思う人が多く、住みよい環境が作られてきていると考えられます。
- 「年代別」に見ると、「年代が低い」ほど「良くなった」と思う人が少ない傾向のため、若い人向けの環境を整えることが重要になると考えられます。

(2) 環境には様々な分野がありますが、特に興味を持っている分野を教えてください。(2つまで○)

「関心をもっている環境問題」は、「資源や廃棄物に関する分野」が最も多く 43.4%、次いで「地球温暖化に関する分野」が 38.2%でした。

その他の分野としては、「除雪」や「太陽光発電の事故」などがありました。

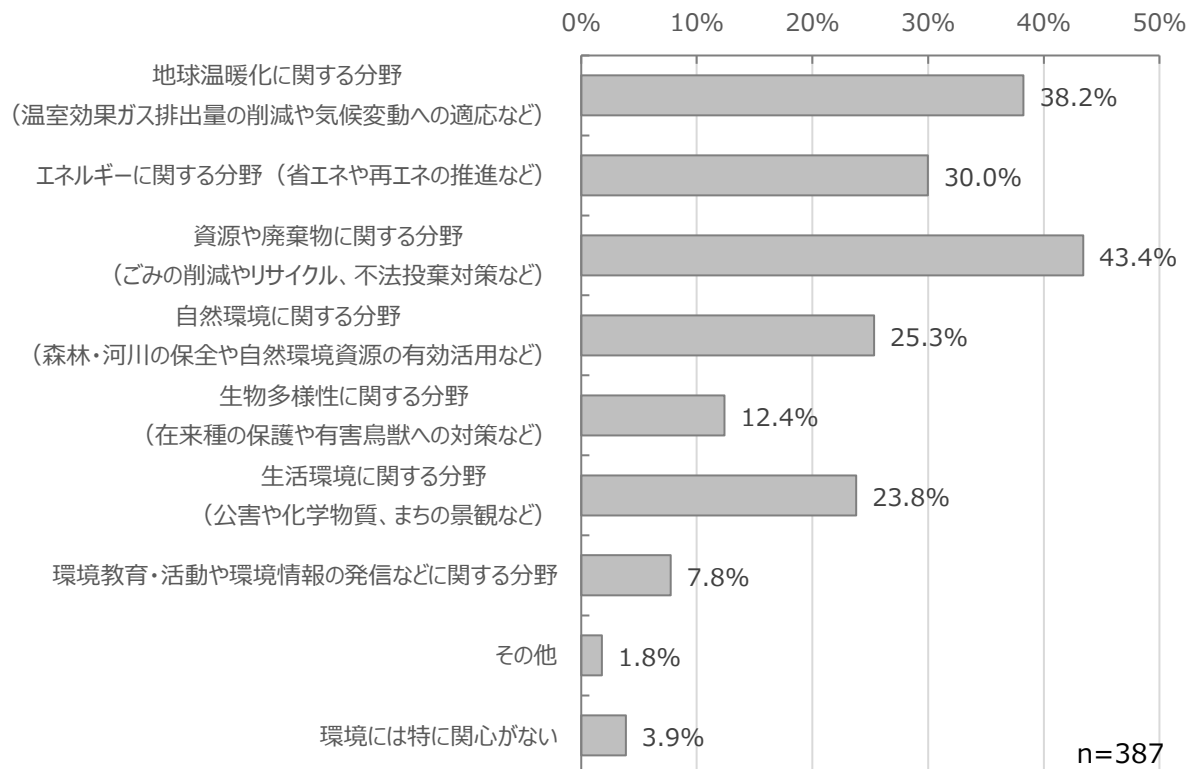


図 10 関心をもっている環境問題

- 市民が最も関心を持っているのは「資源や廃棄物に関する分野」となっており、市民のごみに対する関心は高い状況と考えられます。
- そのほかでは、「地球温暖化」・「エネルギー」といった、近年世界的に問題になってる分野への関心が高くなっています。

問 3 環境に関連する取組の満足度についてお尋ねします。

- (1) 江別市では様々な環境分野の取組を進めていますが、「①～②⑦それぞれの設問ごとの満足度」について教えてください。
- (2) 環境に関する取組の総合的な満足度について教えてください。(各設問の当てはまる項目1つに○)

「市内の環境に対する評価」を分かりやすく分析するため、CS分析*を行いました。

各項目の満足度・重要度は下図のように整理できます。重要度が高い一方で満足度が低い「重点改善項目」は、改善度が高い順に

「25【環境情報の発信】」、
 「26【自主的な環境保全活動の推進】」、
 「6【次世代エネルギーの活用】」、
 「20【化学物質による環境汚染の防止】」、
 「9【公共施設等の維持管理・有効活用】」、
 「16【大気の保全】」、
 「24【環境教育・環境学習の推進】」、
 「17【水質の保全】」

でした。

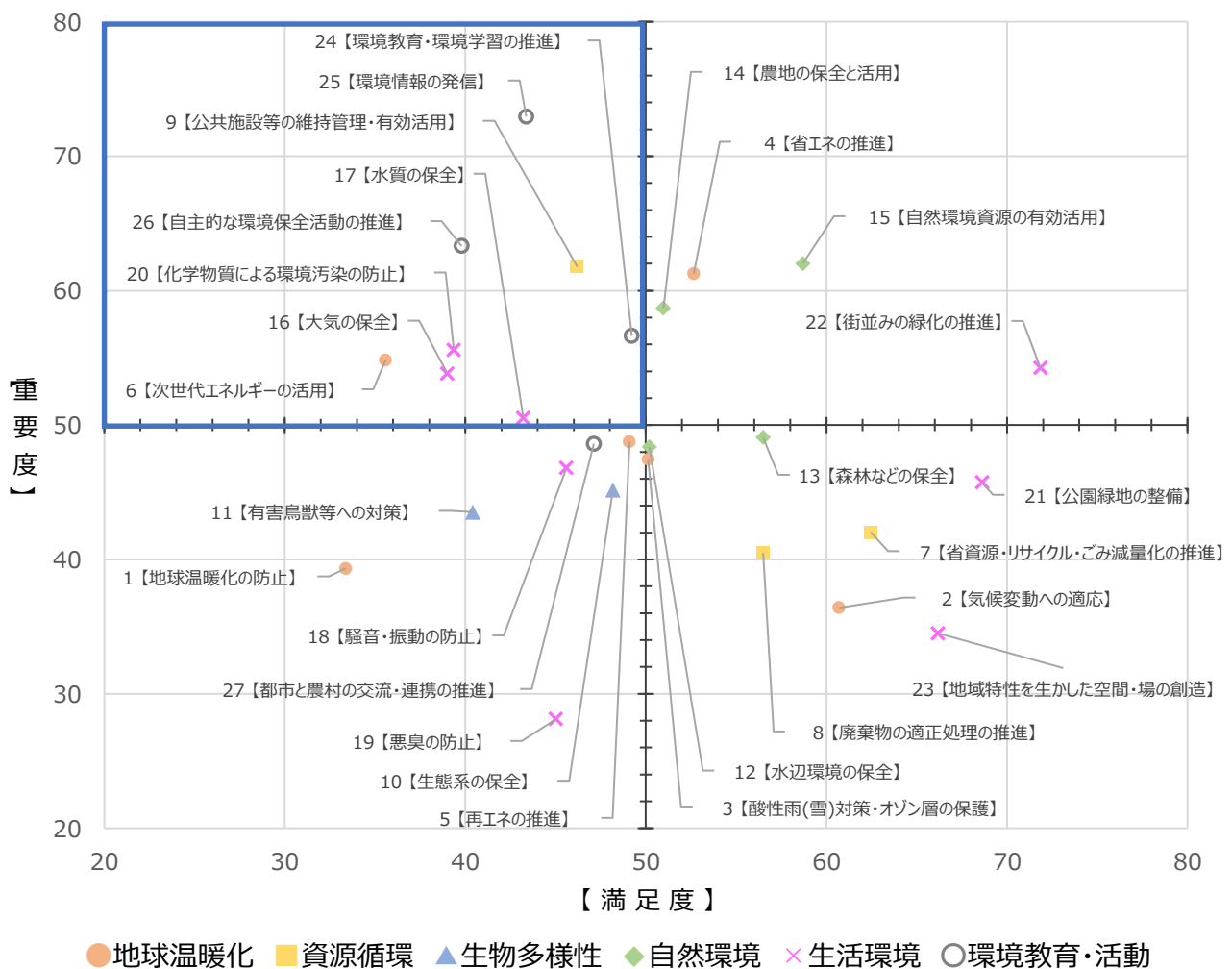


図 11 市内の環境に対する評価のCS分析

8 個の重点改善項目を分野別に見ると、「環境教育・活動」と「生活環境」が最も多く 3 項目ずつで、これらの分野の改善が特に求められている結果となりました。他の分野では「地球温暖化」と「資源循環」が 1 項目ずつある状況でした。

表 1 市内の環境に対する評価の CS 分析結果

	市内の環境に対する評価		満足度	重要度	改善度	順位
環境教育・活動	25	【環境情報の発信】	43.37	72.95	16.22	1
環境教育・活動	26	【自主的な環境保全活動の推進】	39.80	63.32	15.37	2
地球温暖化	6	【次世代エネルギーの活用】	35.58	54.83	10.73	3
生活環境	20	【化学物質による環境汚染の防止】	39.36	55.58	9.70	4
資源循環	9	【公共施設等の維持管理・有効活用】	46.19	61.77	8.65	5
生活環境	16	【大気の保全】	39.01	53.82	8.30	6
地球温暖化	4	【省エネの推進】	52.65	61.26	4.08	7
環境教育・活動	24	【環境教育・環境学習の推進】	49.22	56.63	3.83	8
自然環境	14	【農地の保全と活用】	50.98	58.71	3.76	9
生活環境	17	【水質の保全】	43.21	50.52	3.74	10
地球温暖化	1	【地球温暖化の防止】	33.38	39.33	2.70	11
自然環境	15	【自然環境資源の有効活用】	58.69	62.01	1.50	12
生物多様性	11	【有害鳥獣等への対策】	40.41	43.52	1.41	13
環境教育・活動	27	【都市と農村の交流・連携の推進】	47.12	48.60	0.68	14
生活環境	18	【騒音・振動の防止】	45.60	46.81	0.55	15
地球温暖化	5	【再エネの推進】	49.09	48.75	-0.15	16
自然環境	12	【水辺環境の保全】	50.20	48.38	-0.95	17
地球温暖化	3	【酸性雨(雪)対策・オゾン層の保護】	50.13	47.46	-1.35	18
生物多様性	10	【生態系の保全】	48.17	45.17	-1.39	19
自然環境	13	【森林などの保全】	56.50	49.08	-3.87	20
生活環境	19	【悪臭の防止】	45.02	28.12	-8.02	21
生活環境	22	【街並みの緑化の推進】	71.86	54.25	-8.41	22
資源循環	8	【廃棄物の適正処理の推進】	56.50	40.49	-10.16	23
生活環境	21	【公園緑地の整備】	68.62	45.73	-12.29	24
資源循環	7	【省資源・リサイクル・ごみ減量化の推進】	62.45	42.00	-12.77	25
地球温暖化	2	【気候変動への適応】	60.70	36.41	-15.99	26
生活環境	23	【地域特性を生かした空間・場の創造】	66.18	34.50	-22.10	27

※CS 分析とは、あることごとに対して、関連する項目ごとの満足度と総合的な満足度を答えてもらい、その相関性から、改善すべき優先度が高い項目を分析する手法です。また、CS 分析は結果が見やすいように偏差値を利用しているため、50 を基準として、上回るほど満足度・重要度が高く、下回るほど満足度・重要度が低い結果となります。

- 「市内の環境に対する評価」の CS 分析の結果、「25【環境情報の発信】」・「26【自主的な環境保全活動の推進】」・「6【次世代エネルギーの活用】」の改善度が特に高い状況でした。
- 「分野別」に見ると、「環境教育・活動」の項目のほとんどが重点改善項目となっており、重要度も高い状況で、市民の注目が特に高い分野となっています。

前回結果と比較すると、ほとんどの項目に大きな変化はありませんでしたが、「㉓【地域特性を生かした空間・場の創造】」の満足度（「満足」＋「少し満足」）が増加しており、「①【地球温暖化の防止】」の不満足度（「少し不満」＋「不満」）が減少していました。

一方で、「⑦【省資源・リサイクル・ごみ減量化の推進】」・「⑰【水質の保全】」・「⑳【化学物質による環境汚染の防止】」は満足度が減少しており、「㉑【公園緑地の整備】」は不満足度が増加していました。

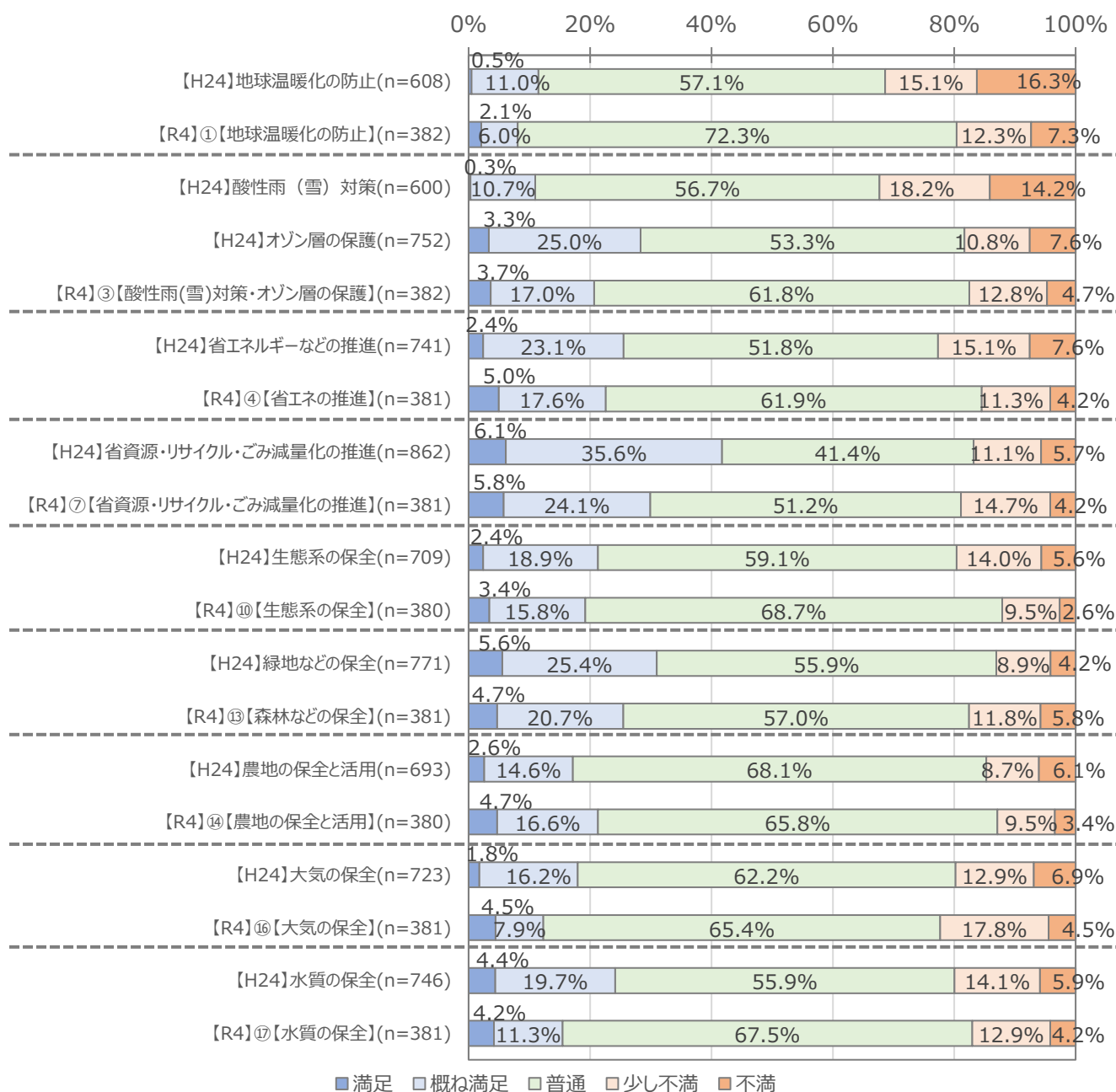


図 12 市内の環境に対する各項目の評価比較（H24 と R4） その1

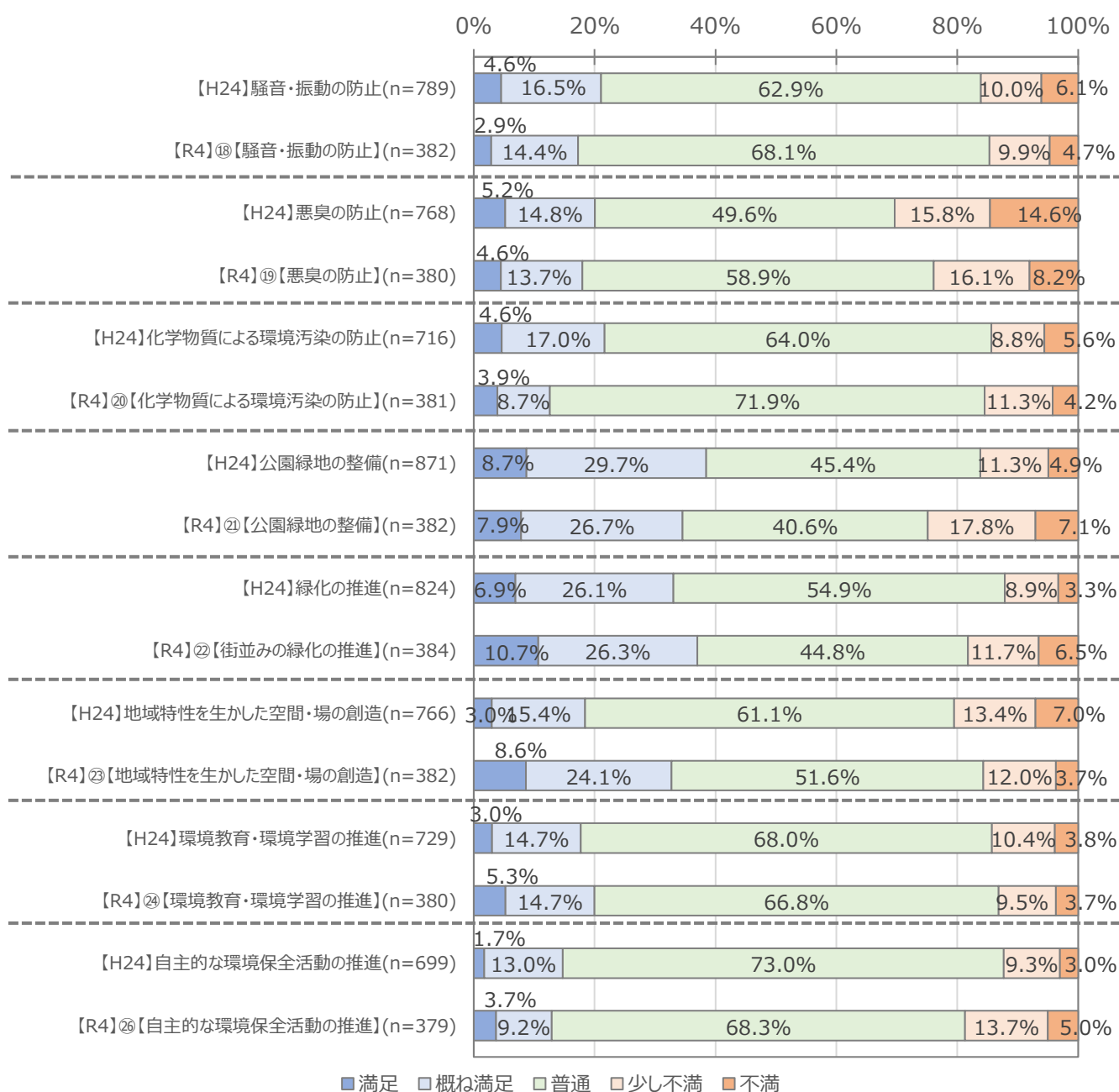


図 13 市内の環境に対する各項目の評価比較（H24 と R4） その2

- 前回結果と比較すると、「満足度が増加」しているものがほとんどない一方で、「満足度が減少」しているものや「不満度が増加」しているものが多くある状況です。
- その中でも、「公園緑地の整備」や「街並みの緑化の推進」といった「まちの緑」に関する項目は、不満度が高くなっているのが目立っている状況です。

評価項目ごとの回答を年代別にみると、全体的に「年代が低い」ほど「満足度が高い」傾向で、「年代が高い」ほど「不満度が高い」傾向でした。この、傾向は、「地球温暖化」に関する分野で特に強くなっていました。

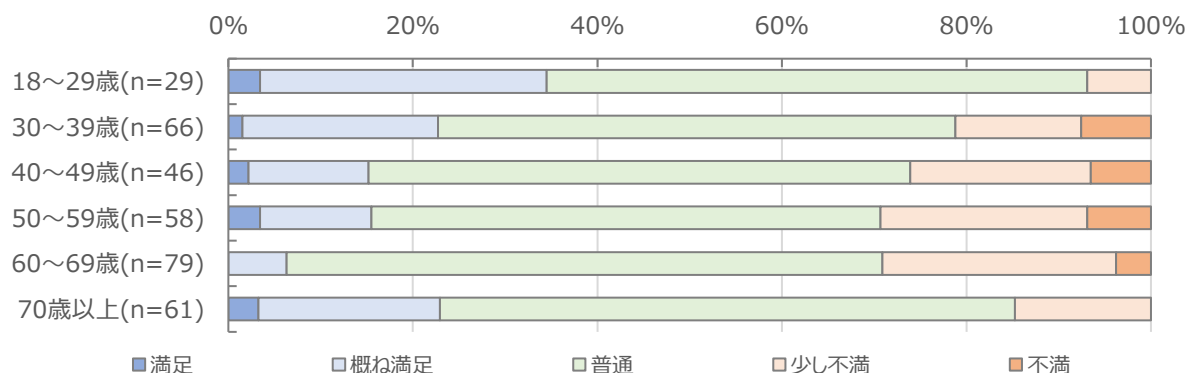


図 14 ②【環境に関する取組の総合的な満足度】の評価（年代クロス）

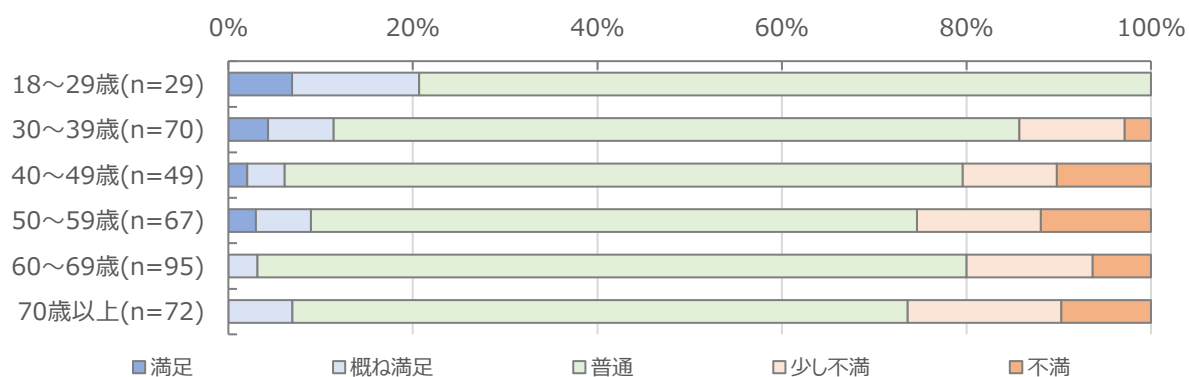


図 15 ①【地球温暖化の防止】の評価（年代クロス）

○「市内の環境に対する評価」は、全体的に「年代が低いほど満足」しており、「年代が高いほど不満」がある状況で、この傾向は「地球温暖化・エネルギー」分野で特に多くみられています。

また、評価項目ごとの回答を居住地区別にみると、全体的に「江別地区（市街化地区）」の満足度「満足度（「満足」＋「少し満足」）が低い」傾向でした。

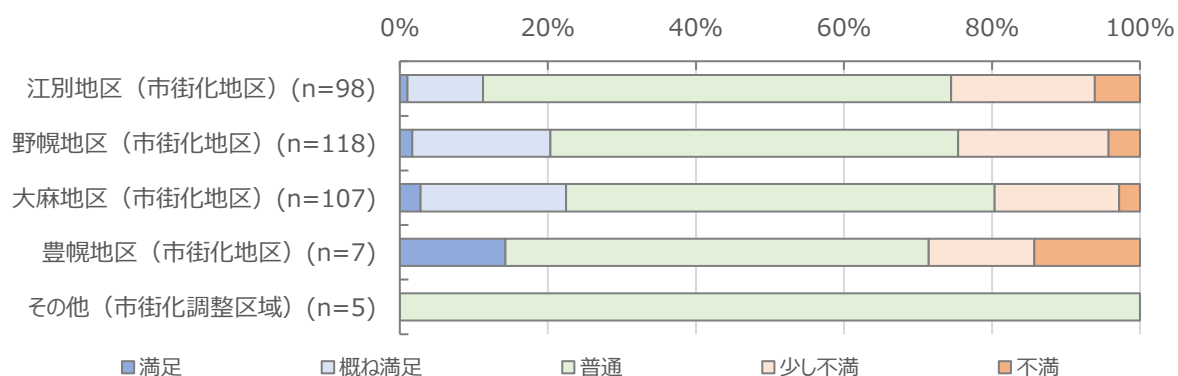


図 16 ⑳【環境に関する取組の総合的な満足度】の評価（居住地区クロス）

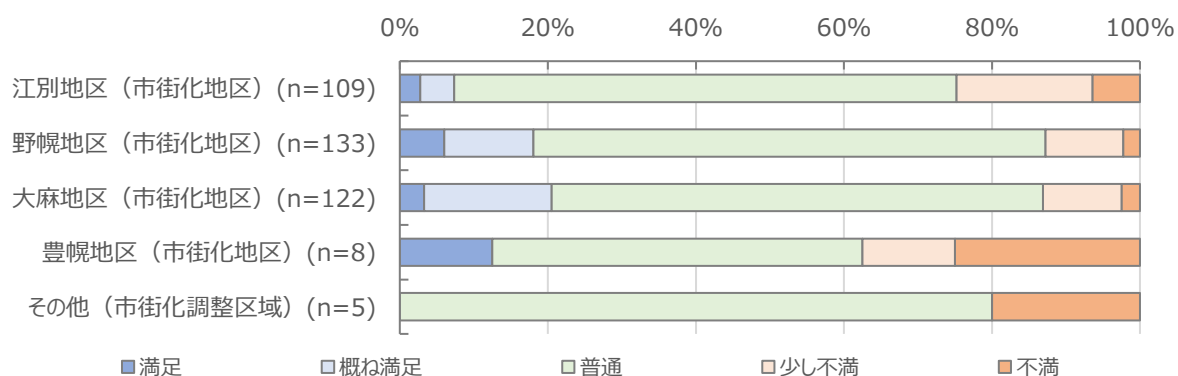


図 17 ㉑【水質の保全】の評価（居住地区クロス）

- 「市内の環境に対する評価」は、全体的に「江別地区（市街化地区）」の満足度が低い」状況で、この傾向は「生活環境分野」で特に多くみられています。
- これは、江別地区には製紙工場があることや石狩川が通っていることなど、生活環境の変化を感じられる要因が身近にあることなどが要因と考えられます。

問 4 環境配慮行動の実施状況についてお尋ねします。

(1) 現在取り組んでいる環境配慮行動について教えてください。(1つに○)

「現在取り組んでいる環境配慮行動」について、「取り組んでいる」は、「⑨ルールに基づいたごみの分別」が 92.2%と最も多く、次いで「⑦食品ロスの削減(食べ残しをしないなど)」が 76.7%でした。

「取り組む予定」は、「⑫地域の清掃・草刈り等の美化活動への参加」が 27.9%と最も多く、次いで「⑩再生品・エコマーク商品等の選択」が 26.3%でした。

一方で「取り組む予定はない」は、「⑭環境保全団体等への支援や寄付」が 24.3%と最も多く、次いで「⑬地域の環境イベントへの参加」が 19.1%でした。

その他、実践している環境に配慮した取組は、「車の使用を抑える」、「子供に環境配慮行動の意味を教えて取組をつないでいく」などがありました。

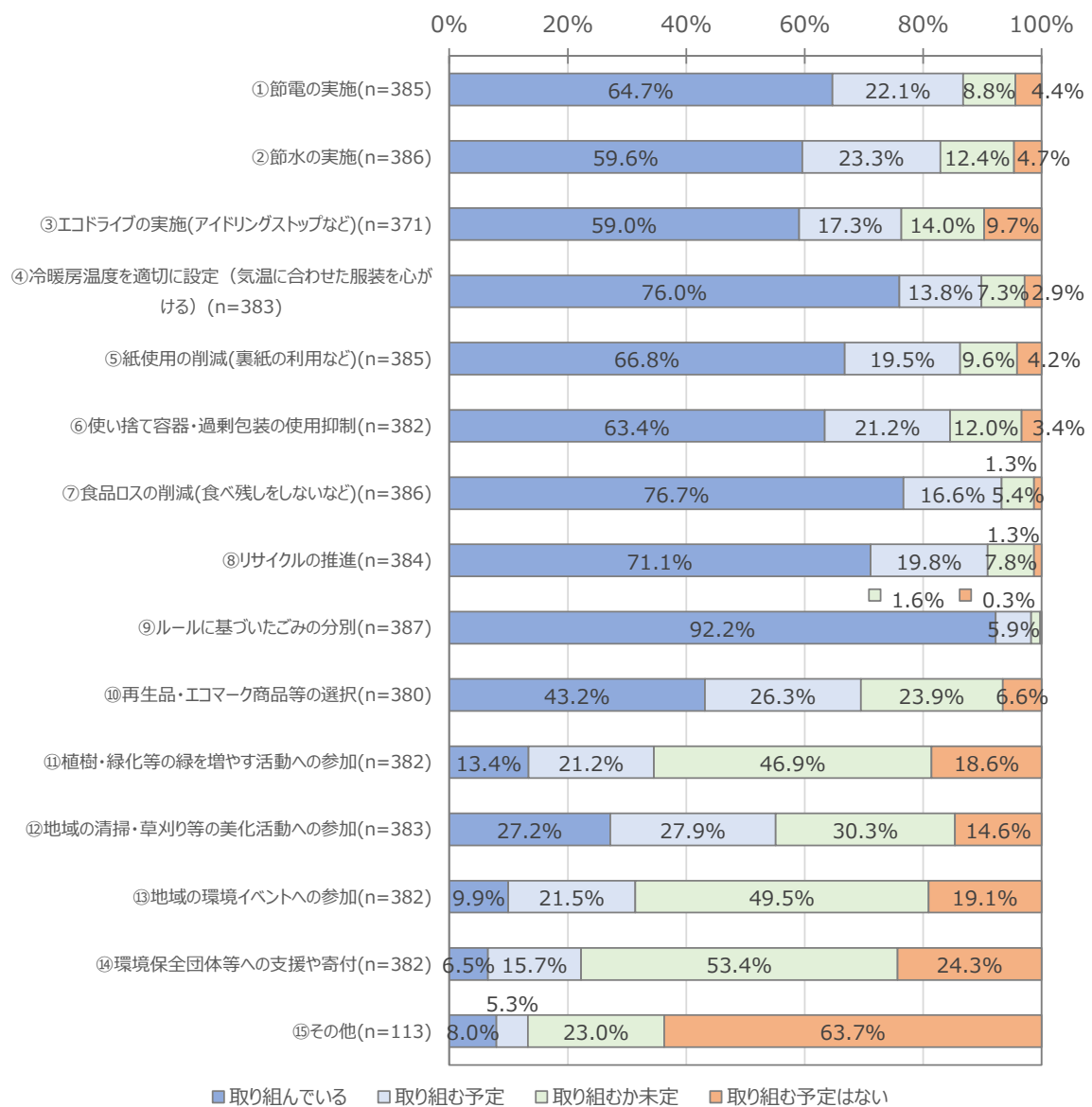


図 18 現在取り組んでいる環境配慮行動

(1) 現在取り組んでいる環境配慮行動について、今後重視したいもの(新たに取り組む・取組強化する)がありましたら、それについて教えてください。(今後重視したいもの：当てはまるすべてに○)

「今後重視したい取組」は、「①節電の実施」がもっとも多く57.5%、次いで「⑦食品ロスの削減(食べ残しをしないなど)」が40.7%、「②節水の実施」が34.5%でした。

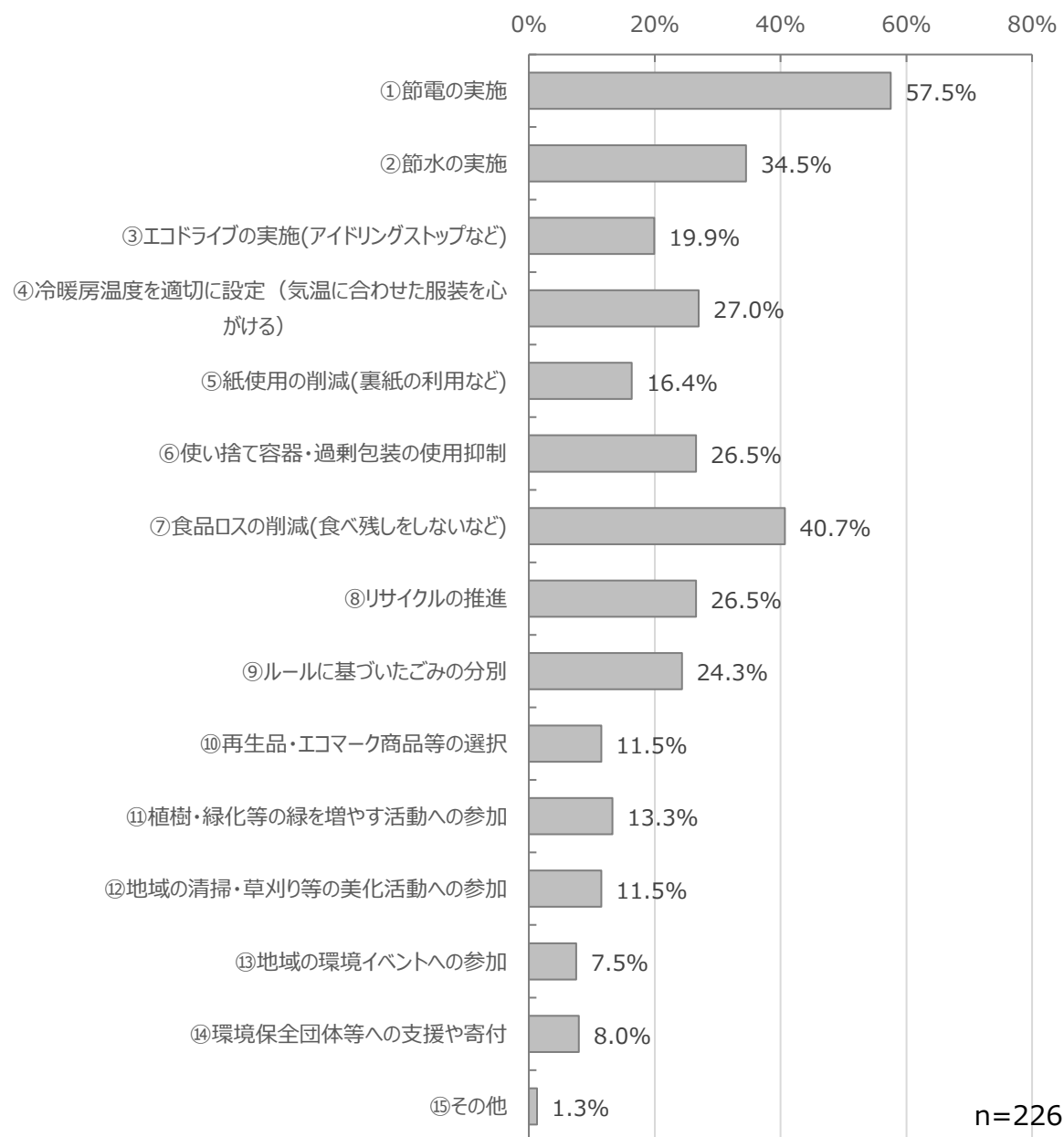


図 19 今後重視したい取組

○環境配慮行動は「ごみの分別」や「食品ロス削減」が特に多く実践されている上、「今後重視したい取組」として「食品ロス削減」が高い割合になっているなど、廃棄物に関する取組への意識が高い結果でした。

○一方で、「緑を増やす活動」・「美化活動」・「地域の環境イベント」など、環境活動に関する取組は少ない状況で、「今後取り組む予定はない」も多くなっていました。

（２）環境配慮行動を今後も実践していくには、どのような支援があるとよいと思いますか。（３つまで○）

「環境配慮行動を続けるために期待する支援」については、「省エネ・再エネ設備導入への助成」が最も多く 56.0%、次いで「江別市の環境に関する情報提供」が 52.1%でした。

その他、環境配慮行動を続けるために期待する支援は、「市職員も市民とともにイベントで環境配慮行動を行う」、「子供への環境教育を進める」などがありました。

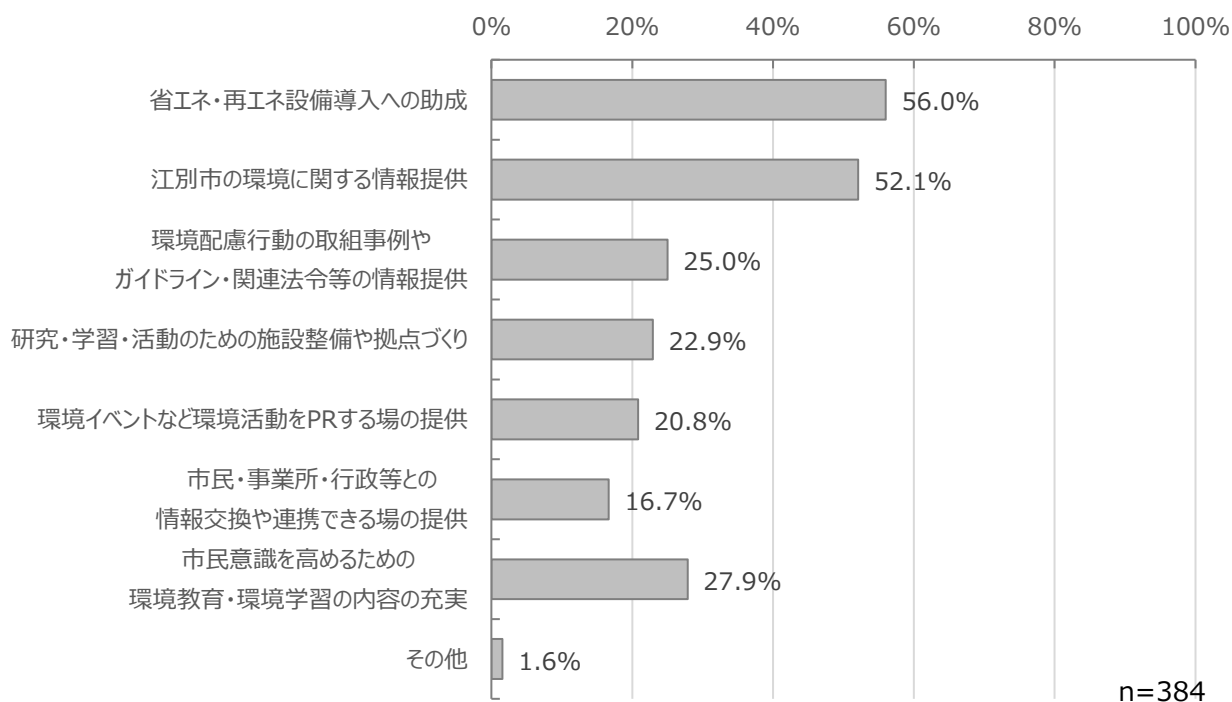


図 20 環境配慮行動を続けるために期待する支援

○「設備導入への助成」や「市の環境に関する情報提供」といった支援が特に多く求められており、回答者の半数以上となっています。

問 5 地球温暖化・エネルギーについてお尋ねします。

(1) 現在、実感として地球温暖化が進行していると思いますか。(1 つに○)

「地球温暖化が進行していると思うか」については、「思う」が87.0%で、多くの回答者が地球温暖化の進行を実感しています。

前回結果と比較すると、「思う」・「思わない」ともに回答割合が増えています。

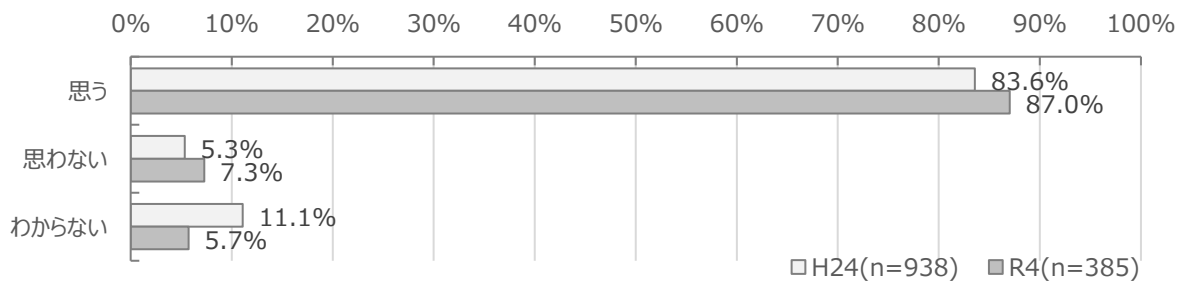


図 21 地球温暖化が進行していると思うか

（２）地球温暖化について、あなたが最も関心のある内容について教えてください。（１つに○）

「地球温暖化で最も関心のある内容」については、「気候変動について（海水面の上昇や異常気象の頻発など）」が特に多く 58.2%で、次いで「交通について（電車やバスなどの公共交通網の充実など）」が 8.6%でした。

その他、関心のある内容は、「水素エネルギー」などがありました。

※「１つに○」としている設問ですが、「複数に○」をつけている方がいるため、「回答者数（n 値）」が多くなっています。

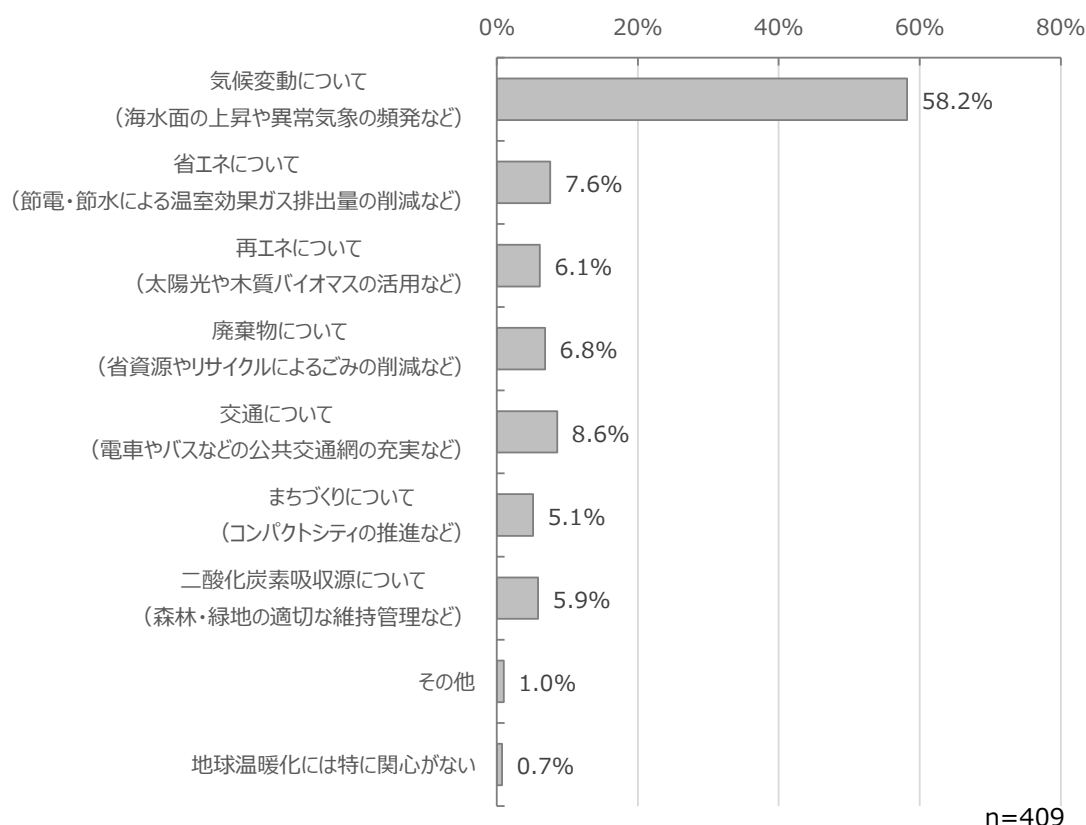


図 22 地球温暖化で最も関心のある内容

- 回答者のほとんどが「地球温暖化が進行している」と認識している状況で、前回結果よりも認識が広がっています。
- 回答者の半数以上が、地球温暖化の中でも「気候変動」について関心を持っている状況でした。そのため、気候変動に関する情報発信や対策を進めることが重要になると考えられます。

(3) 活用している・今後活用したい省エネ・再エネ設備について教えてください。(各設問の当てはまる項目1つに○)

「活用している・今後活用したい省エネ・再エネ設備」について、「活用している設備」は「②LED照明」が73.6%と最も多く、次いで「①建物の高断熱・高気密化」が44.8%でした。

「活用を予定している設備」も「②LED照明」が12.2%と最も多く、次いで「④照明・給湯器以外の高効率設備（高効率エアコンなど）」が10.0%、「①建物の高断熱・高気密化」が8.3%でした。

「活用を検討している設備」は「⑥クリーンエネルギー自動車(電気自動車など)」が最も多く28.2%、次いで「④照明・給湯器以外の高効率設備（高効率エアコンなど）」が24.3%でした。

一方で、「活用予定がない設備」は「⑧木質バイオマス熱利用(薪ストーブなど)」が90.4%と最も多く、次いで「⑨燃料電池（エネファームなど）」が82.5%、「⑦太陽光発電」が78.9%でした。

その他、活用を予定している省エネ・再エネ設備には「家庭用コージェネレーションシステム」・「太陽光発電とEVの組み合わせ」・「小型風力発電」があり、活用を検討している省エネ・再エネ設備には「水素エネルギー」がありました。

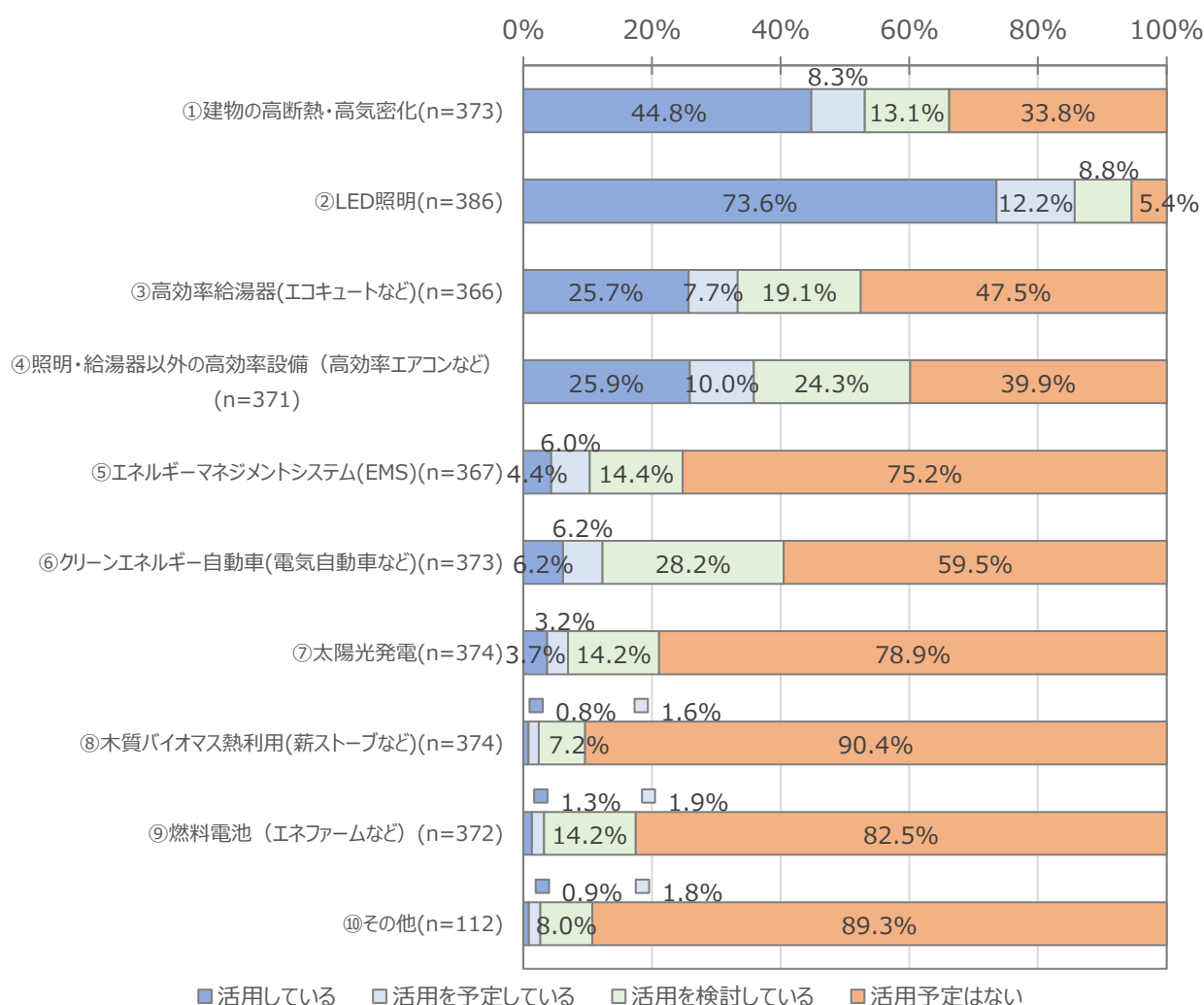


図 23 活用している・今後活用したい省エネ・再エネ設備

太陽光発電の活用状況を前回結果と比較すると、「活用している」が増加していました。

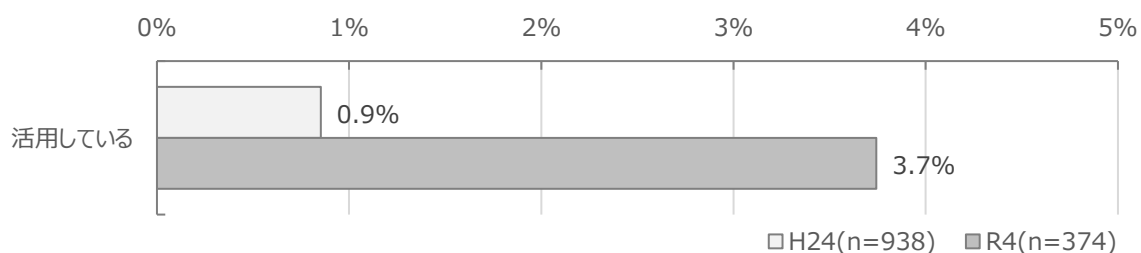


図 24 太陽光発電の設置状況の比較 (H24 と R4)

また、設備ごとの回答を居住年数別にみると、給湯器やエアコンなどの高効率設備は「居住年数が少ない」ほど「活用している」傾向でした。

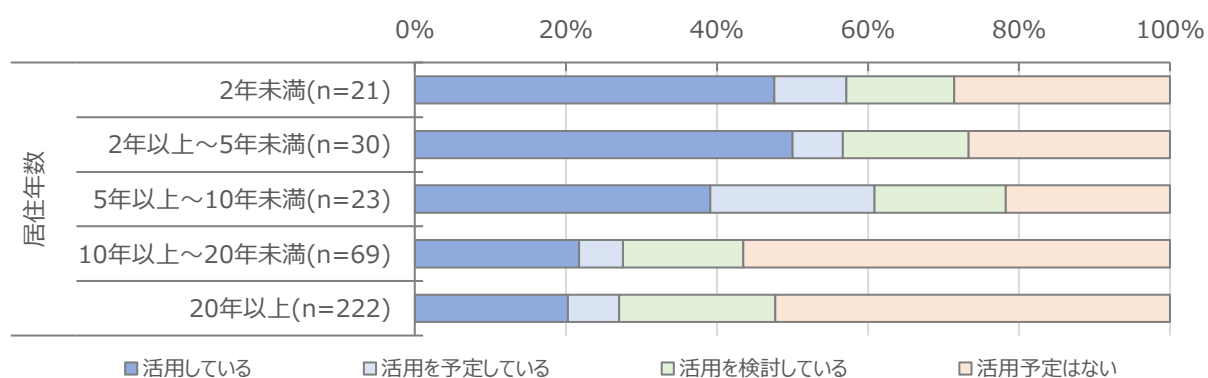


図 25 ③高効率給湯器(エコキュートなど)の活用状況 (居住年数クロス)

- 導入が容易な「LED」の活用が進んでいるほか、「建物高断熱・高気密化」や「高効率機器」などの省エネ設備も一定数の導入が進んでいます。
- 一方で、多くの費用がかかる「クリーンエネルギー自動車」や「太陽光発電」などの設備は活用が進んでおらず、活用予定も少ない状況です。

(4) 脱炭素社会の実現に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

「脱炭素社会に向けて必要な取組」については、「省エネ設備の導入や省エネ改修等への補助金など支援制度を充実」と「ごみの減量やリサイクルなど資源の有効利用を促進」が最も多く44.4%、次いで「再エネ設備の導入にかかる補助金など支援制度を充実」が32.5%でした。

その他、必要と思う取組は、「原発の再稼働」や「再エネ業者の参入促進」などがありました。

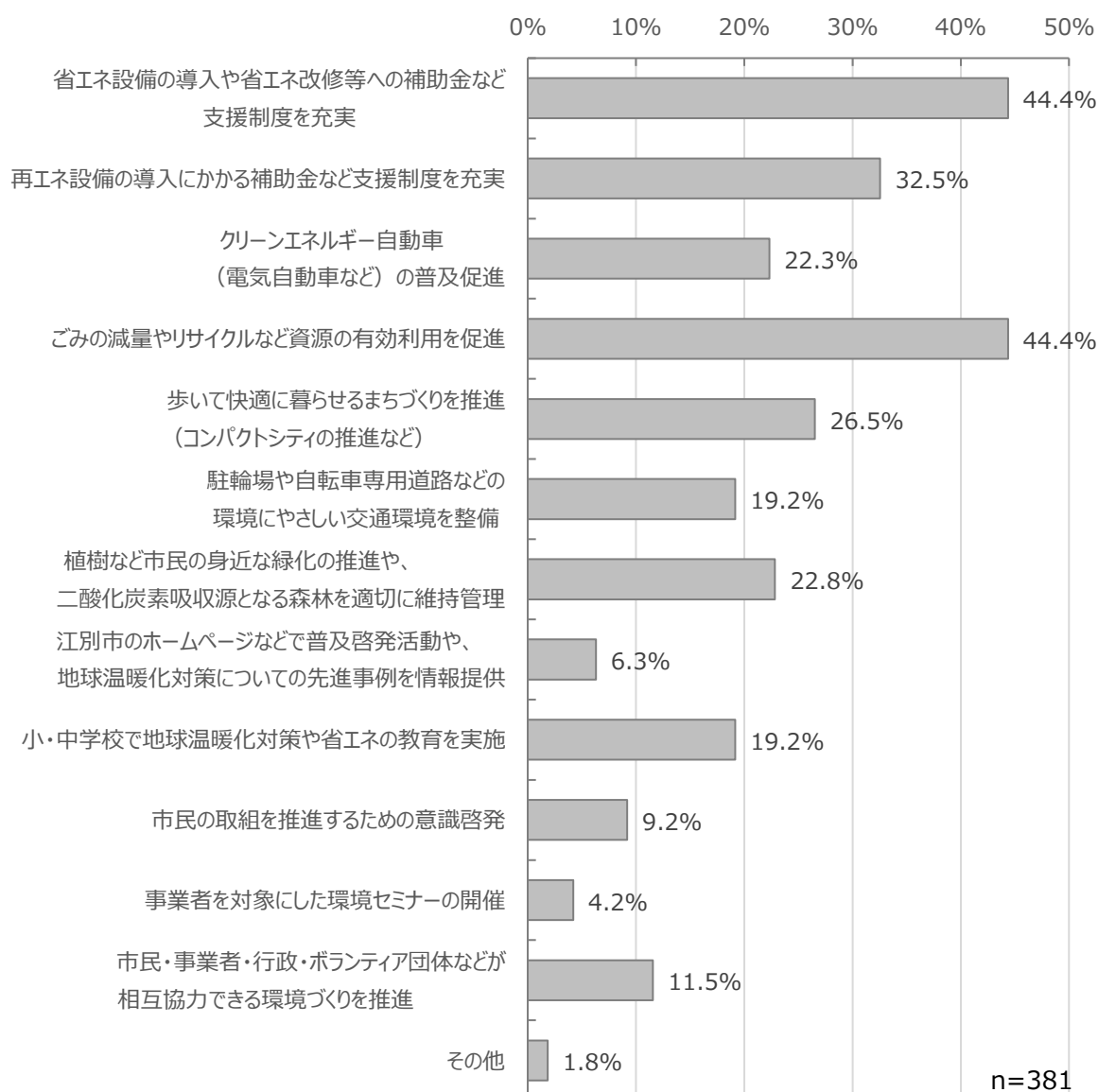


図 26 脱炭素社会に向けて必要な取組

○脱炭素社会に向けての取組としては、「省エネ・再エネ設備導入への補助金などの支援」に加えて、「ごみの原料やリサイクルなど資源の有効利用」が多く求められている状況です。

問 6 環境学習についてお尋ねします。

(1) あなたは、江別市が行っている環境学習・環境イベント等に参加したことがありますか。(1つに○)

「江別市の環境学習・環境イベントへの参加」については、「はい」が6.3%、「いいえ」が93.7%でした。

前回結果と比較しても、参加状況にはほとんど変化がない状況です。

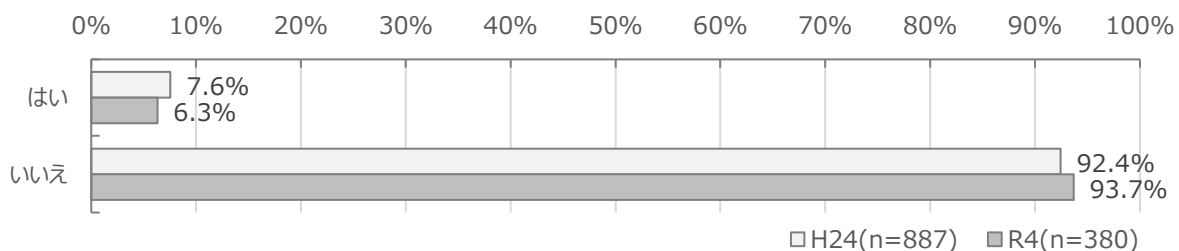


図 27 江別市の環境学習・環境イベントへの参加

また、江別市の環境学習・環境イベントへの参加状況を年代別にみると、「年代が高い」ほど環境学習・環境イベントへ参加している人が「多い」傾向でした。

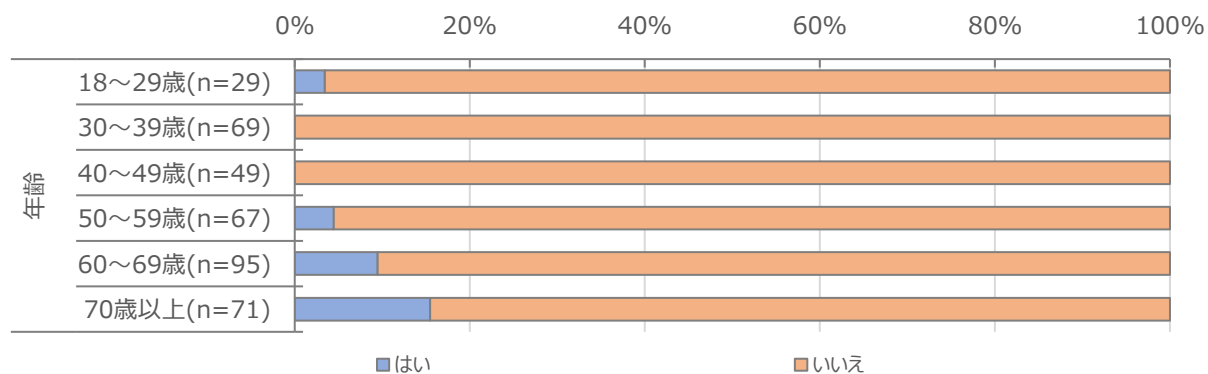


図 28 江別市の環境学習・環境イベントへの参加（年代クロス）

(1-1) 実際に参加したことがある環境学習・環境イベント等を教えてください。(当てはまるすべてに○)

※「問6(1)」で「はい」を選択

「参加したことがある環境学習・環境イベント」については、「省えべつ環境広場(毎年6月に開催)」が最も多く66.7%、次いで「えべつ市民環境講座」が29.9%、「えべつ環境ハンドブックの活用」が25.0%でした。

前回結果と比較すると、ほとんどの環境学習・環境イベントでは参加割合が増えています。

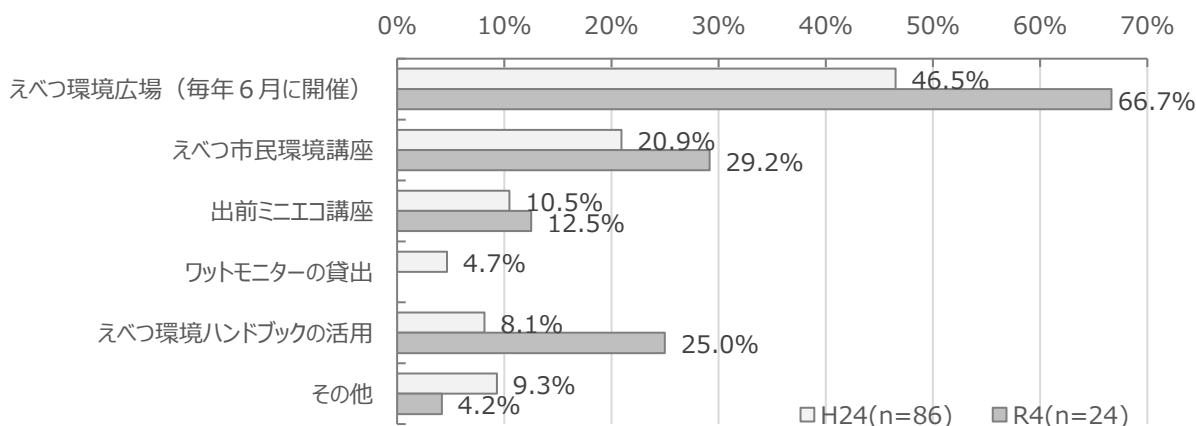


図 29 参加したことがあるイベント

(2) 現在よりさらに環境学習・環境イベント等を充実させることが必要だと思いますか。(1つに○)

「環境学習・環境イベントの充実の必要性」については、「必要だと思う」が最も多く53.7%、次いで「わからない」が24.7%でした。

前回結果と比較すると、「強く必要だと思う」・「必要だと思う」の回答割合が増えています。

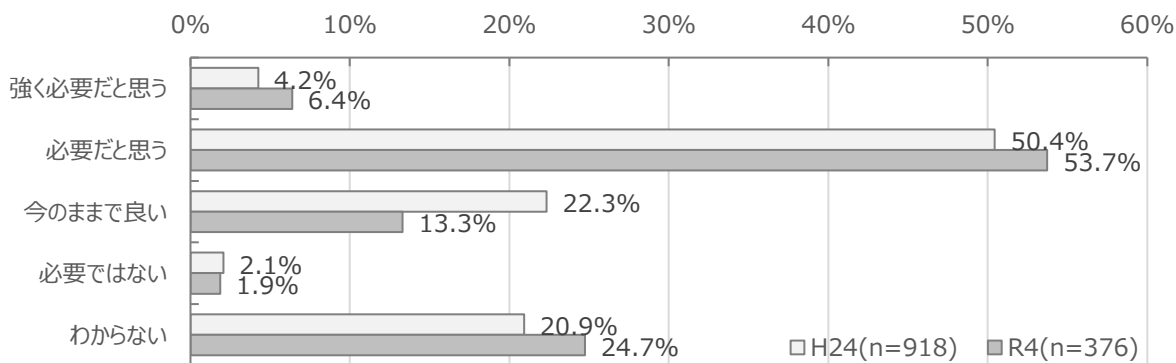


図 30 環境学習・環境イベントの充実の必要性

- 「年代が低い」ほど「環境学習・環境イベント」への参加が少ない傾向にあるため、若い世代へ向けた啓発が必要と考えられます。
- また、「環境学習・環境イベント」を「現在よりも充実させることが必要」だと考えている人が多いため、今後も取組を継続していくことが重要と考えられます。

（３）市民の環境意識を高くしていくためには、どのような取組が重要だと思いますか。（当てはまるすべてに○）

「市民の環境意識を高めるために重要と思う取組」については、「小中学校における環境学習の充実」が最も多く 61.4%、次いで「市民を対象にした環境講座の充実」が 33.8%、「体験型環境学習の充実」が 32.2%、「企業等への環境マネジメントシステム導入のための普及啓発・助成」が 31.6%でした。

その他、市民の環境意識を高めるために重要と思う取組は、「環境問題を身近に感じさせる工夫」・「大人への環境教育」・「行政の取組の見える化」などがありました。

前回結果と比較しても、回答割合に大きな変化はない状況となっています。

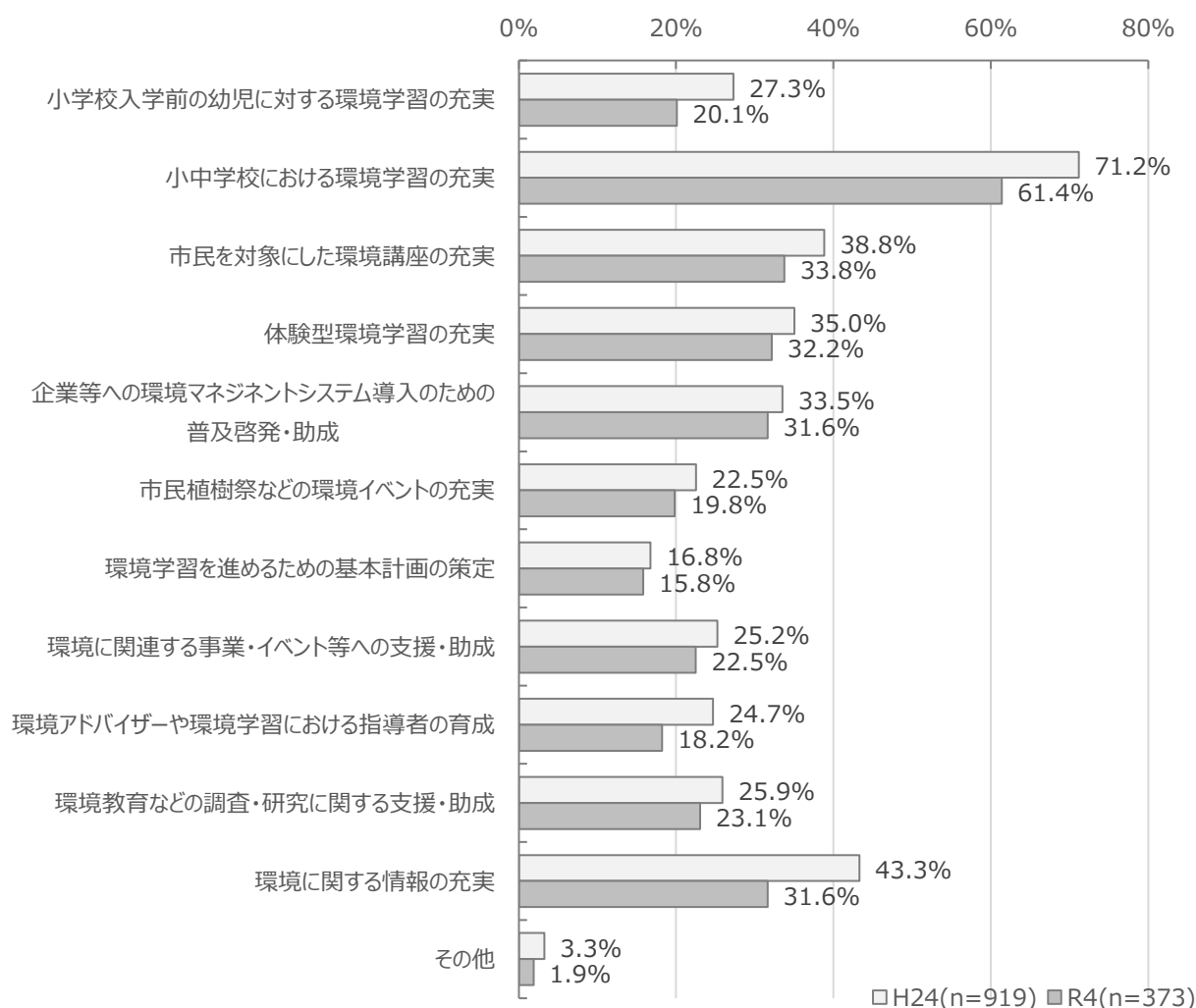


図 31 市民の環境意識を高めるために重要と思う取組

また、市民の環境意識を高めるために重要と思う取組を年代別にみると、「年代が高い」ほど「市民を対象にした環境講座の充実」を重要と思う人が多い傾向でした。

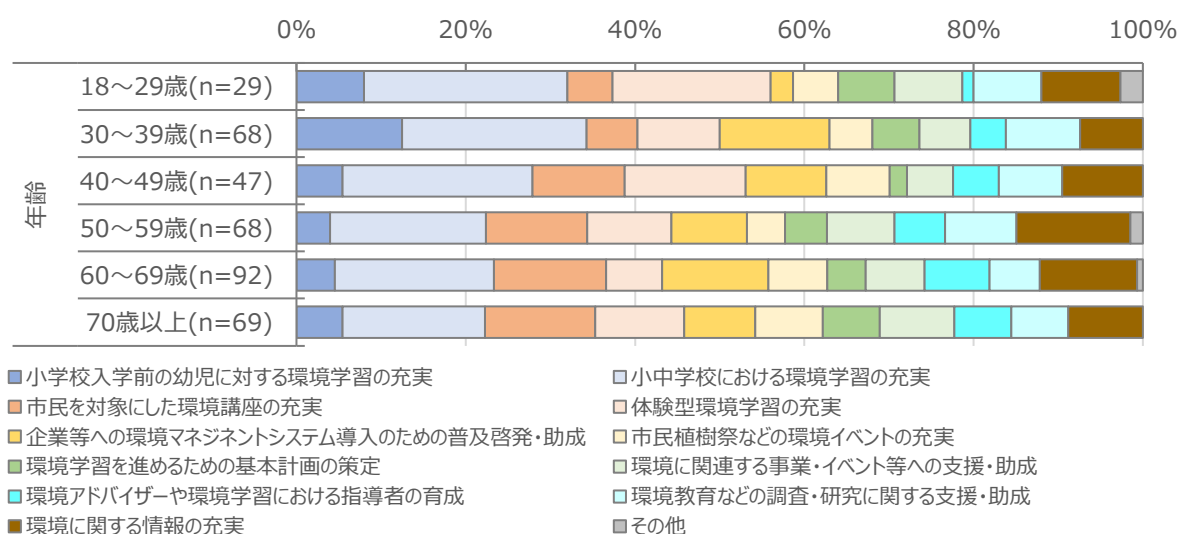


図 32 市民の環境意識を高めるために重要と思う取組（年代クロス）

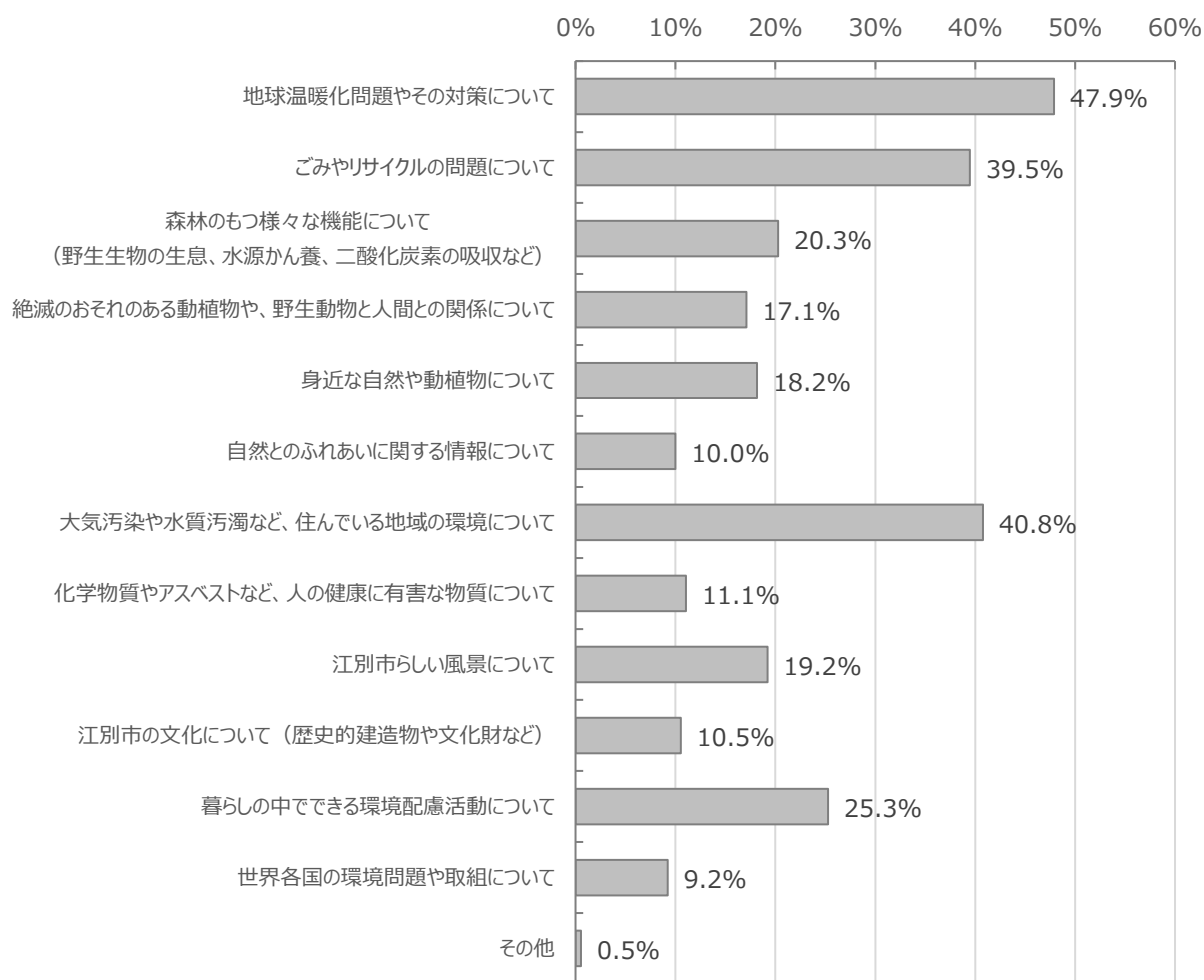
- 市民の環境意識を高めるには、「子供や市民を対象とした環境学習・体験学習」が重要と考えている人が多い状況でした。「市民を対象とした環境学習」については、「年代が高い」ほど重要と考える人が多い傾向でした。
- その他、環境情報の発信を重要と考える人も多かったため、「環境学習」の内容を充実させるとともに、それらの「情報を発信」していくことが重要となる考えられます。

問 7 環境に関する情報についてお尋ねします。

(1) 環境に関する情報について、どのようなことを知りたいと思いますか。 (3つまで○)

「環境に関する情報で知りたいこと」については、「地球温暖化問題やその対策について」が最も多く 47.9%、次いで「大気汚染や水質汚濁など、住んでいる地域の環境について」が 40.8%、「ごみやリサイクルの問題について」が 39.5%でした。

その他、環境に関する情報で知りたいことは、「市の本気度」などがありました。



n=380

図 33 環境に関する情報で知りたいこと

また、環境に関する情報で知りたいことを年代別にみると、「年代が高い」ほど「大気汚染や水質汚濁など、住んでいる地域の環境について」を知りたいと思う人が多い傾向でした。

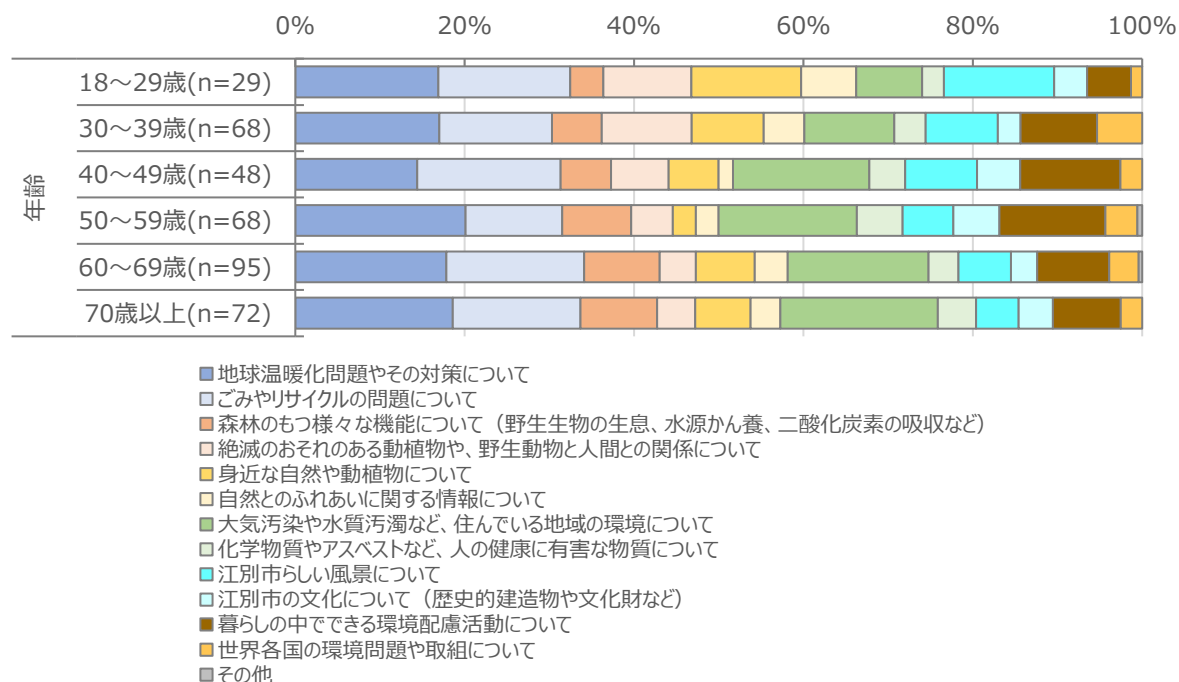


図 34 環境に関する情報で知りたいこと（年代クロス）

- 環境に関する情報で知りたいことでは、世界規模で問題になっている「地球温暖化」や、「ごみやリサイクル」・「住んでいる地域の環境」といった身近な環境について知りたい人が多くなっていました。
- 「地球温暖化」については、どの年代も情報を知りたいと考えている傾向でしたが、身近な環境については、年代が高いほど「住んでいる地域の環境」について知りたい人が多い傾向でした。

（２）環境に関する情報について、主にどの媒体から入手していますか。（３つまで○）

「環境情報の入手媒体」については、「テレビ」が最も多く70.7%、次いで「インターネット」が58.6%、「新聞」が55.7%でした。

その他、環境情報を入手する媒体は、「書籍」や「近所の人との会話」などがありました

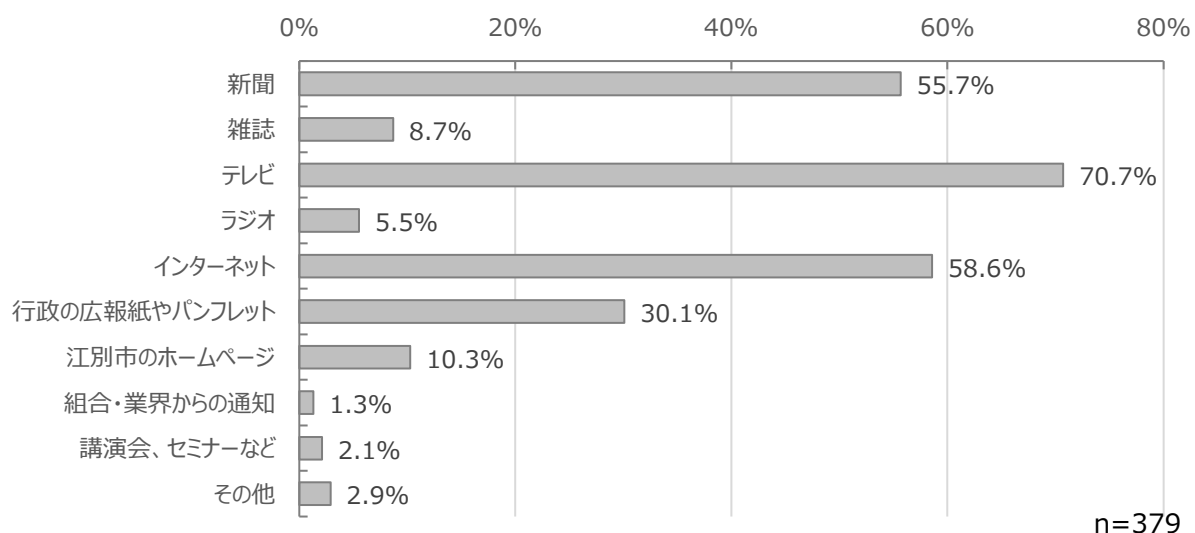


図 35 環境情報の入手媒体

また、環境情報の入手媒体を年代別にみると、「年代が低い」ほど「インターネット」を活用している人が多く、「年代が高い」ほど「新聞」を活用している人が多い傾向でした。

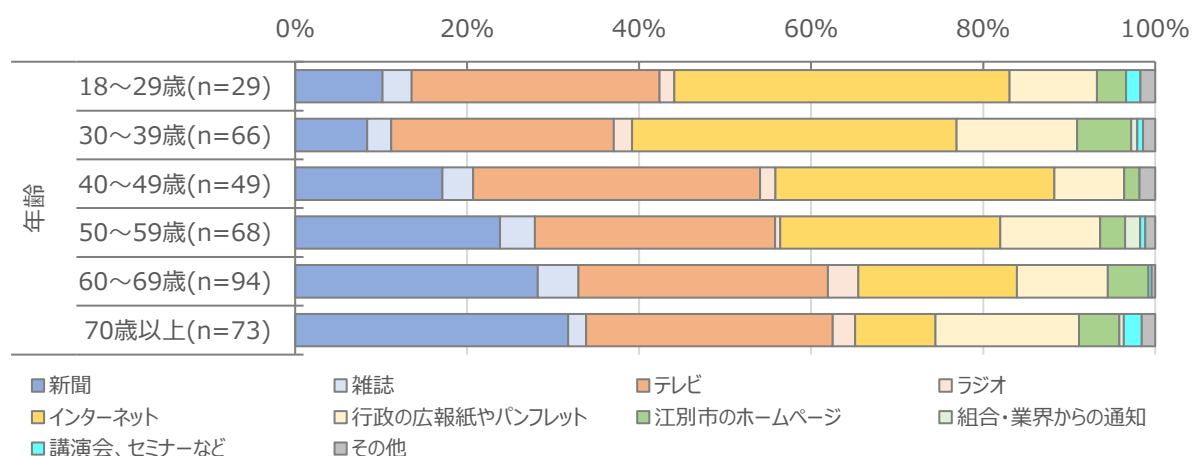


図 36 環境情報の入手媒体（年代クロス）

○環境情報の入手媒体は、「年代が低い」ほど「インターネット」を活用しており、「年代が高い」ほど「新聞」を活用している状況でした。そのため、複数の媒体を活用することが効果的な情報発信につながると考えられます。

問 8 江別市の環境について、日頃感じていることがございましたらご自由にお書きください。

「江別市の環境について日頃感じていること」は、90 人から意見があり、その概要は次のとおりでした。

表 2 江別市の環境について日頃感じていることの概要

分野		江別市の環境について日頃感じていることの概要	
地球環境 (8)	地球温暖化 (3)	・地球温暖化による気候変動に危機感がある。	など
	エネルギー (5)	・木を切ってまで太陽光発電を設置するべきではない。 ・市のクリーンエネルギーの位置などを見える化してほしい。	など
循環 (19)	廃棄物 (11)	・ごみステーションの設置を助成してほしい ・ポイ捨てなどマナーが悪い。	など
	リサイクル (8)	・リサイクルの回収場所をもっと増やしてほしい。 ・プラスチックごみを収集してほしい。	など
自然環境 (40)	自然環境 (10)	・自然豊かで良い環境である。	など
	公園 (9)	・公園の整備が行き届いていない。 ・公園を利用したイベントが少ない	など
	樹木 (9)	・街路樹が減っていて残念に思う。 ・街路樹からの落ち葉などが多くて迷惑している。	など
	有害鳥獣 (5)	・キツネが多く、エキノコックスが不安。 ・カラスが多く悩まされている。	
	その他 (7)	・雑草が多く管理されていない場所がある。	など
生活環境 (43)	公害 (4)	・製紙工場の空気が臭い。	など
	交通 (13)	・歩道が歩きにくい。 ・免許の返納者へ公共交通の補助をしてほしい。	など
	景観 (4)	・レンガの街並み景観が良い。	
	街の開発 (5)	・大麻駅や高砂駅の環境が悪い。街灯やお店を増やしてほしい。	など
	除雪 (16)	・除雪の対応が悪く、何とかしてほしい。 ・住民の除雪マナーが悪い。	
情報 (20)	環境教育 (11)	・市民の環境意識を高める取組を進めるべき。 ・正しい環境配慮をできない人のために具体的な説明をしてほしい。	など
	情報 (8)	・市の取組が分からない。もっと周知してほしい。	など
その他 (6)	その他 (6)	・年々過ごしやすくなっていると思う。	など

- 「生活環境」と「自然環境」に関する記載が多くなっており、「生活環境」では「除雪」や「交通」について、「自然環境」では「公園」や「樹木」の管理についての不満が多い傾向でした。
- 一方で、「レンガの街並み景観」や「自然豊かな環境」など、市の環境に満足している方も一定数いる状況でした傾向でした。

4 事業者アンケート調査結果

4.1 総括

- 「環境配慮等の経営方針」や「環境を担当する部署」は、「資本金が多い」ほど「定めている」・「置いている」が多い傾向でした。また、全ての事業者が「環境配慮等に取り組むべき」と考えていますが、「費用や人手の問題から取り組めない」とする事業者もわずかにおり、それは「資本金が少ない」ほど多い傾向でした。そのため、小規模の事業者では取組があまり進んでいない状況と考えられます。【問 2(1)・(2)・(3)より】
- 多くの事業者が「省エネ行動」に取り組んでおり、取り組みが普及してきている一方で、「地域住民への環境教育」や「出前講座の実施」など「地域の環境」に関する取組はあまり実施されていません。そのため、地域と事業者との連携を進めることが重要になると考えられます。【問 3(1)より】
- 「環境認証」を「今後取得する予定はない」とする事業者が増加しており、その理由を「取得するメリットがない」と考える事業者が前回結果よりも増加していました。そのため、「環境認証」についての情報発信や普及啓発を進めることが重要になると考えられます。【問 3(2)・(2-3)より】
- 「事業への地球温暖化の影響」は、「製造業」と「卸売・小売業」で多く発生・想定されている状況でした。「製造業」では「原料価格の上昇」や「農作物の量・質の低下」などについて、「卸売・小売業」では「光熱費の上昇」や「冬季観光への影響」などが挙げられています。【問 4(1-1)より】
- 一方で、「事業への地球温暖化の影響は出ておらず、今後も出るとは思えない」と考えている事業者が一定数おり、それは「従業員数が少ない」ほど多い傾向でした。事業者には地球温暖化対策を進める意識があまり浸透していないと考えられるため、普及啓発を進めることが重要になると考えられます。【問 4(1)より】
- 多額の費用がかかる「クリーンエネルギー自動車」や「新エネ機器（太陽光発電など）」は、ほとんど活用が進んでいない状況でした。しかし、「環境配慮行動を今後も実践していくための支援」や「脱炭素社会に向けた取組」として、「省エネ・新エネ導入への支援制度の充実」が多く求められていることから、事業者への助成や情報発信を適切に行うことで導入が進む可能性があります。【問 3(3)・問 4(2)・(3)より】
- 約半数の事業者が「環境教育の実施予定はない」としており、それは「資本金が少ない」ほど多い傾向でした。一方で、「市が実施する環境経営普及セミナー」はほとんどが「参加したことはない」状況で、その理由は「セミナーの開催を知らなかった」が多くなっていました。そのため、「市が実施する環境経営普及セミナー」の情報発信を強化することで、事業者の環境教育に繋がる可能性があります。【問 5(1)・(2)・(2-1)より】
- 多くの事業者が「地球温暖化」と「廃棄物」について知りたいと考えており、注目度が高い状況でした。事業者のほとんどは「環境情報を入手する媒体」として「インターネット」を活用していますが、従来メディアの「新聞」・「テレビ」の活用も多いため、複数の媒体による情報発信が重要になると考えられます。【問 6(1)・(2)より】

4.2 アンケート結果

問 1 貴事業所についてお尋ねします。

(1) 業種 (1 つに○)

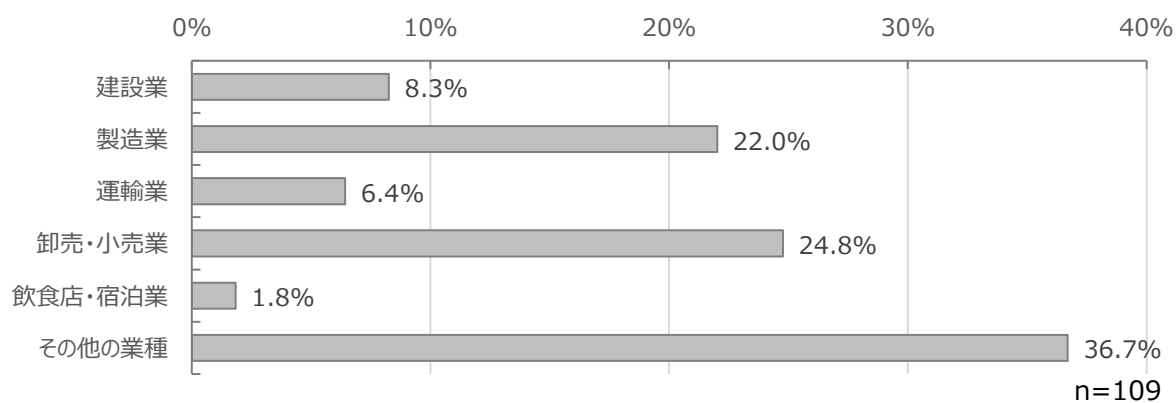


図 37 業種

(2) 従業員数 (1 つに○)

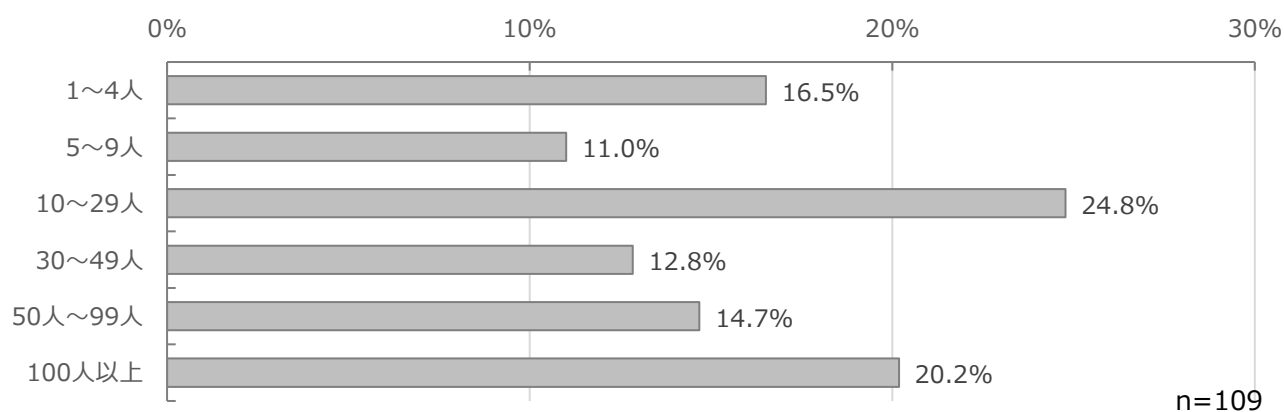


図 38 従業員数

(3) 資本金 (1 つに○)

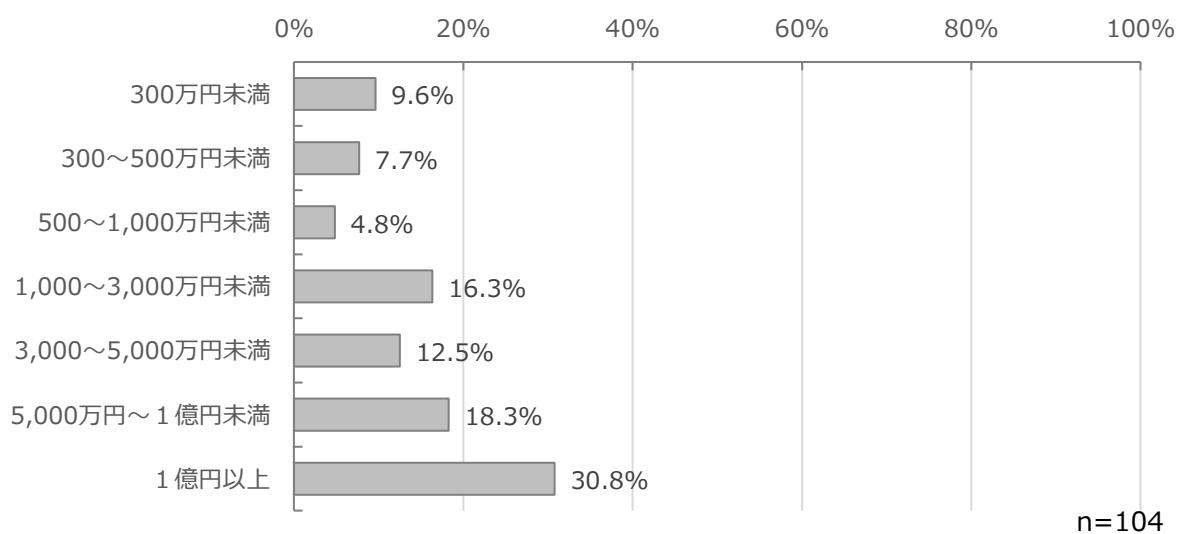


図 39 資本金

(4) 事業所の所有形態 (1 つに○)

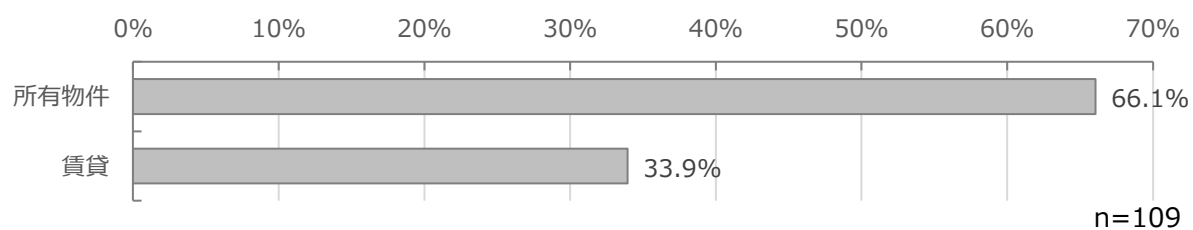


図 40 事業所の所有形態

問 2 環境に関する体制や考え方についてお尋ねします。

(1) 経営理念・方針において、公害防止を含む環境配慮等について定めていますか。(1つに○)

「環境配慮等の経営方針」は、「ある程度考え方を定めている」が最も多く、40.7%、次いで「明確に定めている」が31.5%でした。

前回結果と比較すると、「明確に定めている」と「定めていないが今後検討したい」が減少しており、「ある程度考え方を定めている」が増加していました。

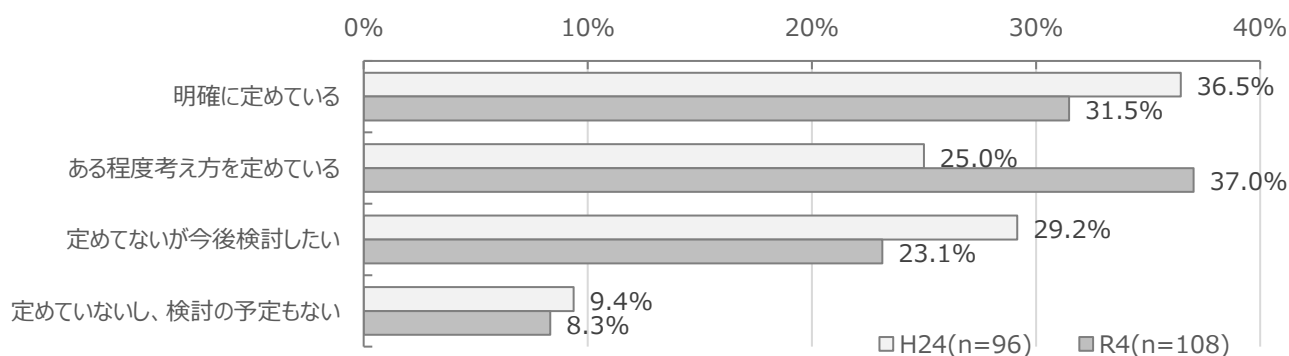


図 41 環境配慮等の経営方針

また、環境配慮等の経営方針を資本金別にみると、「資本金が多い」ほど「明確に定めている」を割合が多い傾向でした。

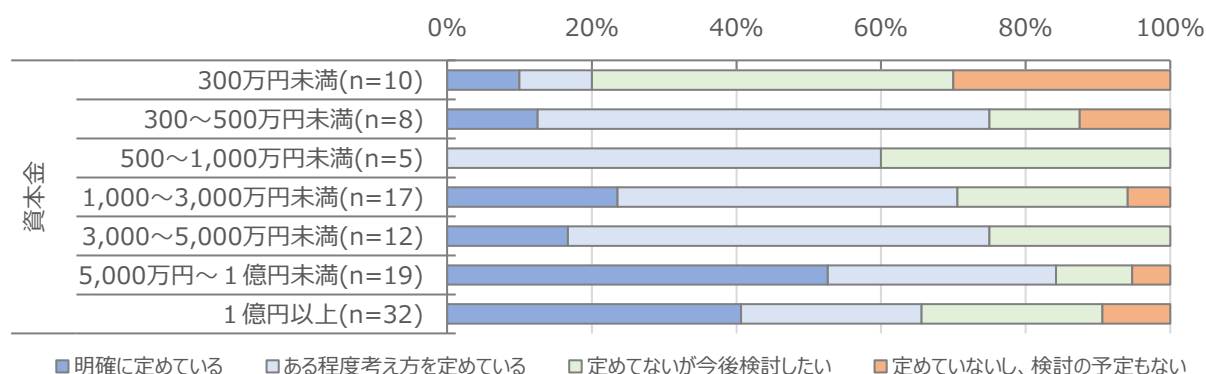


図 42 環境配慮等の経営方針（資本金クロス）

（２）公害防止を含む環境配慮等を扱う部署・担当を置いていますか。（１つに○）

「環境を担当する部署」は、「専門は置いていないが、各部署で考えている」が最も多く 33.9 %、次いで「置いていないが、今後検討したい」が 25.7%でした。

前回結果と比較すると、「置いている」が減少しており、「置いていないが、今後検討したい」が増えていました。

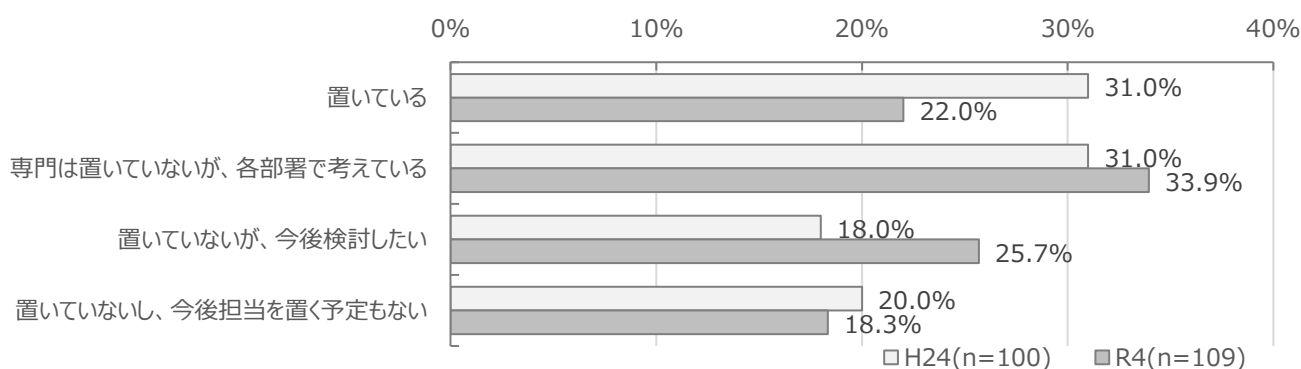


図 43 環境を担当する部署

また、環境を担当する部署についての経営方針を資本金別にみると、「資本金が多い」ほど「置いている」を割合が多い傾向でした。

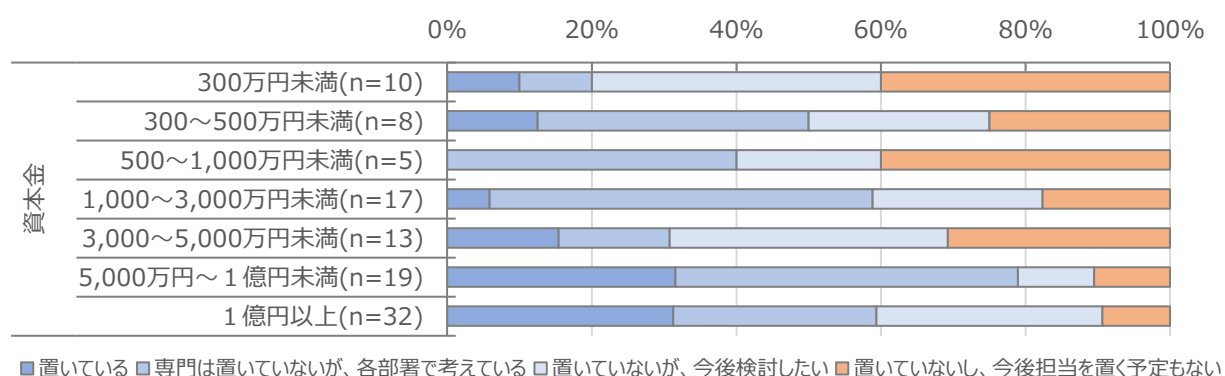


図 44 環境を担当する部署（資本金クロス）

○「環境配慮等の経営方針」や「環境を担当する部署」は、「資本金が多い」ほど「定めている」・「置いている」が多い傾向でした。

（３）公害防止を含む環境配慮等についてどのように考えていますか。（１つに○）

「環境配慮等に関する考え」は、「省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたいと考えている」が最も多く 45.4%、次いで「企業の責務として、法律や条例の規制基準を守れば十分と考えている」が 25.9%でした。

その他、環境配慮等に関する考えでは、「企業の責務として取り組んでいる」がありました。

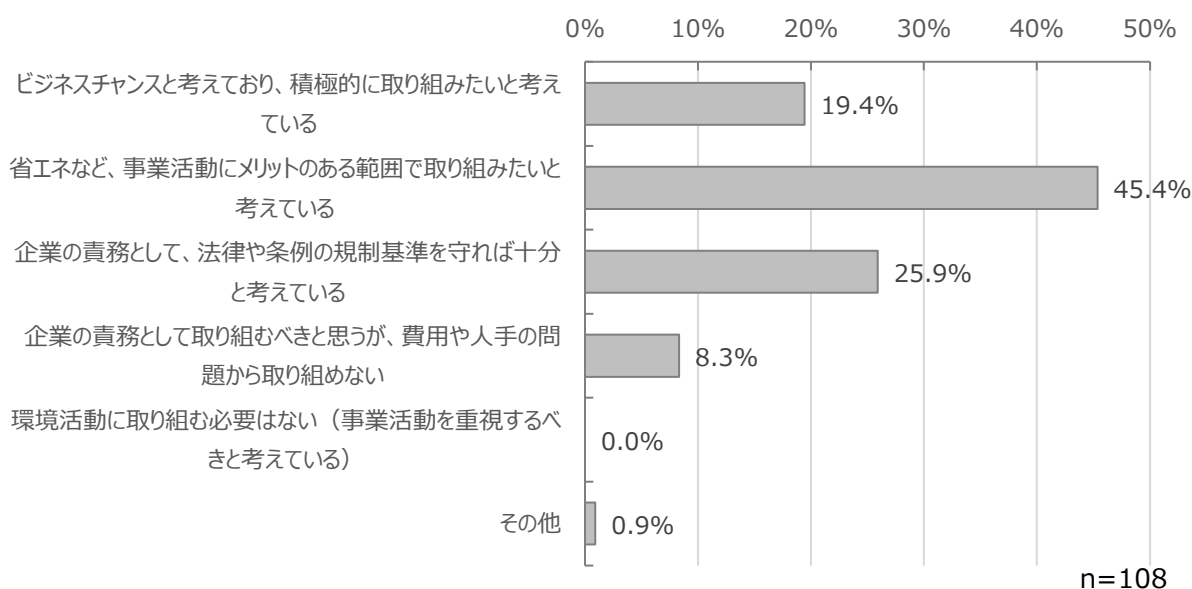


図 45 環境配慮等に関する考え

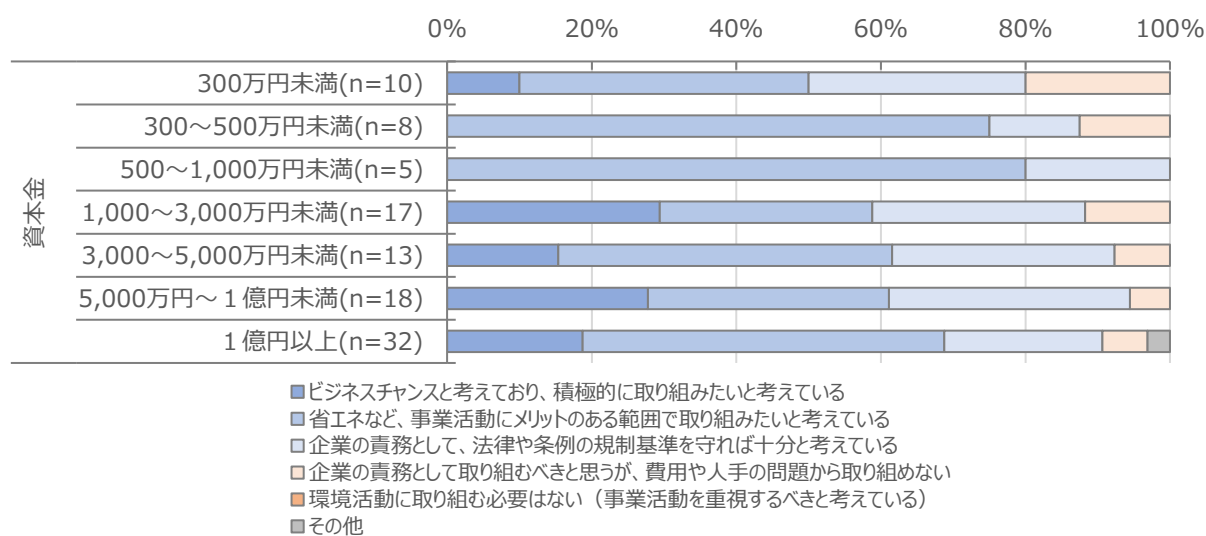


図 46 環境配慮等に関する考え（資本金クロス）

○全ての事業者が「環境配慮等に取り組むべき」と考えていますが、「費用や人手の問題から取り組めない」とする事業者もわずかにおり、それは「資本金が少ない」ほど多い傾向でした。

問 3 環境配慮行動の実施状況についてお尋ねします。

(1) 現在取り組んでいる環境配慮行動について教えてください。(1つに○)

「現在取り組んでいる環境配慮行動」について、「取り組んでいる」は、「⑨事業所内におけるごみの分別ルールづくり」が最も多く 86.1%、次いで「⑤紙使用の削減(裏紙の利用など)」が 85.2%でした。

「取り組む予定」は、「②節水の実施」が最も多く 15.2%、次いで「③エコドライブの実施(アイドリングストップなど)」が 15.0%でした。

「取り組む予定はない」は、「⑮地域住民への環境教育」が最も多く、次いで「⑰学校等への出前授業の実施」が 26.2%でした。

その他、取り組んでいる環境配慮行動は、「SDGs 宣言」や「再エネ事業」でした。

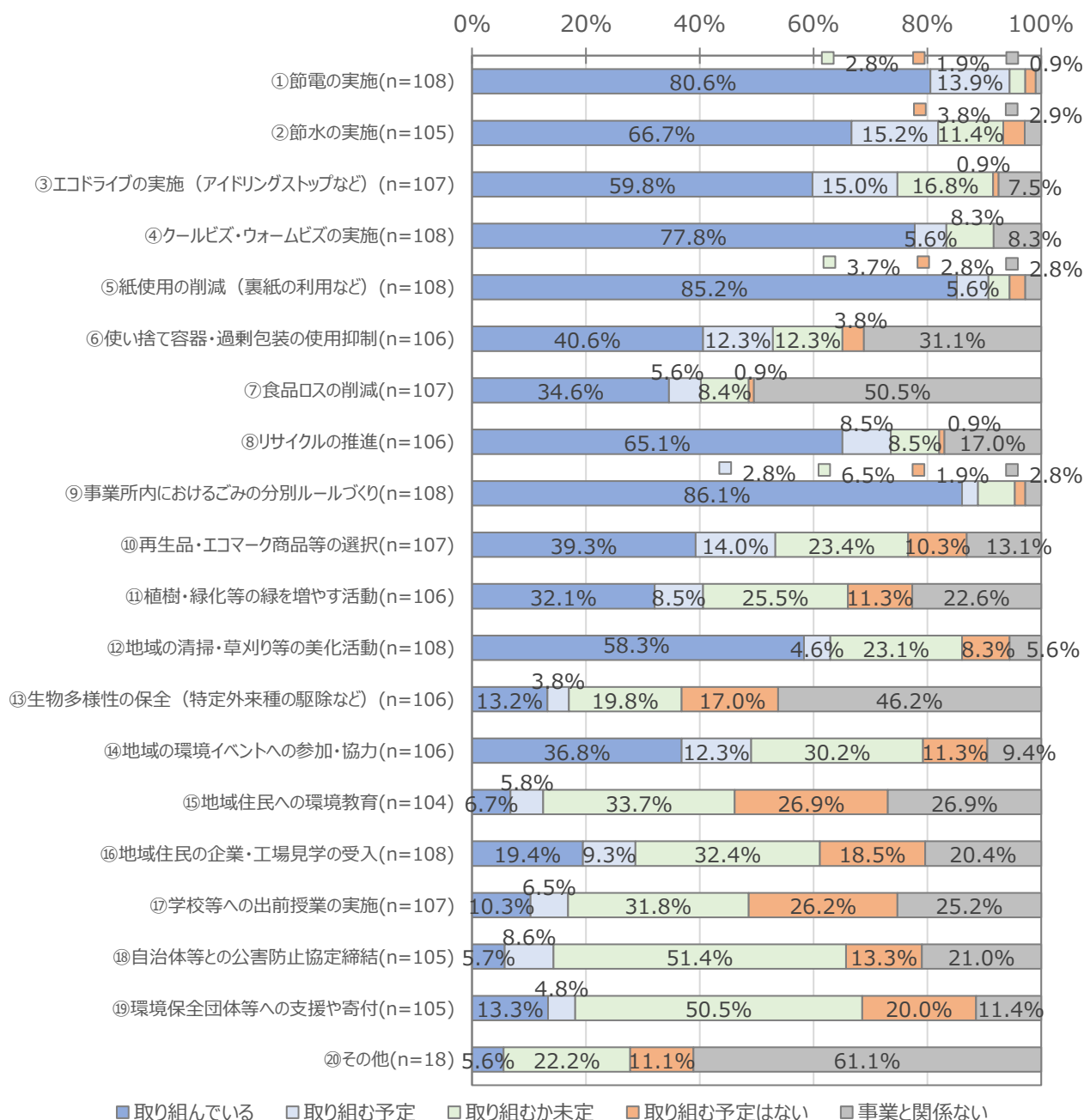


図 47 現在取り組んでいる環境配慮行動

前回結果と比較すると、ほとんどの項目で取組が進んでおり、中でも「⑫地域の清掃・草刈り等の美化活動」・「⑨事業所内におけるごみの分別ルールづくり」・「⑤紙使用の削減（裏紙の利用など）」の割合が大きく増えています。

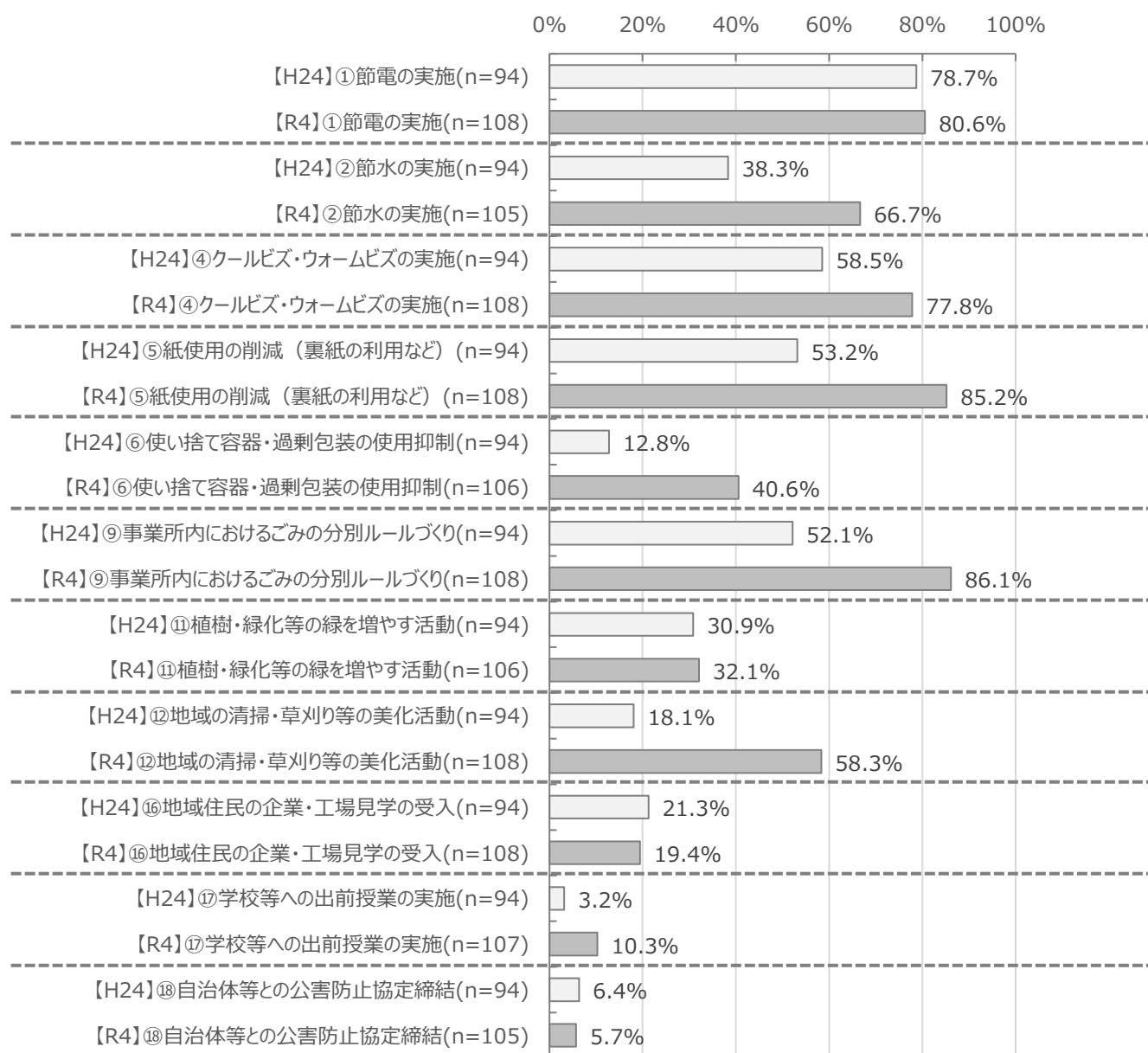


図 48 現在取り組んでいる環境配慮行動の比較（H24 と R4）

- 多くの事業者が「節電・節水」を始めとした「省エネ行動」に取り組んでいる状況で、前回結果と比較すると取組が進んでいることが分かります。
- 一方で、「地域住民への環境教育」や「出前講座の実施」など地域の環境に関する取組は少なく、「取り組む予定はない」とする事業者も多い状況です。

(1) 事業所として今後重視したいもの（新たに取り組む・取り組みを強化する）がありましたら、それについて教えてください。
（当てはまるすべてに○）

「今後重視したいもの（新たに取り組む・取り組みを強化する）」は、「①節電の実施」が最も多く54.5%、次いで「⑤紙使用の削減（裏紙の利用など）」が40.9%でした。

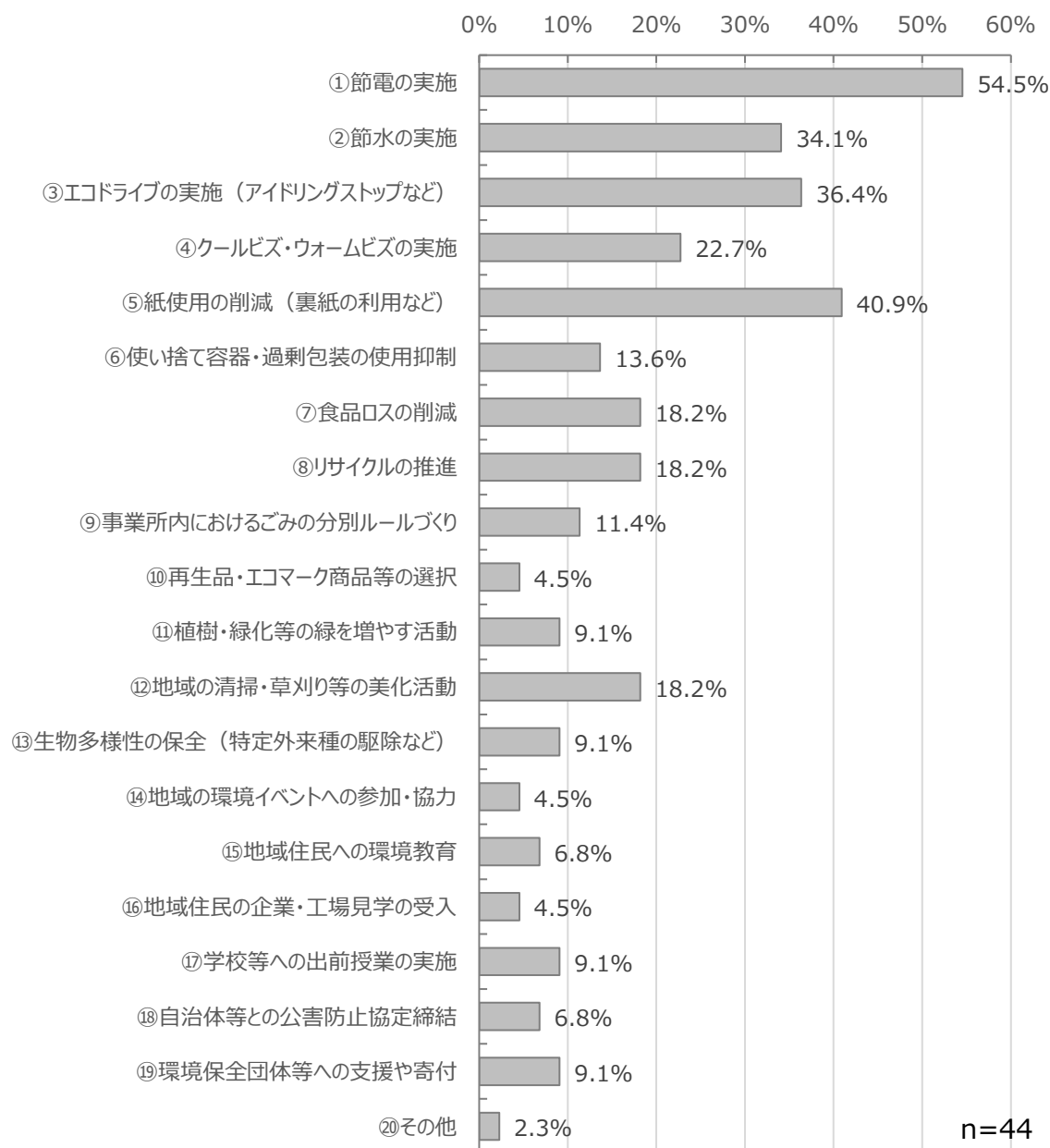


図 49 今後重視したい環境配慮行動

前回結果と比較すると、「②節水の実施」・「⑫地域の清掃・草刈り等の美化活動」を重視する割合が増えており、「④クールビズ・ウォームビズの実施」・「⑪植樹・緑化等の緑を増やす活動」・「⑨事業所内におけるごみの分別ルールづくり」を重視する割合が減っていました。

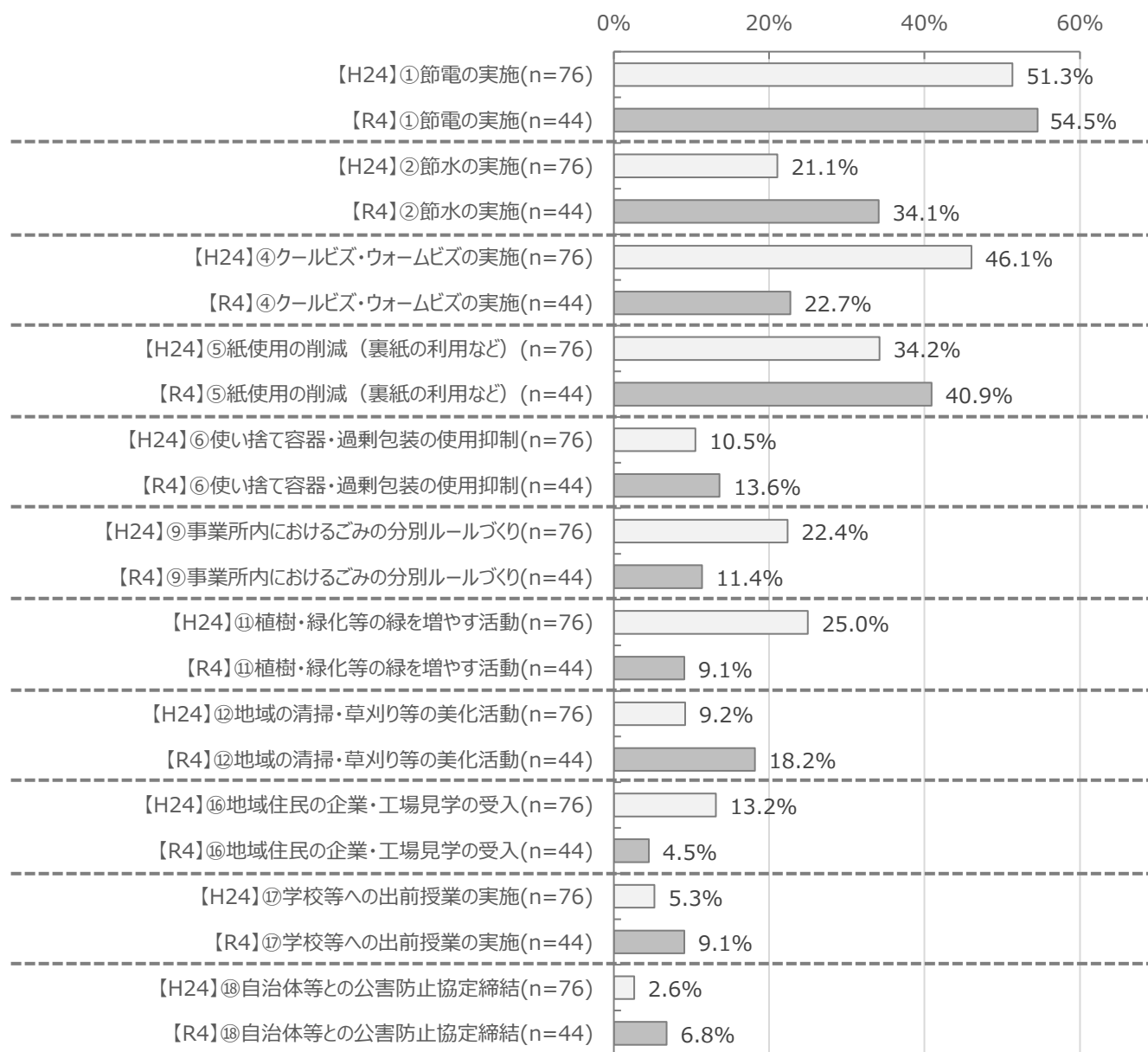


図 50 今後重視したい環境配慮行動の比較（H24 と R4）

- 「省エネ行動」を今後も重視して取り組んでいくと考える事業者は多く、前回結果と同じような傾向となっています。
- 一方、「⑪植樹・緑化等の緑を増やす活動」は、取組状況は前回結果から変化がありませんが、今後重視したいと考える事業者が減少しており、取組の優先度が下がってきていると考えられます。

（２）環境マネジメントシステム等の環境認証を取得していますか。（１つに○）

「環境認証の取得状況」は、「取得しておらず、今後取得の予定もない」が最も多く 59.4%、次いで「取得していないが、今後取得を検討したい」が 24.6%でした。

前回結果と比較すると、「取得している」・「取得していないが、今後取得を検討したい」ともに減少していました。

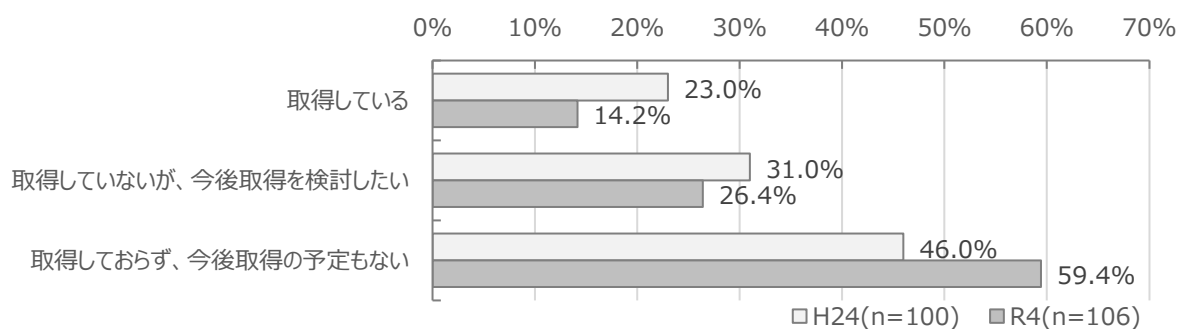


図 51 環境認証の取得状況

（2-1）取得している環境認証は何ですか。（当てはまるすべてに○）

※「問 3（2）」で「取得している」を選択

「取得している環境認証」は、「ISO14001」が最も多く 53.5%でした。

前回結果と比較すると、「ISO14001」と「グリーン経営認証」が減少していました。

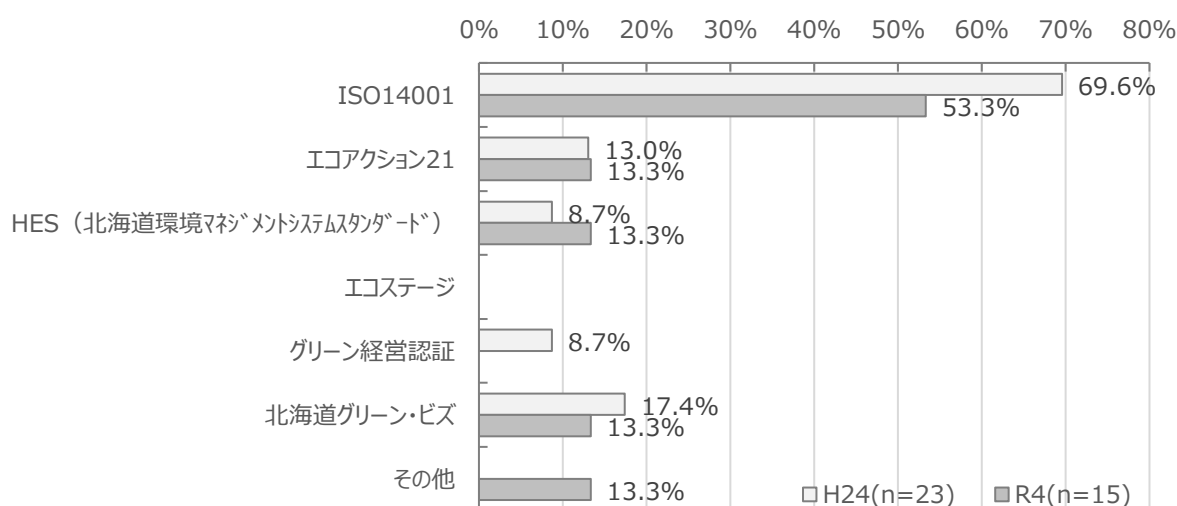


図 52 取得している環境認証

○「環境認証」を「今後取得する予定はない」とする事業者が増加しており、その理由を「取得するメリットがない」と考える事業者が前回結果よりも増加していました。

（2-2）今後、環境認証を取得したい理由は何ですか。 （当てはまるすべてに○）

※「問3（2）」で「取得していないが、今後取得を検討したい」を選択

「環境認証を取得したい理由」は、「環境に配慮することは企業の責務だと考えるから」が最も多く53.5%、次いで「認証を取得することで省エネ等の経費削減効果が期待できるから」が44.4%でした。

その他、環境認証を取得したい理由は、「具体的な行動の勉強をしたいから」でした。

前回結果と比較すると、「認証を取得することで省エネ等の経費削減効果が期待できるから」と「環境配慮をアピールすることで、工事等の受注数が増えることが期待できるから」が増加していました。

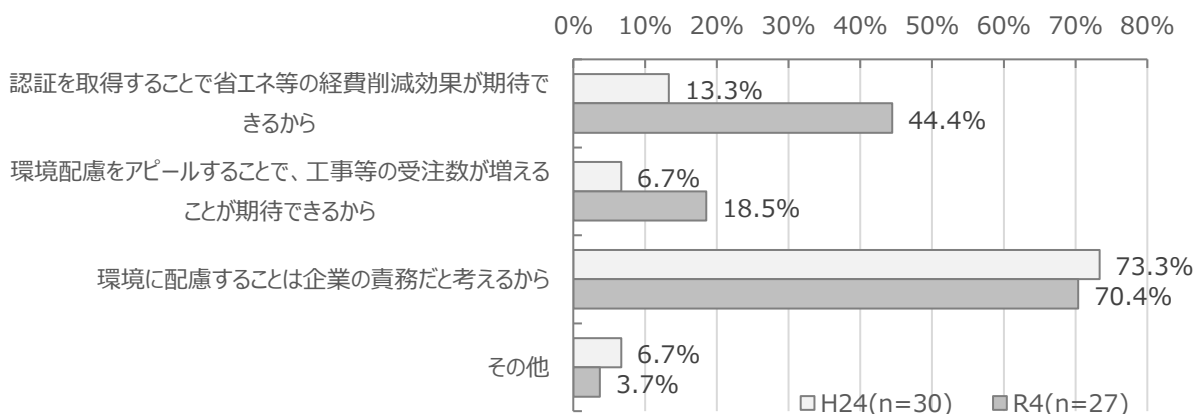


図 53 環境認証を取得したい理由

（2-3）今後、環境認証を取得する予定はない理由は何ですか。 （当てはまるすべてに○）

※「問3（2）」で「取得しておらず、今後取得の予定もない」を選択

「環境認証を取得する予定がない理由」は、「認証の取得・継続に掛かる事務負担が大きいから」が最も多く43.5%、次いで「認証を取得してもメリットがないから」が37.1%でした。

その他、環境認証を取得する予定はない理由は、「本社で取得済みのため」・「認証取得の優先順位が低いため」・「メリットが分からない」などがありました。

前回結果と比較すると、「認証を取得するために費用がかかるから」が減少しており、「認証を取得してもメリットがないから」が増加していました。

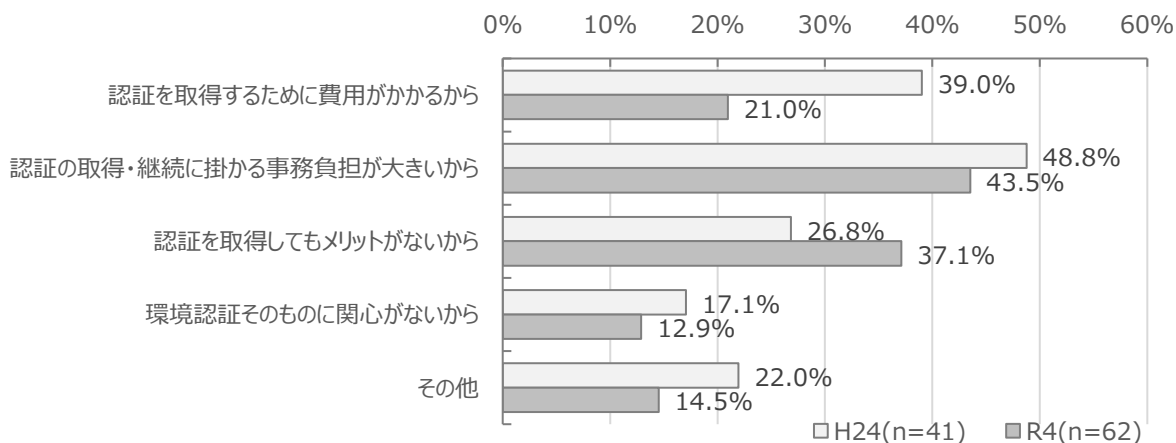


図 54 環境認証を取得する予定がない理由

（３）環境配慮行動を今後も実践していくには、どのような支援があればよいと思いますか。（３つまで○）

「環境配慮行動を続けるため希望する支援」は、「省エネ・再エネ設備導入への助成」が最も多く 70.5%、次いで「江別市の環境に関する情報提供」が 44.8%、「環境配慮行動の取組事例やガイドライン・関連法令等の情報提供」が 43.8%でした。

その他、環境配慮行動を続けるため希望する支援は、「支援に関わらず、本店の方針に従って行うこととなる」がありました。

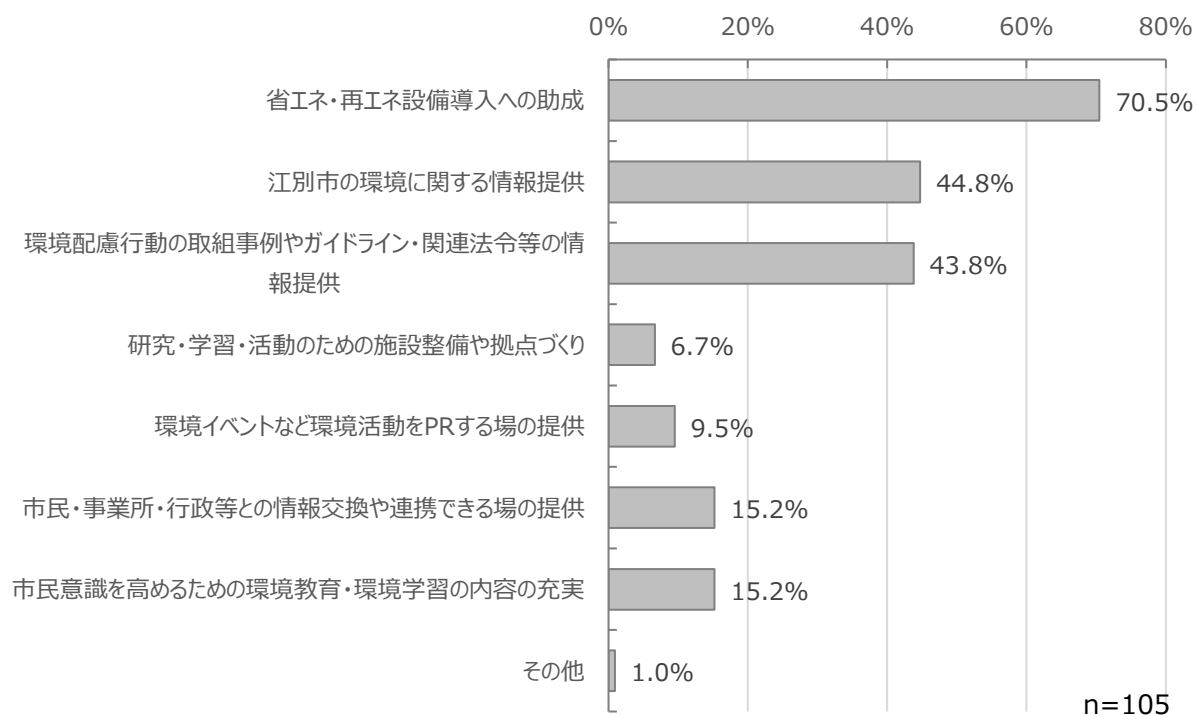


図 55 環境配慮行動を続けるため希望する支援

○「設備導入への助成」が支援として特に必要とされている状況でした。その他、「市の環境」・「環境配慮行動の事例や関連法令等」などの「情報提供」も多く求められています。

問 4 地球温暖化・エネルギーについてお尋ねします。

(1) 事業への地球温暖化の影響はありますか。(1 つに○)

「事業への地球温暖化の影響」は、「今のところ影響はないが、地球温暖化が進めば影響が出てくると思われる」が最も多く 39.6%、次いで「影響は出ておらず、今後も出るとは思えない」が 34.7%でした。

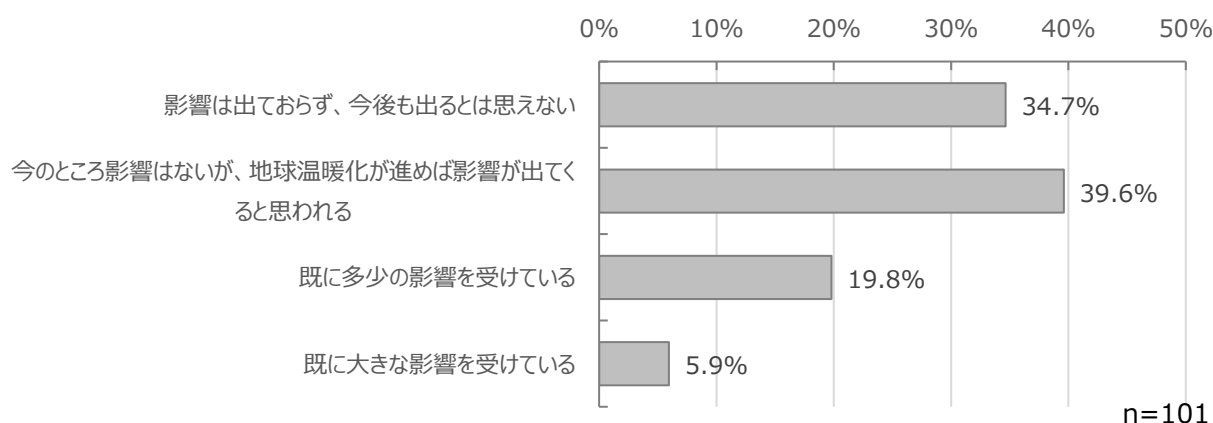


図 56 事業への地球温暖化の影響

また、事業への地球温暖化の影響を従業員数別にみると、「従業員数」が少ないほど「影響は出ておらず、今後も出るとは思えない」の割合が多い傾向でした。

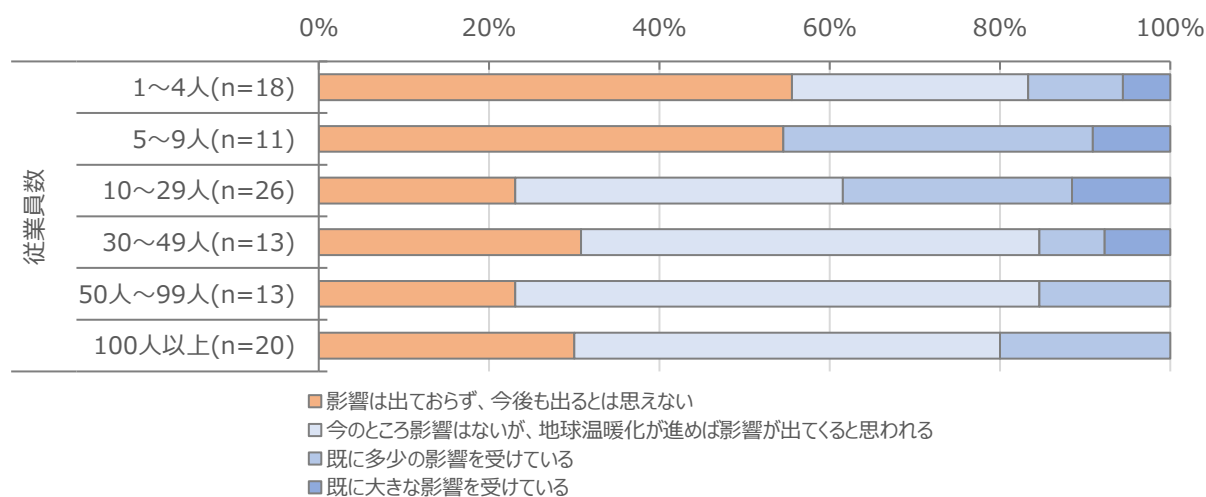


図 57 事業への地球温暖化の影響（従業員数クロス）

○「事業への地球温暖化の影響は出ておらず、今後も出るとは思えない」と考えている事業者が一定数おり、それは「従業員数が少ない」ほど多い傾向でした。事業者には、地球温暖化対策を進める意識があまり浸透していないと考えられるため、普及啓発を進めることが重要になると考えられます。

（1-1）事業への地球温暖化の影響はどういったものですか。または、どのような影響が想定されますか。（記述）

※「問4（1）」で「今のところ影響はないが、地球温暖化が進めば影響が出てくると思われる」、「既に多少の影響を受けている」、「既に大きな影響を受けている」を選択

「事業への地球温暖化の影響（想定含む）」は、55 事業者から記載があり、その概要は次のとおりでした。

表 3 事業への地球温暖化の影響（想定含む）の概要

業種	事業への地球温暖化の影響（想定含む）の概要	
建設業 (8)	- 大雨・大雪など異常気象による工事期間の変化。 - 炎天下での作業による体力消耗など、効率の低下。	など
製造業 (13)	- 原料などの仕入れ価格の上昇。 - 天候不順による農作物の量や質の低下。	など
運輸業 (1)	リモートワーク普及によるバス利用者の減少。	
卸売・小売業 (11)	- 光熱費の高騰。 - 冬季観光への影響による地域 PR 力の低下の懸念。	など
飲食店・宿泊業 (1)	生鮮食品や加工品の不足・値上げ。	
その他の業種 (21)	- エアコンの利用増によるコストの増加。 - 大雪による雪害	など

○「事業への地球温暖化の影響」は、「製造業」と「卸売・小売業」で多く発生・想定されている状況でした。「製造業」では「原料価格の上昇」や「農作物の量・質の低下」などについて、「卸売・小売業」では「光熱費の上昇」や「冬季観光への影響」などが挙げられています。

（２）活用している省エネ・再エネ設備について教えてください。（各設問の当てはまる項目１つに○）

「活用している省エネ・再エネ設備」について、「活用している」は、「②LED 照明」が最も高く 74.3%、次いで「①建物の高断熱・高気密化」が 26.8%でした。

「活用を予定している」は、「④照明・ボイラー以外の高効率設備（高効率エアコンなど）」が最も多く 9.1%、次いで「②LED 照明」が 8.9%でした。

一方で「活用予定はない」は、「⑨木質バイオマス発電」が最も高く 87.9%、次いで「⑧木質バイオマス熱利用」・「⑪燃料電池（エネファームなど）」が 85.9%でした。

その他、活用している設備には、「排熱回収・再利用」や「バイオガス発電」がありました。

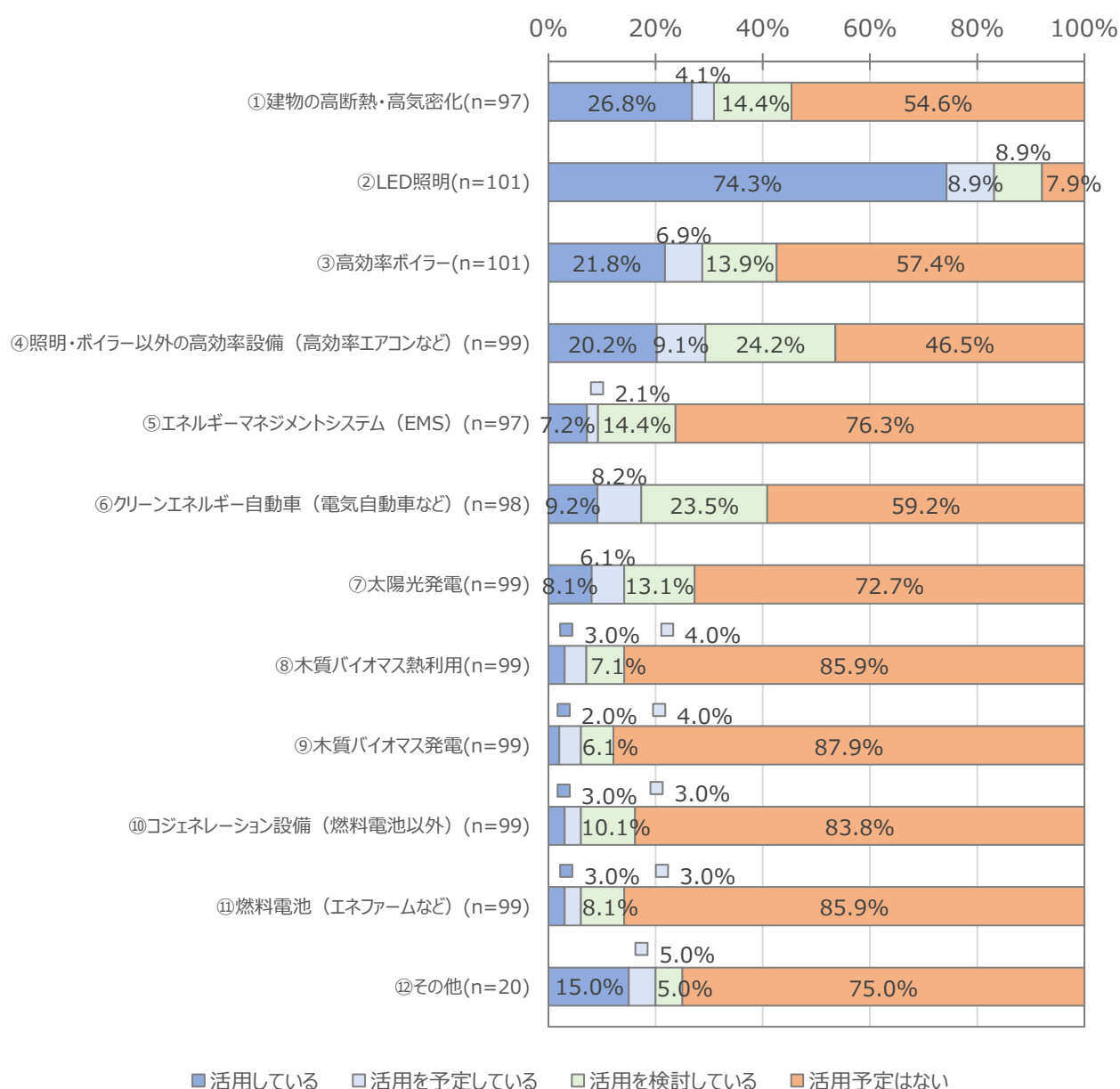


図 58 活用している省エネ・再エネ設備

前回結果と比較すると、「LED 設備」と「高効率ボイラー」は「活用している」が増加していますが、「クリーンエネルギー自動車（電気自動車など）」が減少していました。

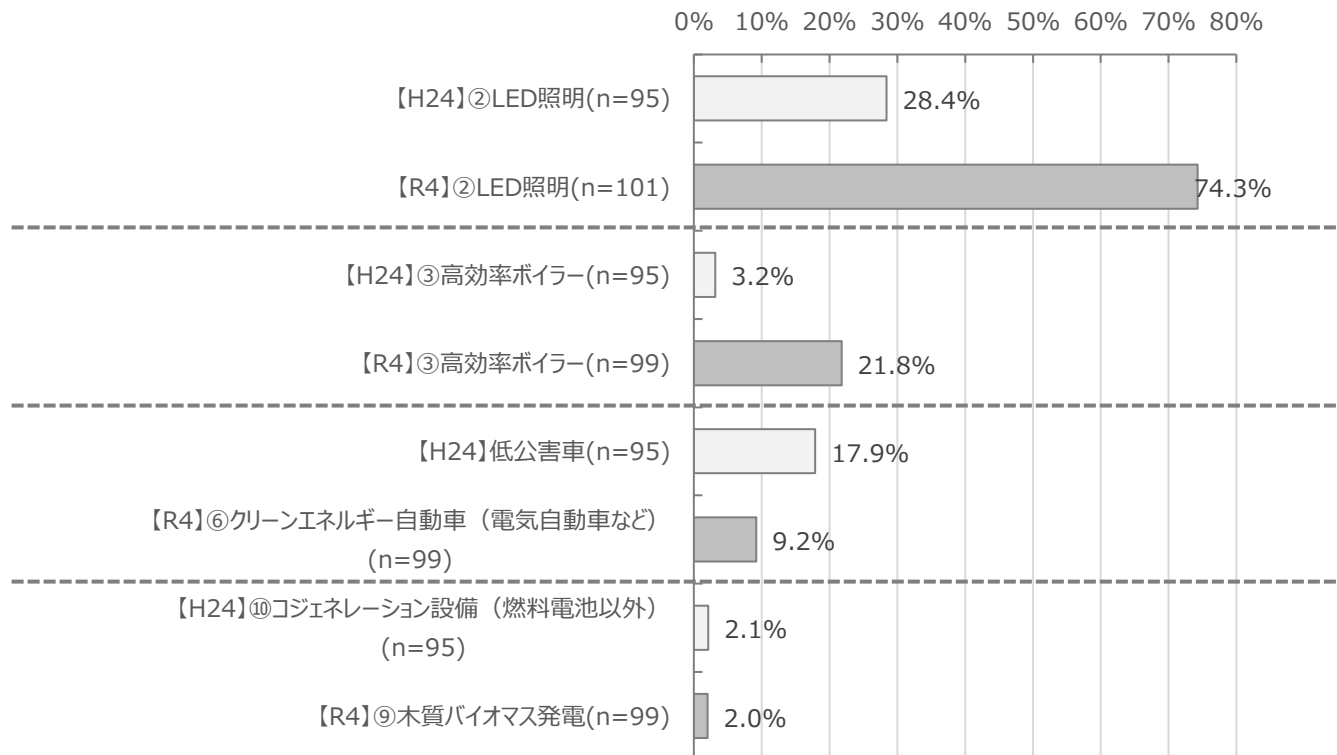


図 59 活用している省エネ・再エネ設備の比較（H24 と R4）

- 導入が容易な「LED」の活用が進んでおり、前回結果の倍以上の普及が進んでいます。そのほか、「建物高断熱・高気密化」や「高効率機器」などの設備も一定数の導入が進んでいます。
- 一方で、多くの費用がかかる「クリーンエネルギー自動車」や「太陽光発電」などの設備は活用が進んでいない状況です。

（３）脱炭素社会の実現に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。（３つまで○）

「脱炭素社会に向けて必要な取組」は、「省エネ設備の導入や省エネ改修等への補助金など支援制度を充実」が最も多く 71.0%、次いで「再エネ設備の導入にかかる補助金など支援制度を充実」が 57.9%、「ごみの減量やリサイクルなど資源の有効利用を促進」が 37.4%、「クリーンエネルギー自動車（電気自動車など）の普及促進」が 30.8%でした。

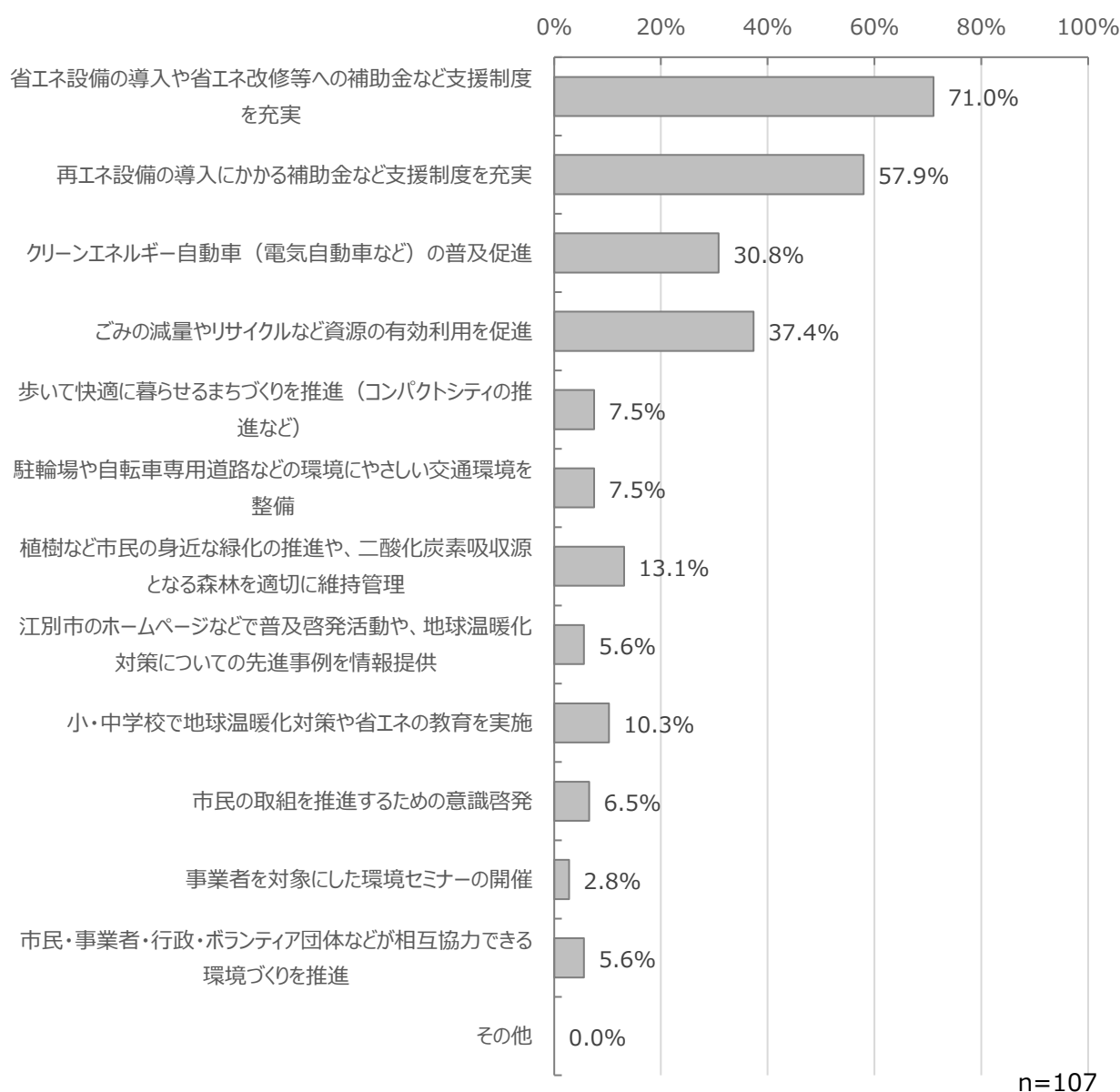


図 60 脱炭素社会に向けて必要な取組

○脱炭素社会に向けての取組としては、「省エネ・再エネ設備導入への補助金などの支援」が特に求められている状況です。

問5 環境教育・環境経営についてお尋ねします。

(1) 環境配慮や公害防止に関連する従業員教育や研修を実施したことがありますか。(1つに○)

「環境に関する従業員教育の実施」は、「実施したことはなく、今後の実施予定もない」が最も多く38.9%、次いで「実施したことはないが、今後実施したい」が36.1%でした。

前回結果と比較すると、「定期・不定期的に実施している」と「過去には実施したが、今後の実施予定はない」は減少しており、「実施したことはないが、今後実施したい」が増加していました。

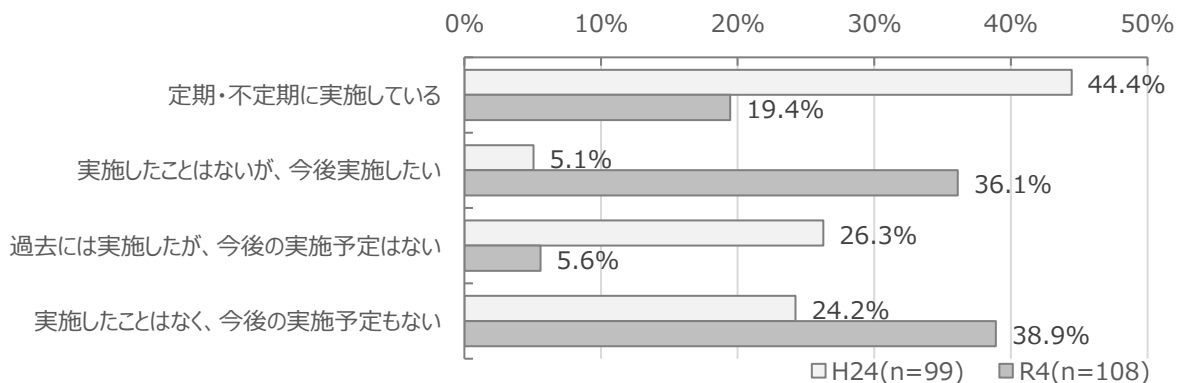


図 61 環境に関する従業員教育の実施

また、環境に関する従業員教育の実施を資本金別にみると、「資本金」が多いほど「定期・不定期的に実施している」の割合が多い傾向でした。

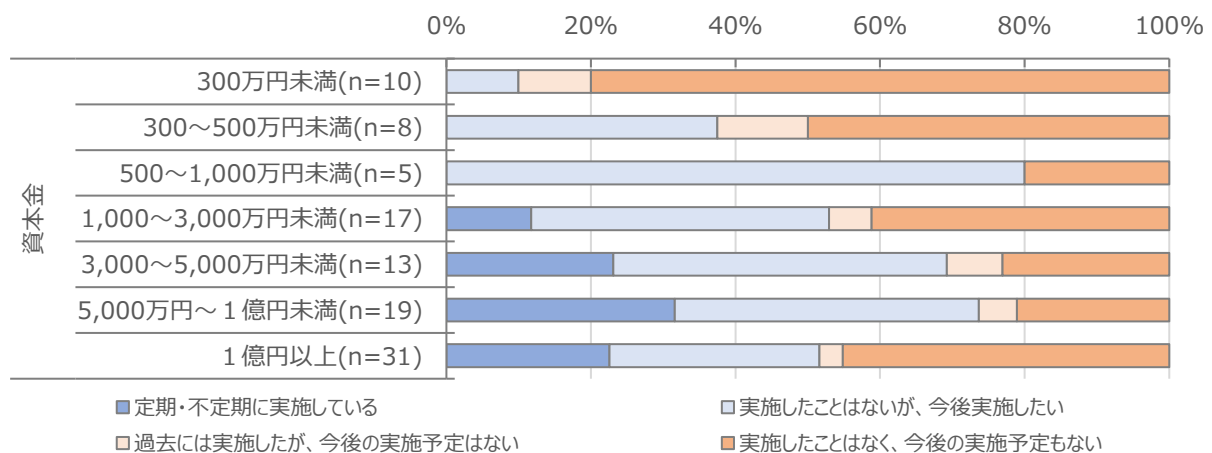


図 62 環境に関する従業員教育の実施

○約半数の事業者が「今後、環境教育の実施予定はない」としており、それは「資本金」が少ないほど多い傾向でした。

（２）江別市が実施している「環境経営普及セミナー」に参加されたことがありますか。（１つに○）

「市が実施する環境経営普及セミナー」は、「参加したことはない」が93.5%、「参加したことがある」は6.5%でした。

前回結果と比較しても、参加状況にはほとんど変化がない状況です。

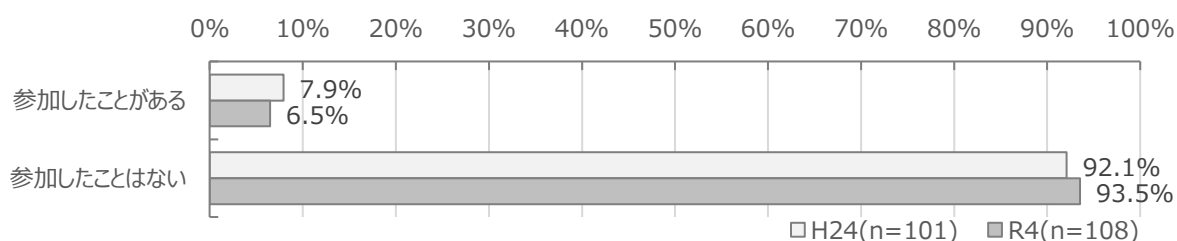


図 63 市が実施する環境経営普及セミナー

（2-1）「参加したことがない」とお答えの事業者の方にお聞きします。参加されなかった理由は何ですか。（１つに○）

※「問５（２）」で「参加したことはない」を選択

「参加したことがない理由」は、「セミナーの開催を知らなかったため」が最も多く62.4%、次いで「仕事が忙しく時間を取れなかったため」が27.7%でした。

その他、参加したことがない理由は、「コロナ禍のため」や「自動車運転以外で、環境に影響を及ぼす事業をしていないため」などがありました。

前回結果と比較しても、参加したことがない理由にはほとんど変化がない状況です。

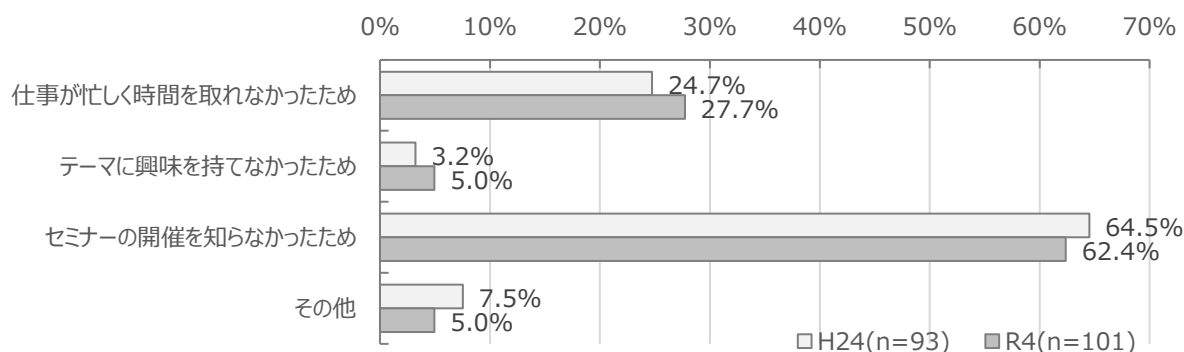


図 64 参加したことがない理由

（３）今後、環境経営について聞いてみたいテーマはありますか。 （当てはまるすべてに○）

「環境経営について聞いてみたいテーマ」は、「事業所や設備における省エネの手法について」が最も多く 47.6%、次いで「国や道、市など行政の実施する補助制度の情報提供や申請方法について」が 34.0%、「特にない」が 26.2%、でした。

その他、環境経営について聞いてみたいテーマは、「トレードオフの発生しない再エネの導入について」でした。

前回結果と比較すると、どの項目も回答割合が増えていますが、全体の傾向としては大きな変化はない状況です。

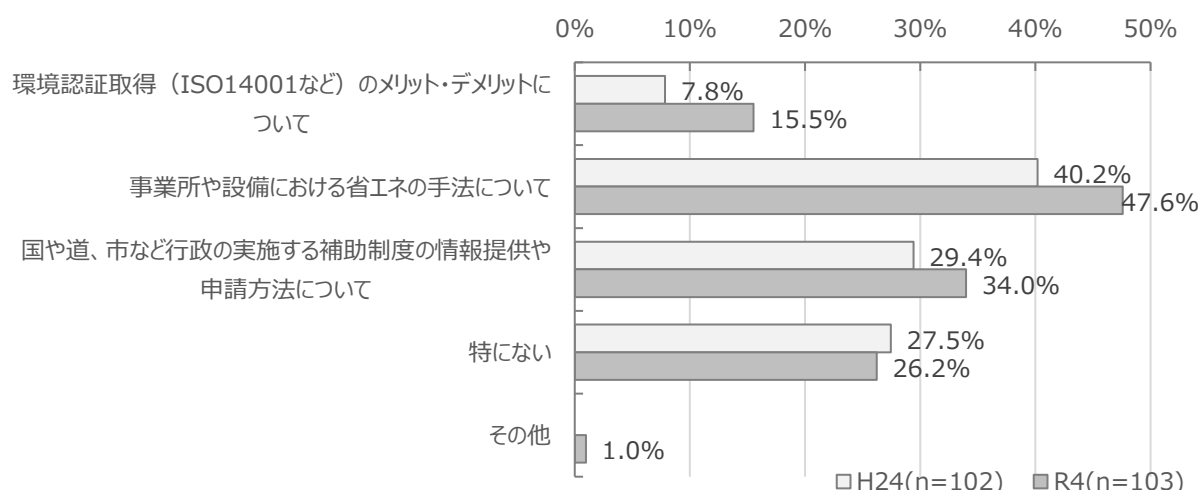


図 65 環境経営について聞いてみたいテーマ

（４）その他環境経営について、お考えのことなどございましたら、ご自由にご記入ください。（記述）

「環境経営についての考え」は、2 事業者から記載があり、その概要は次のとおりでした。

表 4 環境経営についての考えの概要

分野		主な考えの概要
エネルギー (1)	省エネ (1)	・節約できるものは既に行っているが、費用負担が大きいものは予算がなくできない。
その他 (1)	その他 (1)	・急に環境経営の動きが活発になって困惑している

- 「市が実施する環境経営普及セミナー」はほとんどが「参加したことはない」状況で、その理由は「セミナーの開催を知らなかった」が突出して多くなっていました。そのため、まずは開催していることを知ってもらうための情報発信が重要と考えられます。
- 「環境経営について聞いてみたいテーマ」は、「省エネ手法」や「補助制度の情報提供や申請方法」など、実用性の高いものが求められている傾向でした。

問 6 環境に関する情報についてお尋ねします。

(1) 環境に関する情報について、どのようなことを知りたいと思いますか。
(3つまで○)

「知りたい環境情報」は、「地球温暖化問題やその対策について」が最も多く 52.9%、次いで「ごみやりサイクルの問題について」が 51.9%、「暮らしの中でできる環境配慮活動について」が 39.4%、でした。

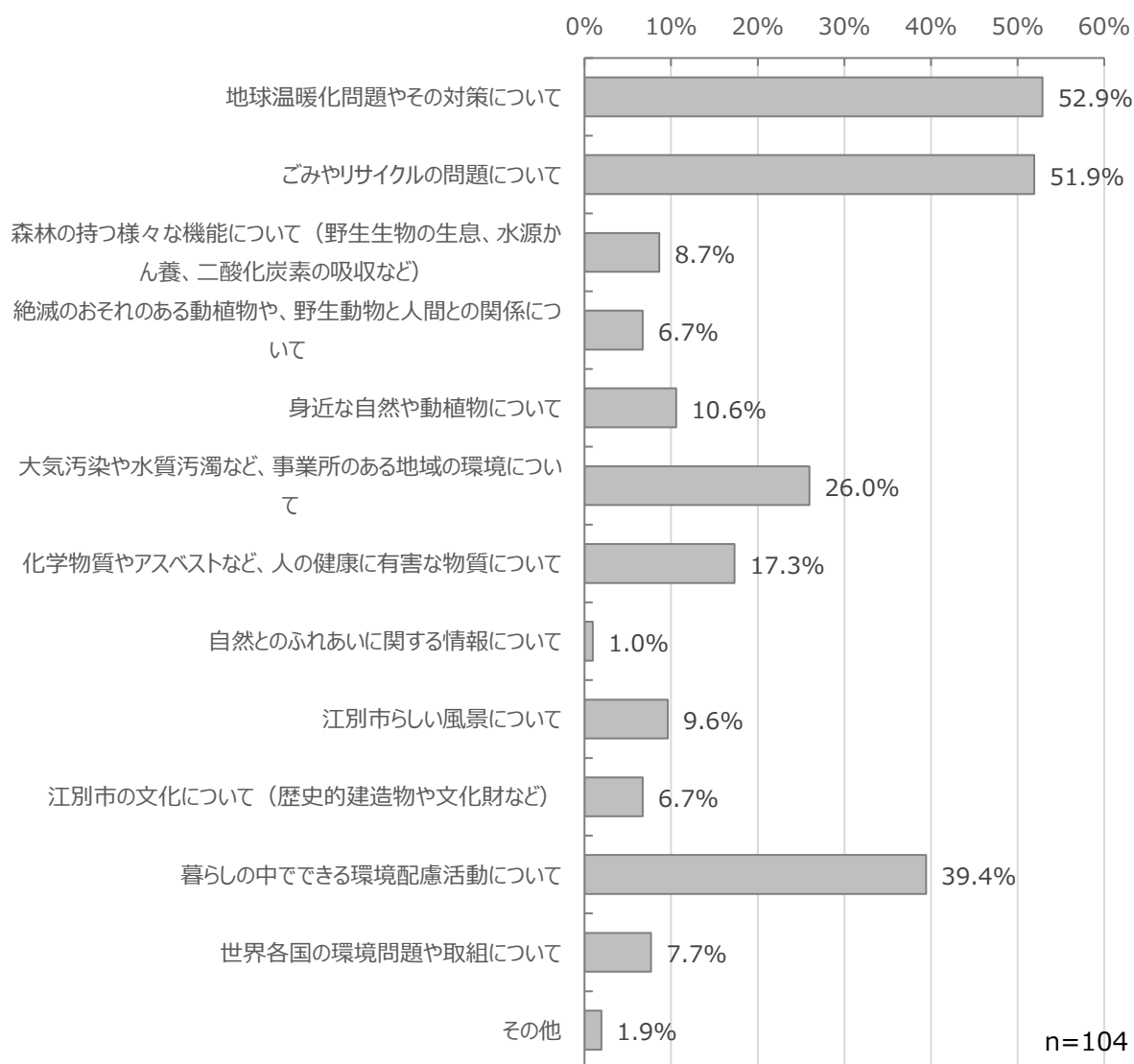


図 66 知りたい環境情報

（２）環境に関する情報について、主にどの媒体から入手していますか。（３つまで○）

「環境情報の入手媒体」については、「インターネット」が最も多く71.4%で、次いで「新聞」が60.0%、「テレビ」が51.4%でした

その他、環境情報の入手媒体は、「ISO14001 の審査において入手している」でした。

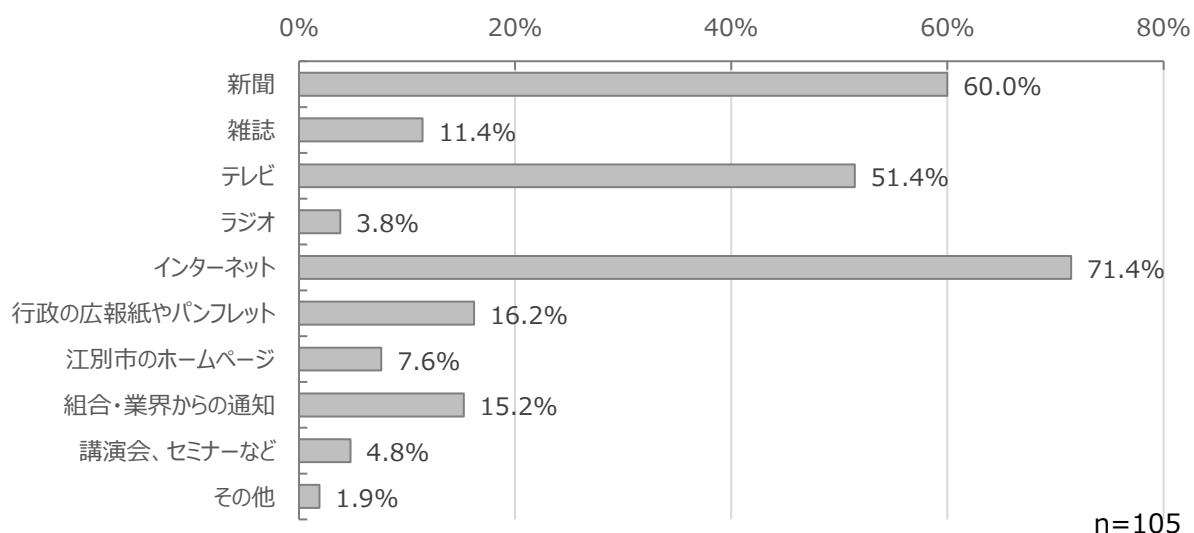


図 67 環境情報の入手媒体

- 「地球温暖化」と「ごみやりサイクル」についての情報が特に求められている状況で、これらは事業者の関心が高い分野と考えられます。
- 事業者の多くは「インターネット」を活用して環境情報を入手していますが、「新聞」・「テレビ」など活用割合も高いため、情報発信は複数媒体で行っていくことが有効と考えられます。

問 7 その他、環境に関するご意見・ご要望等がありましたらご自由にお書きください。

「環境に関する意見・要望」は、5 事業者から意見があり、その概要は次のとおりでした。

表 5 環境に関する意見・要望の概要

分野		環境に関する意見・要望の概要
エネルギー (1)	再エネ (1)	・ 太陽光・EV・コレモなどの総エネ設備に対しての助成金を導入してほしい。
自然環境 (1)	生物多様性 (1)	・ すべての動物が共存して生きていける環境を作る必要がある。
生活環境 (1)	生活環境 (1)	・ 風向きにより、工場からの臭いがひどいことがある。悪臭の現状と規制内容が合っていないのではないか。
その他 (2)	その他 (2)	・ 「輸送時の CO₂ 排出量削減」・「輸送費の削減」・「紙資源節約」の観点から、紙の郵送は止めるべき。 ・ コンビニ店頭のごみ箱に家庭ごみや金属ごみなどを入れられて困っている。家庭ごみとして回収できないか。

5.1 江別市の環境についての市民アンケート調査票

問1 あなたのことについてお尋ねします。

(1) 性別	①男	②女	③回答しない
(2) 年齢	①18～29 歳 ④50～59 歳	②30～39 歳 ⑤60～69 歳	③40～49 歳 ⑥70 歳以上
(3) 職業	①会社員 ④パート・アルバイト ⑦無職	②公務員 ⑤主婦（家事専業） ⑧その他（	③自営業 ⑥学生
(4) 江別市に居住 している年数	①2 年未満 ③5 年以上～10 年未満 ⑤20 年以上	②2 年以上～5 年未満 ④10 年以上～20 年未満	
(5) 家族構成	①単身 ④親・子・孫（3 世代）	②夫婦（子どもなし） ⑤その他（	③親子（2 世代）
(6) ご家庭の所有自 動車台数	①0 台	②1 台	③2 台 ④3 台以上
(7) お住まいの地区	①江別地区（市街化地区） ④豊幌地区（市街化地区）	②野幌地区（市街化地区） ⑤その他（市街化調整区域	③大麻地区（市街化地区）

①とても良くなった ②良くなった ③変わらない
④少し悪くなった ⑤悪くなった ⑥わからない

- ①地球温暖化に関する分野（温室効果ガス排出量の削減や気候変動への適応など）
- ②エネルギーに関する分野（省エネや再エネの推進など）
- ③資源や廃棄物に関する分野（ごみの削減やリサイクル、不法投棄対策など）
- ④自然環境に関する分野（森林・河川の保全や自然環境資源の有効活用など）
- ⑤生物多様性^{（注1）}に関する分野（在来種の保護や有害鳥獣への対策など）
- ⑥生活環境に関する分野（公害や化学物質、まちの景観など）
- ⑦環境教育・活動や環境情報の発信などに関する分野
- ⑧その他（
- ⑨環境には特に関心がない

1

問3 環境に関連する取組の満足度についてお尋ねします。

(1) 江別市では様々な環境分野の取組を進めていますが、「①～⑯それぞれの設問ごとの満足度」について教えてください。(各設問の当てはまる番号1つに○)

設問内容	満足度				
	満足	概ね満足	普通	少し不満	不満
記載例 (上段)・・・【取組分類】 (中絶)・・・取組の目的 (下段)・・・《取組例》	1	2	3	4	5
①【地球温暖化の防止】 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減する。 《環境家計簿の作成・配布、温室効果ガス排出量調査など》	1	2	3	4	5
②【気候変動への適応】 気候変動による今後起こりうる事象を見据えた対策を行う。 《ハザードマップ ^(注2) の作成・配布、気温上昇による熱中症への注意喚起など》	1	2	3	4	5
③【酸性雨(雪)対策・オゾン層の保護】 酸性雨(雪)の原因物質の抑制や、オゾン層を破壊する物質の適正回収を行う。 《定期的な酸性雨(雪)の測定、リサイクルセンターにおいて資源物等を適正に分別し回収など》	1	2	3	4	5
④【省エネの推進】 公共施設等における省エネ行動の推進や省エネ設備の導入を行う。 《市役所窓口照明のLED化、省エネ設備の導入など》	1	2	3	4	5
⑤【再エネの推進】 公共施設等における太陽光発電などの再エネの推進。 《公共施設への太陽光発電設置、浄化センターでのバイオガス発電など》	1	2	3	4	5
⑥【次世代エネルギーの活用】 水素などの次世代エネルギーの活用について検討を行う。 《今後の情勢を見据えた水素の利用についての検討など》	1	2	3	4	5
⑦【省資源・リサイクル・ごみ減量化の推進】 資源の有効活用・環境負荷低減のため、ごみの減量化を図る。 《マイバッグ運動、食品ロスの削減など》	1	2	3	4	5
⑧【廃棄物の適正処理の推進】 不適切な廃棄物の処理による環境負荷低減のため、廃棄物の適正処理を推進する。 《不法投棄対策、プラスチックごみの適正処理など》	1	2	3	4	5
⑨【公共施設等の維持管理・有効活用】 循環型社会に向けて、公共施設やインフラ設備を将来にわたって有効活用する。 《公共施設の更新・統廃合・長寿命化など》	1	2	3	4	5
⑩【生態系 ^(注3) の保全】 自然環境を保全することで地域の生態系を守る。 《環境緑地保護地区の指定など》	1	2	3	4	5
⑪【有害鳥獣等への対策】 エゾシカ、アライグマなどによる農林水産業被害の防止の軽減を図る。 《江別市鳥獣被害防止計画を踏まえた対策の推進など》	1	2	3	4	5
⑫【水辺環境の保全】 河川・湖沼などの水辺環境、緑を保全する。 《水辺の生き物調査、生態系に配慮した水辺環境の保全など》	1	2	3	4	5
⑬【森林などの保全】 良好な樹林地を身近な緑として保全する。 《保存樹林地・保存樹木の指定、鉄道林・耕地防風林の保全など》	1	2	3	4	5

(注2) ハザードマップ：自然災害による被害の軽減や、防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図のことです。

(注3) 生態系：食物連鎖などの生物間の関係と、それらを取り巻く水や大気などを、ひとつのまとまりとして捉える概念のことです。

設問内容	満足度				
	満足	概ね満足	普通	少し不満	不満
⑭【農地の保全と活用】 農地が持つ緑としての機能を活用していく。 《農用地面積の確保・維持、農業体験学習への支援など》	1	2	3	4	5
⑮【自然環境資源の有効活用】 自然環境資源の整備・活用を進める。 《野幌森林公園、石狩川の保全・活用、名木百選ウォッチングなど》	1	2	3	4	5
⑯【大気の保全】 大気汚染の防止・有害物質の排出抑制を図る。 《大気環境の測定、環境グリーンセンターの適正な維持管理、グリーンエネルギー自動車の導入など》	1	2	3	4	5
⑰【水質の保全】 工場排水や生活排水による水質汚染を防ぐ。 《河川及び工場排水の水質調査、合併浄化槽設置補助の実施など》	1	2	3	4	5
⑱【騒音・振動の防止】 工場や日常生活で生じる騒音の防止に努める。 《工場等に対する調査・指導、生活騒音の環境調査》	1	2	3	4	5
⑲【悪臭の防止】 工場等から生じる悪臭の防止に努める。 《事業所への立ち入り検査など》	1	2	3	4	5
⑳【化学物質による環境汚染の防止】 ダイオキシンなどの化学物質による環境汚染防止に努める。 《大気中のダイオキシン濃度測定、空気環境測定検査など》	1	2	3	4	5
㉑【公園緑地の整備】 都市公園を適正に管理する。 《公園緑地の定期的な草刈り実施、利用者意見を取り入れた再整備など》	1	2	3	4	5
㉒【街並みの緑化の推進】 街路樹を適正に管理する。市民や事業者への支援や情報提供により緑化を推進する。 《市民との協働による花壇整備、花苗の支援、街路樹の維持など》	1	2	3	4	5
㉓【地域特性を生かした空間・場の創造】 まちへの誇りや愛着が感じられる地域社会の実現に努める。 《歴史的れんが建造物や文化財等の保存・活用など》	1	2	3	4	5
㉔【環境教育・環境学習の推進】 身近な自然環境や環境問題を題材にした環境教育・学習を推進する。 《小中学校における環境学習、市民向け環境講座など》	1	2	3	4	5
㉕【環境情報の発信】 環境に関する情報の発信や環境意識の啓発に関する取組を推進する。 《えべつ環境の作成・公表など》	1	2	3	4	5
㉖【自主的な環境保全活動の推進】 市民・事業者・市が協働で活動するための体制づくりに向けた取組を推進する。 《環境広場の開催、地球温暖化対策地域協議会の開催など》	1	2	3	4	5
㉗【都市と農村の交流・連携の推進】 農業や農畜産物に対する理解・意識の向上を図る。 《グリーンツーリズム ^(注4) 、6次産業化 ^(注5) 、地産地消の推進、貸し農園の紹介など》	1	2	3	4	5

(注4) グリーンツーリズム：地方に滞在し、農業や漁業を楽しみながら、地域文化・自然や人との交流を楽しむ余暇活動のことです。農山漁村の活性化につなげることが目的となっています。

(注5) 6次産業化：農林漁業（1次産業）、製造業（2次産業）、小売業等の事業（3次産業）を総合的・一体的に推進し、農山漁村の地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組のことです（ $1 \times 2 \times 3 = 6$ 次産業）。

(2) 環境に関する取組の総合的な満足度について教えてください。（当てはまる番号1つに○）

㉘【環境に関する取組の総合的な満足度】	1	2	3	4	5
---------------------	---	---	---	---	---

問4 環境配慮行動の実施状況についてお尋ねします。

(1) 現在取り組んでいる環境配慮行動について教えてください。(各設問の当てはまる番号1つに○)

また、今後重視したいもの(新たに取り組む・取り組みを強化する)がありましたら、それについて教えてください。(当てはまる各設問の「今後重視したいもの」欄に○)

設問内容	取り組んでいる	取り組む予定	取り組むか未定	取り組む予定はない	今後重視したいもの
(記入例)	1	2	3	4	○
① 節電の実施	1	2	3	4	
② 節水の実施	1	2	3	4	
③ エコドライブの実施(アイドリングストップなど)	1	2	3	4	
④ 冷暖房温度を適切に設定 (気温に合わせた服装を心がける)	1	2	3	4	
⑤ 紙使用の削減(裏紙の利用など)	1	2	3	4	
⑥ 使い捨て容器・過剰包装の使用抑制	1	2	3	4	
⑦ 食品ロスの削減(食べ残しをしないなど)	1	2	3	4	
⑧ リサイクルの推進	1	2	3	4	
⑨ ルールに基づいたごみの分別	1	2	3	4	
⑩ 再生品・エコマーク商品等の選択	1	2	3	4	
⑪ 植樹・緑化等の緑を増やす活動への参加	1	2	3	4	
⑫ 地域の清掃・草刈り等の美化活動への参加	1	2	3	4	
⑬ 地域の環境イベントへの参加	1	2	3	4	
⑭ 環境保全団体等への支援や寄付	1	2	3	4	
⑮ その他 (内容:)	1	2	3	4	

(2) 環境配慮行動を今後も実践していくには、どのような支援があるとよいと思いますか。

(当てはまる番号3つまでに○)

①省エネ・再エネ設備導入への助成 ②江別市の環境に関する情報提供 ③環境配慮行動の取組事例やガイドライン・関連法令等の情報提供 ④研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり ⑤環境イベントなど環境活動をPRする場の提供 ⑥市民・事業所・行政等との情報交換や連携できる場の提供 ⑦市民意識を高めるための環境教育・環境学習の内容の充実 ⑧その他 ()
--

問5 地球温暖化・エネルギーについてお尋ねします。

(1) 現在、実感として地球温暖化が進行していると思いますか。(当てはまる番号 1つに○)

- ①思う ②思わない ③わからない

(2) 地球温暖化について、あなたが最も関心のある内容について教えてください。

(当てはまる番号 1 つに○)

- | |
|--|
| ①気候変動について（海水面の上昇や異常気象の頻発など）
②省エネについて（節電・節水による温室効果ガス排出量の削減など）
③再エネについて（太陽光や木質バイオマスの活用など）
④廃棄物について（省資源やリサイクルによるごみの削減など）
⑤交通について（電車やバスなどの公共交通網の充実など）
⑥まちづくりについて（コンパクトシティ ^{（注6）} の推進など）
⑦二酸化炭素吸収源について（森林・緑地の適切な維持管理など）
⑧その他（ ）
⑨地球温暖化には特に関心がない |
|--|

(注 6) コンパクトシティ：まちの中心部に住宅や商業施設や公共施設、交通機能などを集約することで、生活水準の向上や経済の活性化を目的とした施策のことです。

(3) 活用している・今後活用したい省エネ・再エネ設備について教えてください。

(各設問の当てはまる番号1つに○)

設問内容	活用 している	活用を 予定 している	活用を 検討 している	活用 予定は ない
(記入例)	1	2	3	4
① 建物の高断熱・高気密化	1	2	3	4
② LED 照明	1	2	3	4
③ 高効率給湯器（エコキュートなど）	1	2	3	4
④ 照明・給湯器以外の高効率設備 （高効率エアコンなど）	1	2	3	4
⑤ エネルギーマネジメントシステム（EMS） （注7）	1	2	3	4
⑥ クリーンエネルギー自動車（電気自動車など）	1	2	3	4
⑦ 太陽光発電	1	2	3	4
⑧ 木質バイオマス熱利用（薪ストーブなど）	1	2	3	4
⑨ 燃料電池（エネファームなど）	1	2	3	4
⑩ その他 （内容： ）	1	2	3	4

(注7) エネルギーマネジメントシステム (EMS) : 情報通信技術 (ICT) を活用して、エネルギー (電気やガス等) の使用状況を見える化してリアルタイムに把握・管理し、最適化するシステムのことです。

- ①省エネ設備の導入や省エネ改修等への補助金など支援制度を充実
- ②再エネ設備の導入にかかる補助金など支援制度を充実
- ③クリーンエネルギー自動車（電気自動車など）の普及促進
- ④ごみの減量やリサイクルなど資源の有効利用を促進
- ⑤歩いて快適に暮らせるまちづくりを推進（コンパクトシティの推進など）
- ⑥駐輪場や自転車専用道路などの環境にやさしい交通環境を整備
- ⑦植樹など市民の身近な緑化の推進や、二酸化炭素吸収源となる森林を適切に維持管理
- ⑧江別市のホームページなどで普及啓発活動や、地球温暖化対策についての先進事例を情報提供
- ⑨小・中学校で地球温暖化対策や省エネの教育を実施
- ⑩市民の取組を推進するための意識啓発
- ⑪事業者を対象にした環境セミナーの開催
- ⑫市民・事業者・行政・ボランティア団体などが相互協力できる環境づくりを推進
- ⑬その他（

(1) あなたは、江別市が行っている環境学習・環境イベント等に参加したことがありますか。
(当てはまる番号1つに○)

(1-1) 実際に参加したことのある環境学習・環境イベント等を教えてください。
(当てはまる番号全てに○)

- ①えべつ環境広場
- ②えべつ市民環境講座
- ③出前ミニエコ講座
- ④ワットモニターの貸出
- ⑤えべつ環境ハンドブックの活用
- ⑥その他()

①強く必要だと思う ②必要だと思う ③今のままで良い
④必要ではない ⑤わからない

(3) 市民の環境意識を高めていくためには、どのような取組が重要だと思いますか。

(当てはまる番号全てに○)

- ①小学校入学前の幼児に対する環境学習の充実
- ②小中学校における環境学習の充実
- ③市民を対象にした環境講座の充実
- ④体験型環境学習の充実
- ⑤企業等への環境マネジメントシステム^(注8)導入のための普及啓発・助成
- ⑥市民植樹などの環境イベントの充実
- ⑦環境学習を進めるための基本計画の策定
- ⑧環境に関連する事業・イベント等への支援・助成
- ⑨環境アドバイザー^(注9)や環境学習における指導者の育成
- ⑩環境教育などの調査・研究に関する支援・助成
- ⑪環境に関する情報の充実
- ⑫その他()

(注8) 環境マネジメントシステム: 事業者が自主的に環境保全を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、その達成に向けて取り組むための体制・手続き等の仕組みのことです。

(注9) 環境アドバイザー: 環境の保全や創造に関して専門的な知識や技術を有し、環境学習などの場で講師や指導者として活動できる人のことです。

問7 環境に関する情報についてお尋ねします。

(1) 環境に関する情報について、どのようなことを知りたいと思いますか。(当てはまる番号3つまでに○)

- ①地球温暖化問題やその対策について
- ②ごみやリサイクルの問題について
- ③森林のもつ様々な機能について(野生生物の生息、水源かん養^(注10)、二酸化炭素の吸収など)
- ④絶滅のおそれのある動植物や、野生動物と人間との関係について
- ⑤身近な自然や動植物について
- ⑥自然とのふれあいに関する情報について
- ⑦大気汚染や水質汚濁など、住んでいる地域の環境について
- ⑧化学物質やアスベストなど、人の健康に有害な物質について
- ⑨江別市らしい風景について
- ⑩江別市の文化について(歴史的建造物や文化財など)
- ⑪暮らしの中でできる環境配慮活動について
- ⑫世界各国の環境問題や取組について
- ⑬その他()

(注10) 水源かん養: 洪水を緩和させる、河川の流量を安定させる、水質を浄化するなど、森林が持つ水資源を保全する働きのことです。

(2) 環境に関する情報について、主にどの媒体から入手していますか。(当てはまる番号3つまでに○)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| ①新聞 | ②雑誌 | ③テレビ |
| ④ラジオ | ⑤インターネット | ⑥行政の広報紙やパンフレット |
| ⑦江別市のホームページ | ⑧組合・業界からの通知 | ⑨講演会、セミナーなど |
| ⑩その他() | | |

問 8 江別市の環境について、日頃感じていることがございましたらご自由にお書きください。

これですべての質問は終わりです。

アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入後の調査票は、7月22日（金曜日）までに同封の返信用封筒に入れて
ポストに投函下さい（切手は不要です）。

5.2 江別市の環境についての事業者アンケート調査票

江別市の環境についての事業所アンケート調査票

問 1 貴事業所についてお尋ねします。

(1) 業種 (当てはまる番号 1 つに○)

- ①建設業 ②製造業 ③運輸業
④卸売・小売業 ⑤飲食店・宿泊業 ⑥その他の業種

(2) 従業員数（当てはまる番号1つに○）

- ①1~4人 ②5~9人 ③10~29人
④30~49人 ⑤50人~99人 ⑥100人以上

(3) 資本金（当てはまる番号1つに○）

- ①300 万円未満 ②300～500 万円未満 ③500～1,000 万円未満
④1,000～3,000 万円未満 ⑤3,000～5,000 万円未満 ⑥5,000 万円～1 億円未満
⑦1 億円以上

(4) 事業所の所有形態（当てはまる番号1つに○）

- ①所有物件 ②賃貸・テナント

問 2 環境に関する体制や考え方についてお尋ねします。

(1) 経営理念・方針において、公害防止を含む環境配慮等について定めていますか。

(当てはまる番号 1 つに○)

- ①明確に定めている
②ある程度考え方を定めている
③定めてないが今後検討したい
④定めていないし、検討の予定もない

(2) 公害防止を含む環境配慮等を扱う部署・担当を置いていますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①置いている
②専門は置いていないが、各部署で考えている
③置いていないが、今後検討したい
④置いていないし、今後担当を置く予定もない

(3) 公害防止を含む環境環境配慮等についてどのように考えていますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①ビジネスチャンスと考えており、積極的に取り組みたいと考えている
- ②省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたいと考えている
- ③企業の責務として、法律や条例の規制基準を守れば十分と考えている
- ④企業の責務として取り組むべきと思うが、費用や人手の問題から取り組めない
- ⑤環境活動に取り組む必要はない（事業活動を重視するべきと考えている）
- ⑥その他（

問 3 環境配慮行動の実施状況についてお尋ねします。

- (1) 現在取り組んでいる環境配慮行動について教えてください。(各設問の当てはまる番号1つに○)
 また、事業所として今後重視したいもの(新たに取り組む・取り組みを強化する)がありましたら、それについて教えてください。(当てはまる設問の「今後重視したいもの」欄に○)

設問内容	取り組んでいる	取り組む予定	取り組むか未定	取り組む予定はない	事業と関係ない	今後重視したいもの
(記入例)	1	2	3	4	5	○
① 節電の実施	1	2	3	4	5	
② 節水の実施	1	2	3	4	5	
③ エコドライブの実施 (アイドリングストップなど)	1	2	3	4	5	
④ クールビズ・ウォームビズの実施	1	2	3	4	5	
⑤ 紙使用の削減(裏紙の利用など)	1	2	3	4	5	
⑥ 使い捨て容器・過剰包装の使用抑制	1	2	3	4	5	
⑦ 食品ロスの削減	1	2	3	4	5	
⑧ リサイクルの推進	1	2	3	4	5	
⑨ 事業所内におけるごみの分別ルールづくり	1	2	3	4	5	
⑩ 再生品・エコマーク商品等の選択	1	2	3	4	5	
⑪ 植樹・緑化等の緑を増やす活動	1	2	3	4	5	
⑫ 地域の清掃・草刈り等の美化活動	1	2	3	4	5	
⑬ 生物多様性の保全(特定外来種の駆除など)	1	2	3	4	5	
⑭ 地域の環境イベントへの参加・協力	1	2	3	4	5	
⑮ 地域住民への環境教育	1	2	3	4	5	
⑯ 地域住民の企業・工場見学の実施	1	2	3	4	5	
⑰ 学校等への出前授業の実施	1	2	3	4	5	
⑱ 自治体等との公害防止協定締結	1	2	3	4	5	
⑲ 環境保全団体等への支援や寄付	1	2	3	4	5	
⑳ その他 (内容:)	1	2	3	4	5	

(2) 環境マネジメントシステム等の環境認証を取得していますか。(当てはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|-------------|
| ①取得している | →問3 (2-1) へ |
| ②取得していないが、今後取得を検討したい | →問3 (2-2) へ |
| ③取得しておらず、今後取得の予定もない | →問3 (2-3) へ |

(2-1) 取得している環境認証は何ですか。(当てはまる全てに○)

※問3 (2) で「①取得している」を選択された方への設問

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ①ISO14001 | ②エコアクション 21 |
| ③HES (北海道環境マネジメントシステムスタンダード) | ④エコステージ |
| ⑤グリーン経営認証 | ⑥北海道グリーン・ビズ |
| ⑦その他 (|) |

(2-2) 今後、環境認証を取得したい理由は何ですか。(当てはまる全てに○)

※問3 (2) で「②取得していないが、今後取得を検討したい」を選択された方への設問

- | |
|---------------------------------------|
| ①認証を取得することで省エネ等の経費削減効果が期待できるから |
| ②環境配慮をアピールすることで、工事等の受注数が増えることが期待できるから |
| ③環境に配慮することは企業の責務だと考えるから |
| ④その他 (|

(2-3) 今後、環境認証を取得する予定はない理由は何ですか。(当てはまる全てに○)

※問3 (2) で「③取得しておらず、今後取得の予定もない」を選択された方への設問

- | |
|-------------------------|
| ①認証を取得するために費用がかかるから |
| ②認証の取得・継続に掛かる事務負担が大きいから |
| ③認証を取得してもメリットがないから |
| ④環境認証そのものに関心がないから |
| ⑤その他 (|

(3) 環境配慮行動を今後も実践していくには、どのような支援があればよいと思いますか。

(当てはまる番号3つまでに○)

- | |
|--------------------------------|
| ①省エネ・再エネ設備導入への助成 |
| ②江別市の環境に関する情報提供 |
| ③環境配慮行動の取組事例やガイドライン・関連法令等の情報提供 |
| ④研究・学習・活動のための施設整備や拠点づくり |
| ⑤環境イベントなど環境活動をPRする場の提供 |
| ⑥市民・事業所・行政等との情報交換や連携できる場の提供 |
| ⑦市民意識を高めるための環境教育・環境学習の内容の充実 |
| ⑧その他 (|

問 4 地球温暖化・エネルギーについてお尋ねします。

(1) 事業への地球温暖化の影響はありますか。(当てはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 影響は出ておらず、今後も出るとは思えない | → 問 4 (2) へ |
| ② 今のところ影響はないが、地球温暖化が進めば影響が出てくると思われる | → 問 4 (1-1) へ |
| ③ 既に多少の影響を受けている | → 問 4 (1-1) へ |
| ④ 既に大きな影響を受けている | → 問 4 (1-1) へ |

(1-1) 事業への地球温暖化の影響はどういったものですか。または、どのような影響が想定されますか。(記入)

※問 4 (1) で「②今のところ影響はないが、地球温暖化が進めば影響が出てくると思われる」、「③既に多少の影響を受けている」、「④既に大きな影響を受けている」を選択された方への設問

具体的に：

(2) 活用している省エネ・再エネ設備について教えてください。(各設問の当てはまる番号 1 つに○)

設問内容	活用 している	活用を 予定 している	活用を 検討 している	活用 予定は ない
(記入例)	1	2	3	4
① 建物の高断熱・高気密化	1	2	3	4
② LED 照明	1	2	3	4
③ 高効率ボイラー	1	2	3	4
④ 照明・ボイラー以外の高効率設備 (高効率エアコンなど)	1	2	3	4
⑤ エネルギーマネジメントシステム (EMS)	1	2	3	4
⑥ クリーンエネルギー自動車 (電気自動車など)	1	2	3	4
⑦ 太陽光発電	1	2	3	4
⑧ 木質バイオマス熱利用	1	2	3	4
⑨ 木質バイオマス発電	1	2	3	4
⑩ コージェネレーション設備 (燃料電池以外)	1	2	3	4
⑪ 燃料電池 (エネファームなど)	1	2	3	4
⑫ その他 (内容：)	1	2	3	4

(当てはまる番号 3 つまでに○)

- ①省エネ設備の導入や省エネ改修等への補助金など支援制度を充実
- ②再エネ設備の導入にかかる補助金など支援制度を充実
- ③クリーンエネルギー自動車（電気自動車など）の普及促進
- ④ごみの減量やリサイクルなど資源の有効利用を促進
- ⑤歩いて快適に暮らせるまちづくりを推進（コンパクトシティの推進など）
- ⑥駐輪場や自転車専用道路などの環境にやさしい交通環境を整備
- ⑦植樹など市民の身近な緑化の推進や、二酸化炭素吸収源となる森林を適切に維持管理
- ⑧江別市のホームページなどで普及啓発活動や、地球温暖化対策についての先進事例を情報提供
- ⑨小・中学校で地球温暖化対策や省エネの教育を実施
- ⑩市民の取組を推進するための意識啓発
- ⑪事業者を対象にした環境セミナーの開催
- ⑫市民・事業者・行政・ボランティア団体などが相互協力できる環境づくりを推進
- ⑬その他（ ）

(当てはまる番号 1 つに○)

- ① 定期・不定期に実施している ② 実施したことはないが、今後実施したい
③ 過去には実施したが、今後の実施予定はない ④ 実施したことはなく、今後の実施予定もない

(当てはまる番号 1 つに○)

- ①参加したことがある → 問 5 (3) へ
②参加したことはない → 問 5 (2-1) へ

※問5(2)で「②参加したことはない」を選択された方への設問

- ①仕事が忙しく時間を取れなかったため
②テーマに興味を持てなかったため
③セミナーの開催を知らなかったため
④その他（ ）

問7 その他、環境に関するご意見・ご要望等がありましたらご自由にお書きください。

これですべての質問は終わりです。

アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入後の調査票は、7月22日（金曜日）までに同封の返信用封筒に入れてポストに投函下さい（切手は不要です）。